

6 資料

6-1 新図書館整備・運営事業費の試算方針

(1) 概算事業費の試算方針

駅前事業として複合化されたときの全事業費は、さまざまな要件によって大きく変動するため、基本設計による建物の構造や配置などの条件整理が整った段階で、駅周辺再開発事業との整合などと併せた全体検討の中で算出するものとします。

この際の条件としては以下のとおりとします。

- ・図書館想定面積：3,000㎡程度（多機能スペースを含む。構造や配置、事業費などの条件により変動します。）
- ・構造形式：未定（市街地再開発事業で検討）
- ・駐車場形式：未定（市街地再開発事業で検討）
- ・外構整備面積：未定（市街地再開発事業で検討）

内訳	備考
① 本体建設費（保留床分）	躯体・外装工事、機械設備、電気設備、給排水設備、冷暖房設備、防災避難設備、弱電通信設備等、図書館占有駐車場整備工事等
② インテリア・サイン等整備費	照明設備、壁仕上げ、床仕上げ設備、書庫設備等
③ 造りつけ家具類整備費	躯体に造りつける書架・カウンター等整備
④ ギャラリー整備費	中村晋也氏＋市民ギャラリー整備（設計費含む）
⑤ 備品・家具購入費	児童用書架、雑誌架・新聞架、大型本架（強度・耐震性）、サービスデスク・机・椅子・掲示板等
⑥ システム費	業務用コンピュータシステム、利用者用パソコンシステム、貸出返却設備、自動貸出機、BDS（磁気式、ICタグ式）等
⑦ その他の経費	移転費用、HP・パンフレット類作成、開館準備（イベント費）、内覧会開催・地域・学校連携（地域読書拠点整備）等の経費

【図書館単体として試算する主な経費】

(2) 概算運営経費の試算方針

基本設計による建物の構造や配置などの条件が整い、開館時間、管理運営体制などの条件が整った段階で算出するものとします。

内訳	備考
人件費	
光熱水費	
書籍購入費	書籍、雑誌、新聞
修繕費	
維持管理費	清掃費、警備費、設備保守費、システム保守費など
通信費	
その他経費	消耗品費、旅費等

6 資料

6-2 開館までのスケジュール

新しい図書館は、2022 年の竣工、開館をめざします。

時期	市街地再開発事業 (第2ブロック)	図書館関係
H28年度 (2016)	準備組合(準備会)設立	図書館の今後の方向性
H29年度 (2017)	基本設計業者の選定 基本設計の着手 都市計画決定手続の完了	整備位置の合意形成 図書館整備基本構想 整備推進委員会立ち上げ
H30年度 (2018)	基本設計の完了 実施設計の着手	規模や設備の合意形成 施設計画の合意形成 調整 図書館整備基本計画 施設計画の確定 概算事業費の確定
H31年度 (2019)	実施設計の完了 建設工事着手	運営手法の合意形成 取組の方向性の合意形成 管理運営計画の検討 市民読書計画の策定
2020年度		蔵書計画の策定 管理運営体制の確立
2021年度	建設工事竣工	市民参画体制の確立 開館準備
2022年度	開 館	

6-3 「亀山市立図書館整備基本計画」策定の経緯

年 月 日	事 項
平成29年9月28日	教育委員会定例会 ・「亀山市立図書館整備推進委員会要綱」の制定
平成29年10月11日	図書館整備基本計画策定支援業務委託入札
平成29年10月18日	図書館整備基本計画策定支援業務委託契約
平成29年11月29日	図書館運営委員会 ・今後のスケジュール、附帯機能について
平成29年12月15日	第1回 図書館整備推進委員会 ・委員委嘱、亀山市図書館整備基本構想の概要、今後のスケジュール、附帯機能について
平成30年2月1日	第2回 図書館整備推進委員会 ・附帯機能について
平成30年2月22日	教育委員会協議会 ・亀山市立図書館整備基本計画（骨子案）について
平成30年2月23日	第3回 図書館整備推進委員会 ・亀山市立図書館整備基本計画（案）について
平成30年3月15日	市議会教育民生委員会 ・亀山市立図書館整備基本計画（骨子案）について
平成30年3月29日	図書館整備基本計画策定支援業務委託完了
平成30年3月29日	第4回 図書館整備推進委員会 ・亀山市立図書館整備基本計画（案）について
平成30年4月11日	教育委員会協議会 ・亀山市立図書館整備基本計画（案）について
平成30年4月17日	庁議説明 ・亀山市立図書館整備基本計画（案）について
平成30年4月18日	教育委員会臨時会 ・亀山市立図書館整備基本計画（案）について

平成30年4月20日	市議会教育民生委員会 ・ 亀山市立図書館整備基本計画（案）について
平成30年4月23日 ～5月7日	亀山市立図書館整備基本計画（案）市民意見縦覧
平成30年4月23日 ～5月7日	図書館整備推進委員会 ・ 亀山市立図書館整備基本計画（案）について（意見聴取）
平成30年4月23日 ～5月7日	生涯学習推進委員会 ・ 亀山市立図書館整備基本計画（案）について（意見聴取）
平成30年4月23日 ～5月7日	社会教育委員会 ・ 亀山市立図書館整備基本計画（案）について（意見聴取）
平成30年4月23日 ～5月7日	図書館運営委員会 ・ 亀山市立図書館整備基本計画（案）について（意見聴取）
平成30年5月1日	教育委員会臨時会 ・ 亀山市立図書館整備基本計画（案）について
平成30年5月10日	教育委員会臨時会 ・ 亀山市立図書館整備基本計画（案）について
平成30年5月10日	総合教育会議 ・ 亀山市立図書館整備基本計画（案）について
平成30年5月14日	第5回 図書館整備推進委員会 ・ 亀山市立図書館整備基本計画（案）について
平成30年5月21日	教育委員会定例会 ・ 亀山市立図書館整備基本計画の策定について

6-4 亀山市立図書館整備推進委員会

(1) 亀山市立図書館整備推進委員会要綱

(設置)

第1条 亀山市立図書館の移転整備の推進を図るため、亀山市立図書館整備推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について検討し、その結果を亀山市教育委員会（以下「教育委員会」という。）に報告するものとする。

- (1) 亀山市立図書館移転整備の推進に関すること。
- (2) 亀山市図書館整備基本計画の策定に関すること。
- (3) その他教育委員会が設置目的を達成するために必要と認めること。

(組織)

第3条 委員会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 学校教育の関係者
- (3) 社会教育の関係者
- (4) 公共的団体等の代表者
- (5) 読書の普及活動を行う団体の代表者
- (6) 公募により選出された者
- (7) 別表に掲げる市職員
- (8) 教育次長
- (9) その他教育委員会が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、移転を行った亀山市立図書館の開館の日までとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に、委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、議長となる。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

6 資料

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、生涯学習室において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成29年9月28日から施行する。

(経過措置)

2 この要綱の施行後最初に行われる委員会の会議は、第6条第1項の規定にかかわらず、教育委員会が招集する。

別表（第3条関係）

企画総務部長 財務部長 市民文化部長 健康福祉部長 建設部長 文化振興局長 建設部参事

(2) 亀山市立図書館整備推進委員会委員名簿

NO	氏 名	性別	区 分	備 考（所属等）
1	横山 幸司	男	学識経験を有する者	滋賀大学社会連携研究センター教授
2	中井 孝幸	男	学識経験を有する者	愛知工業大学工学部建築学科教授
3	川口 恭子	女	学校教育の関係者	学校図書館活用アドバイザー
4	豊田 康子	女	社会教育の関係者	亀山市社会教育委員
5	若菜 淳二	男	社会教育の関係者	亀山市PTA連合会の代表者
6	鈴木 壽一	男	公共的団体等の代表者	亀山市地域まちづくり協議会連絡会議の代表者
7	片岡 きみ子	女	読書の普及活動を行う団体の代表者	亀山絵本と童話の会の代表者
8	桑名 憲一	男	公募により選出された者	
9	川辺 一弘	男	公募により選出された者	
10	栗本 博子	女	公募により選出された者	
11	山本 伸治	男	市職員	企画総務部長
12	上田 寿男	男	市職員	財務部長
13	坂口 一郎	男	市職員	市民文化部長
14	佐久間 利夫	男	市職員	健康福祉部長
15	松本 昭一	男	市職員	建設部長
16	嶋村 明彦	男	市職員	文化振興局長
17	亀淵 輝男	男	市職員	建設部参事
18	大澤 哲也	男	教育次長	教育次長

任期：平成29年11月10日～平成30年3月31日

NO	氏 名	性別	区 分	備 考（所属等）
1	横山 幸司	男	学識経験を有する者	滋賀大学社会連携研究センター教授
2	中井 孝幸	男	学識経験を有する者	愛知工業大学工学部建築学科教授
3	川口 恭子	女	学校教育の関係者	学校図書館活用アドバイザー
4	豊田 康子	女	社会教育の関係者	亀山市社会教育委員
5	若菜 淳二	男	社会教育の関係者	亀山市PTA連合会の代表者
6	鈴木 壽一	男	公共的団体等の代表者	亀山市地域まちづくり協議会連絡会議の代表者
7	片岡 きみ子	女	読書の普及活動を行う団体の代表者	亀山絵本と童話の会の代表者
8	桑名 憲一	男	公募により選出された者	
9	川辺 一弘	男	公募により選出された者	
10	栗本 博子	女	公募により選出された者	
11	山本 伸治	男	市職員	総合政策部長
12	佐久間 利夫	男	市職員	生活文化部長
13	大澤 哲也	男	市職員	産業建設部長
14	井分 信次	男	市職員	健康福祉部長
15	嶋村 明彦	男	市職員	生活文化部次長（文化振興）・関支所長
16	亀渕 輝男	男	市職員	産業建設部次長（駅前整備）
17	草川 吉次	男	教育部長	教育部長

任期：平成30年4月1日～開館の日まで

【亀山市立図書館整備推進委員会委員名簿】

(3) 亀山市立図書館整備推進委員会会議録

平成 29 年度 第 1 回亀山市立図書館整備推進委員会会議録	
日 時	平成 29 年 12 月 15 日（金）午後 2 時開会
場 所	亀山市役所 本庁舎 3 階 大会議室
出席者	服部教育長、横山委員、川口委員、豊田委員、若菜委員、鈴木委員、片岡委員、桑名委員、川辺委員、栗本委員、山本委員、上田委員、坂口委員、佐久間委員、松本委員、嶋村委員
欠席者	中井委員、松本委員、亀淵委員
事務局	亀山市教育委員会生涯学習室 亀山室長、小坂、安藤 亀山市立図書館 井上館長、若林 （株）東畑建築事務所名古屋事務所 高木設計室長、柱主任技師
傍聴の承認	
【教育長】	傍聴者について承認いただけるか。
【一同】	異議なし。
【教育長】	傍聴を認める。
■開会	
【事務局】	第 1 回亀山市立図書館整備推進委員会を開催する。配布済の亀山市立図書館整備推進委員会要綱に則り開催する。
1. 委員の委嘱	
	<教育長より各委員に委嘱状を交付>
2. 委員自己紹介	
【横山委員】	滋賀大学教授。地方自治論と社会教育論の両面から見ていく。
【豊田委員】	社会教育委員。
【若菜委員】	亀山市 PTA 連合会会長。
【鈴木委員】	亀山市地域まちづくり協議会代表。
【片岡委員】	絵本と童話の会所属。親子読書、子どもの絵本の観点から議論させていただきたい。
【桑名委員】	亀山駅前再開発協議会会長。地元代表として参加。
【川辺委員】	元中学校教員。現状の図書館をよりよくするとともに、新しい図書館は歴史やこれまでの歩みを活かしたものにしていきたい。
【栗本委員】	図書館を利用する立場で意見していきたい。
【川口委員】	学校図書館活用アドバイザー。学校図書館、児童・生徒との関わりについて意見していきたい。
【山本委員】	亀山市企画総務部長
【上田委員】	亀山市財務部長
【坂口委員】	亀山市市民文化部長
【佐久間委員】	亀山市健康福祉部長
【大澤委員】	亀山市教育委員会教育次長
3. 教育長あいさつ	
【教育長】	現状の図書館の課題の改善を検討する中で、駅前再開発におけるにぎわいの創出のため、施設の一部に公共施設を入れることができないかを検討し、図書館の拡充移転ということで基本構想を作成した。駐車場不足や開架書庫の狭さ、利用者が市民の二割にとどまっているなどの課題を解決するため、駅前への移転だけでなく、まちづくりやにぎわい・学びの拠点として、市民の交流の場の創出に寄与したいと考えている。 設計業務もこれから進むが、再開発と図書館の設計業務が別々で進むのはよくないと考え、来春までに基本計画をとりまとめたいたいと考えている。 4 か月の中で 4 回の委員会を予定しているが、積極的なご発言をお願いしたい。
4. 委員長、副委員長の選任について	
【事務局】	委員の過半数の出席により、本委員会は成立する。
【事務局】	委員長が決まるまでの間、教育長を仮議長として進行させていただく。
【一同】	異議なし。

【教育長】	委員長、副委員長の選出を行う。委員の互選によるが、推薦、立候補がない場合、事務局案を提示させていただく。
【事務局】	横山委員に委員長を、中井委員に副委員長をお願いしたい。尚、中井委員には了解を得ている。
【一同】	異議なし。
【教育長】	事務局案を採用する。進行を横山委員長に交代する。
【横山委員長】	多くの自治体の図書館整備に関わってきたが、図書館は一度できたら数十年後世に引き継がれる施設である。多様な意見はあると思うが、なるべく汲み上げ、図書館のあり方を決定していきたい。
5. 報告事項	
(1) 「亀山市立図書館整備基本構想」について	
	<事務局より説明>
【川辺委員】	構想自体は魅力的だが、完成までに今の図書館をどう変えるかも重要で、今のユーザーも含めてどうつなげていけるかが見えない。どう考えているのか。ワークショップでも今ある図書館をどうしていくかも含めて考えていくことが重要ではないか。
【事務局】	当然のことと考えている。いろいろな意見がうかがう中で、今の図書館でできることも含めて、新しい図書館にどう移行できるかが重要と考えている。
(2) 「亀山市立図書館整備基本計画」策定スケジュールについて	
	<事務局より説明>
【一同】	意見なし。
【横山委員長】	ワークショップでの意見も報告いただき、基本計画を進めていただきたい。
(3) 視察図書館の報告について	
	<事務局より説明>
【横山委員長】	教育長、教育次長から視察に行かれてよいと思われる図書館があれば教えていただきたい。
【教育長】	玉野市立図書館：人口が6万人で亀山市に近い。中心市街地の活性化のために、商業施設の2階に入っている。公民館との複合施設であり、ホール、調理室、会議室などの諸室が区分なく融合して、ガラス張り中で中の活動が見える状態になっている。学び、読書、地域活動などが違和感なく溶け込んでいる。 武蔵野プレイス：人口もかなり多いが、複数の大学が近くにあり、若者支援を重視した複合施設である。卓球場やスタジオなど、都心の生活スタイルに応じた施設がある。 荒川区中央図書館：子育て世代を重視し、保育士のいる託児所や乳幼児連れでも楽しめるプレイルームなどがある。子ども、若者をターゲットにしつつ、各階で個性を出した空間構成となっている。多世代が調べたり学習したりできるスペースが各所にちりばめられていて、吹き抜けを介して明るい空間となっている。 塩尻市市民交流センター：人口規模が近い。市長の思いが強く、予算もかけた生涯学習施設と融合した図書館となっている。各コーナーが充実している。条件付きで飲食可などの運用をされている。
【大澤委員】	武蔵野プレイス：駅前立地で若い世代の利用が多い。敷地が狭く、7層になっており、1フロアが亀山市の構成に近い。 荒川区中央図書館：明るくゆったりしているのが第一印象。下町で高齢の方が多い。 塩尻市市民交流センター：市街地再開発事業で建設されたビルの中に入っている。現状の亀山の図書館と比べて解放感があり、居心地のよい空間が整備されており、多世代の学びの場、居場所として機能していた。
【横山委員長】	最近の図書館の特徴としては、複合化が進んでいること、内部空間の可変性があること、みんなが通える立地であることが挙げられる。
(4) 図書館市民ワークショップの実施報告について	
	<事務局より説明>
【若菜委員】	市民ワークショップをきっかけに将来について考えるきっかけになったと感じた。参加者の方は複合的な施設をイメージされているように思えた。施設規模が限られると思うが、継続していろいろな場所で開催していただきたい。
6. 協議事項	
(1) 亀山市立図書館整備にかかる附帯機能について	
	<事務局より説明>
【横山委員長】	資料5-1 空白の部分について、ご意見をいただきたい。資料5-2については、附帯機能の方向性をまとめられている。①子育て支援、②親子の居場所、③市民交流・活動展示、地域の情報発信という3つの方針が挙げられている。
【片岡委員】	他の図書館で、本に加えて人を貸し出す試みをされている。人材登録をして、掲示をし、図書館内で30分ほど話を聞くなどの活動をされている。
【横山委員長】	ソフト面の事業の話だと思うが、空間としてどういった場所があるとよいというものはあるか。
【片岡委員】	個室があるといい。

【栗本委員】	幼い子どもや高齢者は利用が多いが、若い父親世代が来るような図書館になるとよい。
【横山委員長】	一般的に勤労世代の利用者は少ない。
【鈴木委員】	図書館は静かなので、もう少しにぎやかにしてもよい場所があってもよいのでは。長居をすると喉が渇くので、飲食できるスペースなどもあるとよい。新しい私立学校の図書館には発表の場やITを活用した設備などがあり、地域利用もできるようになっている。 現状の図書館ではスペースが限られているが、そこでの活動も含めて考えていければよい。図書館での人的サポート（調べた書籍がすぐに出てくる）などもあるとよい。
【横山委員長】	最近の図書館では交流スペースと静寂の空間を分けてつくることが多くなっている。
【桑名委員】	いろいろな意見があるが、できることとできないことがある。駐車場も普段はがらがらになるのにピーク時を想定して確保する必要があるのか。また、ハードだけでなく、「おもてなし」の視点が重要と思う。障がい者の方への配慮もその程度に応じた配慮が必要である。 現状の駅前ロータリーは朝は送迎の車が多いため、高齢者や子どもなどの歩行者への安全配慮も重要である。地域としても協力していきたい。
【横山委員長】	コミュニティバスなど、町全体として考えていく必要がある。駅前立地ということは「おもてなし」空間になりうる。亀山市の魅力を発信できる場となつてほしい。 また、学校図書館との連携という視点ではどうか。
【川口委員】	現状の市立図書館は、亀山西小や亀山中からは利用者が多いが、他の学校の子どもはあまり利用していない。各学校で学校図書館の利用サポートをしているが、重要なのは蔵書よりもそこにいる人である。学校司書は近隣市町よりも手厚い体制だが、それでも週2日では足りない。市立図書館にも正規の職員としての司書配置を望む。学校図書館と図書館との書籍の貸し借りをやっているが、なかなかうまくいっていない。 新しい図書館に学校図書館支援室（センター）ができ、チームとして体制が組めるともつと学校図書館との連携がうまく進み、子どもの利用が増え、蔵書を活用できると思う。本来の図書館の機能の重要性を大切にしたいと思う。学校司書の方にもワークショップなどで意見を出していただきたいと思う。
【横山委員長】	安城市では上記のような施策が進められている。
【豊田委員】	附帯施設についてもこの委員会で議論をするのか。それにより計画が変わると思うが。
【事務局】	附帯施設は図書館を広く活用し、多機能性を持たせるために重要と考えている。資料5-2はその可能性を示しているがこれがすべてではない。ワークショップや委員会で意見をうかがい、可能な限り基本計画に盛り込んでいきたいと考えている。
【豊田委員】	社会教育委員では「子育て支援」に取り組んでいるので、ベビーカーでの利用など、子どもを持つ親への配慮も検討いただきたいと思う。
【川辺委員】	基本構想P14では、図書館機能として3,000㎡と書かれているが、附帯機能はそこに含まれるのか。また、附帯機能を考える上で、既存の公共施設と用途が重複する場合は、その連携や整備方針も含めて考えていく必要があるのではないかと。 資料5-2に「行政機能の保存公開施設」とあるが、請求に対してタイムラグなしで公開が可能となればよいと思う。実現が難しいとの表現があるが、鳥羽市では議会図書館と市立図書館の連携事例がある。亀山市でも充実させればよいと思う。
【事務局】	基本構想にある施設機能とは、児童館などを図書館と別に独立した施設をつくるのではなく、そういった機能をもつコーナーやエリアを含めて図書館を考えるとの意である。
【川辺委員】	P14においては、まず必要となるエリアを挙げて、その例として機能を表記した方がわかりやすいと思う。
【事務局】	行政機能の保存公開については重要な課題と認識しているが、まずは庁内での調整が必要であり実現できるとの判断が即答できないとの意で実現が難しいと記載している。
【横山委員長】	亀山市の公文書のルールにまで及ぶ話になる。他分野にも波及するが、是非検討をお願いしたい。
【若菜委員】	どういった図書館にすべきかという大きな方向性を定めた後、細かな部分を検討すべきでは。行くのが楽しい図書館、という前提があるとよい。私の子どもは図書館で本を多く借り、国語が得意になった。図書館で本を借りるきっかけが生まれる、親子で一緒に行ける図書館になるといいと思う。
【教育長】	各エリア面積の想定は決定したものではない。P15の必置の施設が「附帯施設」であり、P16の「期待できる施設」は「附帯機能・コーナー」という位置づけと見ていただきたい。あくまで図書館として市が借りる部分での附帯機能を検討していく。
【横山委員長】	次回の委員会では整備計画の原案が出てくるのではないかと。
(2) 平成29年度図書館市民ワークショップの実施について	
	<事務局、東畑建築事務所より説明>
【川辺委員】	ワークショップへの参加条件が原則4回共参加とあるが、予定が合わない方もいるので、よりオープンにして参加しやすいようにしてほしい。現図書館の利用者に対しても、アンケートだけではなく意見を聞く場も設けてほしい。 基本構想のアンケートで欠けているのは、職員の課題に触れられていないことである。また、実際に利用者でないと、司書やスタッフのあり方についての議論が深まらないのではないかと。他の図書館の司書や市民団体の方に講演いただく機会もつくってほしい。
【若菜委員】	ワークショップへの参加条件が原則4回共参加とあるが、参加しづらい方もおられるので、参加しやすいようにして配慮ほしい。
【事務局】	4回原則参加としているのは、この4回で終わりではなく、開館後を見据えて継続した議論をし、一緒に計画を進めていただけたら方をイメージしているが、柔軟に対応していきたい。 来館者への意見については、ワークショップのテーマに沿って意見を集める取り組みを進めている。

【井上図書館長】	意見箱をロビーや児童コーナーに設置している。いただいた意見は掲示等により公開することを検討している。
【横山委員長】	運営体制について今回の整備計画でどこまで触れられるか。望ましい運営体制などまでは触れられるかもしれない。
7. その他	
【事務局】	次回委員会は平成30年2月1日（木） 14:00～大会議室にて開催する。また、意見、質問があれば、生涯学習室までファクスまたはメールで提出されたい。その意見等とその回答は、次回委員会においてご報告する。
閉 会	午後4時10分

平成29年度 第2回亀山市立図書館整備推進委員会会議録	
日 時	平成30年2月1日（木）午後2時開会
場 所	亀山市役所 本庁舎3階 大会議室
出席者	服部教育長、横山委員長、中井副委員長、川口委員、豊田委員、若菜委員、鈴木委員、片岡委員、桑名委員、川辺委員、栗本委員、上田委員、坂口委員、佐久間委員、松本委員、亀淵委員、嶋村委員
欠席者	山本委員
事務局	亀山市教育委員会生涯学習室 亀山室長、小坂 亀山市立図書館 井上館長、若林 (株)東畑建築事務所名古屋事務所 高木設計室長、柱主任技師

傍聴の承認	
【教育長】	傍聴者について承認いただけるか。
【一同】	異議なし。
【教育長】	傍聴を認める。
■開会	
【事務局】	第2回亀山市立図書館整備推進委員会を開催する。配布済の資料を確認する。
1. あいさつ	
【教育長】	前回の委員会開催より2回のワークショップをすることができた。基本構想で読書活動によって高まる知の拠点、広がる学び、学びの成果を体現できて、交流を楽しめる。そういった学びの場からつながる場へという基本構想の理念を念頭に置いて、ワークショップを開催。市民の皆さんの予想以上に熱心な意見を聞くことができた。そこには愛知工業大学の中井先生のミニ講義、業務支援の東畑設計事務所のファシリテーター等がうまく機能したことで活発な意見が出たと感謝している。要約したニュースレターに目を通していただきたい。本日は図書館の附帯機能について活発な議論をしていただきたい。
【横山委員長】	図書館整備はこれからいよいよ我々の意見をまとめていく段階に入った。春の暖かい頃にいい意見がまとまるといいと思っている。今日はいろいろな意見を踏まえておおよその図書館の附帯機能について委員会としてまとめていきたい。
【中井副委員長】	前は欠席させていただき、今回から出席させていただく。私は図書館の建築の研究を20年ほどしている。滋賀県、愛知県、長野県や大学、学校図書館などの研究をしている。今やっている研究について後ほど時間をいただいて紹介したい。
【事務局】	前回欠席した委員より自己紹介をいただきたい
【松本委員】	亀山市建設部長
【亀淵委員】	亀山市建設部参事
2. 会議録、委員意見の確認	
【横山委員長】	事前に配布された前回の委員会の会議録について、修正があれば教えていただきたい。
【川辺委員】	単純な間違いだが、7ページめ、私の発言で議会図書館との連携で例に挙げたのは、「鳥羽市」である。
【事務局】	修正させていただく。
【横山委員長】	他になければ、何かお気づきの点があれば事務局の方へお願いしたい。次に、この委員会に関して、坂口委員、嶋村委員から意見をいただいている。この件に関して補足等あればお願いしたい。
【坂口委員】	特に補足というほどでもないが、図書館の基本として市民の方に気持ちよく使っていただけるというのを期待している。

3. 報告事項	
(1) 図書館市民ワークショップの実施報告について	
	<事務局より説明>
【横山委員長】	何か質問があればお願いしたい。
【一同】	意見なし。
(2) 最新の図書館の状況について	
	<中井副委員長から講義>
【横山委員長】	中井副委員長から講義をいただいたが、何か質問があればお願いしたい。
【若菜委員】	「図書館は使いこまれて熟成していく」とはどういう意味か。時代が変わって対応が変わるという意味なのか。
【中井副委員長】	東日本大震災で津波で流された図書館をみると、すごいあったであろう歴史とか文化とかが流される。そして今から何をするかというと、地域の資料を今から集めていくことになる。地域の資料は自分たちが20年かけて集められたコレクション。 図書館の司書が本を選ぶときに、今読む人たちの本を選ぶことも当然あるだろうが、その本が20年後に読まれるかもしれないということを考えて買うべきであってほしい。蓄積されて構成される図書館。資料の構成のことで、建物は古くなっていくので、みなさんが愛着を持って飽きのこないデザインが必要と思う。
【横山委員長】	図書館は歴史を積み上げていくもの、一方、図書館だけが独立して存在するわけではない。市の公共施設全体での図書館の位置づけもある。また、民間活力の活用も重要だ。その辺りについては市の財政部長の上田委員から説明をお願いしたい。
【上田委員】	亀山市の3月補正予算をちょうどして29年度末で、財政調整基金が最終的に35億2千万円。来年度の予算状況をみていると民間企業も亀山においては景気が良くなっている。約9億5千万ほど取り崩して来年度予算を編成する。 大きな要素は駅前とか野村布気線、川崎小学校、という状況。今後の状況は、国が法人市民税を直接市へ払っていたのを、企業が立地している所としていない所の差が激しいので、一部を国が持って行って、再分配するやり方。消費税交付金もいったん国へ集めて再分配するというように変わってきていて、亀山にとっては企業進出の大きな所で財政力の豊かな所にとっては少しマイナスの要因が出てくるのではないかな。 今後図書館事業も駅前も含めて、なかなかたいへんな状況が続いてくるだろう。役所が発注すると1㎡あたり40万円ぐらいかかってくる。民間との違いでPFIとかリースとか、民間にしているだけで、どちらかというと市がするより安くなる。 建設コスト、ランニングコスト含めると、国の方は今まで指定管理といって維持管理を任したらと言っていたのが、全体を任すようなやり方を自治体に求めている。関町と合併したときの合併特例債も今度駅前で使い切ってしまう。亀山にとっては厳しい状況が続いていくだろう。 しかし、シャープの裏に住友商事が10区画完成し、そこへ企業誘致を進めていくことで鋭意努力していく。
【横山委員長】	いろんなこと鑑みながら図書館を考えていかなければならない。もうひとつ、関連して亀山駅周辺事業について亀淵委員より説明をお願いしたい。
5. 報告事項	
(3) 亀山駅周辺整備事業の概略について	
【亀淵委員】	<資料2より説明>
【横山委員長】	何か補足等があれば、松本委員お願いします。
【松本委員】	市の財政状況も含め、地域の住民と協議しながら順次事業を進めて行きたい。
【横山委員長】	何か質問があればお願いしたい。
【川辺委員】	整備推進委員会も基本計画までに4回、かなり急で市民ワークショップも立て続け、そもそも基本構想には市民の意見は反映されていない。これは投書箱等の意見を聞いても市民は移転に反対している。駅前の事業そのものが当初の予定より遅れている。 私は総合計画の審議員にもなっていて、当初の予定では、年内に組合は設立。それが都市計画の決定も1月中にという話も聞いていた。ということは駅前の整備の進行状況が遅れているということを利用するわけではないが、3月に基本計画を無理無理作るというのは、駅前も延びては来ているので、もうちょっと基本計画を立てるのも丁寧にやる時間ができるのではないかな。 駅前に併せて図書館をというのをやってしまうと、それこそ30年40年先まで見越して、財政状況が厳しい中で、開発事業のテンポに合わせてというのは無理があるのではないかな。 この後、3月に基本計画をとると、パブリックコメントや市民への説明に提案できたが意見を聞く暇がないということで、基本計画の完成までを、最初に配ってもらった資料では、基本計画は8月となっている。駅前のビルの基本計画の時に、できるのが8月だと思う。それと平行しながら。
【事務局】	駅前との関係については図書館をつくるにあたって重要。ご指摘のように、基本計画は当初来年度の8月を目標にしていた。議論を重ねていく中、建物の設計というのに十分な図書館としての意見を反映したいということから、まず、基本設計としての進捗に合わせて図書館側の意見を含めていい形の図書館をつくっていきたいと思っている。そういった思いから3月に案をまとめた。ただ基本計画ができてすべてではないと考えている。中井先生からの話もありましたが、いわゆる運用面や管理面、どういう形で市民の財産とするか また中身の部分については来年度以降ワークショップを重ねてひとつひとつつくり上げていきたいと考えている。
【川辺委員】	基本計画を3月につくるけど、それを基にしてビルの設計をしてもらい、中身が可能な形でしていく。基本計画で決めたことは動かせないということであれば、仕方ない。

【教育長】	この委員会で、いったん3月を目途に基本計画をまとめていただくが、最終はできれば3月議会やそれ以降の教民委員会等にお示し、最終的には教育委員会で図書館についての基本計画は決定に至ると思う。3月の教育委員会で決定までいけるかという疑問は持っている。したがって駅前のビル設計に間に合わなくては意味がないだろうというのはあるが、駅前の進み具合を見ながら、教育委員の意見もいただきながら進めていきたいという思いがある。
【横山委員長】	こうした開発というのは、スケジュール通りにはなかなか行かない。駅前開発の進捗状況をみながら進めていかなければならないが、どういう状況になっても、こうした場合の図書館はどうあるべきかという計画、ある程度の方向性というものはやはり必要である。
4. 協議事項	
(1) 亀山市立図書館整備にかかる附帯機能について	
	<事務局より説明>
【横山委員長】	資料3-2で、ギャラリーの部分が薄くなっていて削除する部分と書いてあるが、どういう意味があって削除したのか。
【東畑】	以前お出した資料から整理していき、今の整理としては、地域発信エリアという所に市として展示してはどうかとなった。
【横山委員長】	前回から大きく変わった所を教えてください。
【事務局】	想定面積が入れてなかったの、それに即して区分と機能について再配分した。その中で先ほどのギャラリーとかエントランスだけでなく学習エリアであったりとか想定できるとしている。施設機能面に関しては、少し細かな言い方で、あくまでも仮の名前をどういった表現にするかという形で、展示スペースであるとか、カフェであるとか子育て支援の設備であるとか、具体的にどういったことをする場であるかということについてのネーミングを入れた。
【横山委員長】	限られた時間であるので、この委員会の時間後も意見をいただきたいが、可能な限りこの場で意見をいただきたい。
【片岡委員】	この面積に対して、充実できるのか。こういうことが重要だが、図書館に強く求めることができるのか。中途半端になるようではいけない。
【事務局】	想定面積については、基本構想ではこのように示したということで、この附帯機能等、審議をいただいた後、これからレイアウト、ゾーニングが再整備される中で、変動するものと理解している。これがありきの数字ではないと考えてほしい。
【川辺委員】	ワークショップの意見で、赤字が入れてある例えば資料3の飲食物販って書いてあるが、これは無理。飲食というのは人も配置、意見はいろいろ出ているが、どう考えても3000㎡で本来の図書館機能、24万冊という資料を充実させるというところに力を入れるべきで、どの段階でこれはできません。意見としていいけどできませんというのをワークショップメンバーに伝えとるか、今日は、これはやっぱり無理ですというべき場なのか。ここで意見を言うておいて、3月に基本計画ができたときに言うのか、その辺、どこまで言ったらいいのか。
【事務局】	今日、今言っていた意見をだしていただき、おそらく今日結論まではいかない。飲食はわかるけど無理じゃないかという意見をいただき、次回の委員会の時にレイアウト、全体のゾーニングというものをお示して、やっぱりこの部分は入れてほしいという議論をしてもらいたい。今日はそういったことを事務局で加味せずに資料を出しているの、そういった意見を頂戴したいと考えている。
【鈴木委員】	理想的な使い方をされていると思ったが、川辺委員が言われた通り、限られたスペースで、楽しいとかワクワクしそうな図書館づくり。資料の中で図書離れと言われてるけど、最近話題の本もあって意外と増えていると思う。
【若菜委員】	いろんな附帯施設が書いてあって、今日は、ここに書かれてない附帯施設を教えるという場なのか、ここに書かれてある内容で例えば多目的スペースならこのぐらいのこういう形のスペースが欲しいという意見を求められているのかわからないが、その中で私は中学生と高校生の保護者なので、利用の方法を考えると学習室はぜひ入れてほしい。学習室は静かなのもいいが、ある程度音が入っていても気にならない、逆に人の目がある方がゆったり、自分に集中できるというのも聞くので、静かな区切られたスペースというよりも、日なたで少し座ってできる部分があったりとかそういうのを造るといいかと思う。また駅前にできるというのであれば高校生の利用も増えると思うので、家庭で勉強しにくいという子もいると思うので、その点も考えてほしい。
【中井副委員長】	一宮市は図書館ゾーンの中に学習室があり、今まではそういう造りが多かったと思う。塩尻は外に出していて、図書館の中にはなくて、会議室のような所が何も入ってないときは、学習室として使えて、予約が入っている場合は会議室として使う。そうじゃないときは、共用分を使う。そこは飲食ができる。こもってやりたい人と大学でもそうだが、ラーニングコモンズと言ってグループでディスカッションする場所を全国の大学で造っている。そこで調査するとラーニングコモンズの中で一人で勉強している人が7割いる。結局、ざわざわしている中で勉強したい。物音も何もないシーンとした中でやりたい人、多分、場所をいくつか用意してあげることが大事。これだけとかというよりは、少なくともいいのでいろんな場所を用意して欲しい。後は彼らが選択して使う。
【若菜委員】	小さい町とかに行っても、窓際で、こういう所でも勉強しとる子がいたり、新聞読んでいるおじさんとか、どこにも場所は見つけて使う。最初にあった塩尻のようなイメージをしてもらえるといい。
【豊田委員】	資料にはいろいろ書いてあり、それもいいが、結局それが、読書に繋がるということを考えて欲しい。それがいい図書館になるということを考えてほしい。

【川辺委員】	若菜委員が言われたヤングアダルトコーナーについては同感。志摩市は学習室を作っていない。志摩の図書館は勉強だけの場を設けていない。これ全員でやる公共施設に本当に必要かということも考えていかなければいけない。 最近ドイツなんかは、延滞に課金する。つまり、延滞するということは、公共で買った資料を他の人に使えなくしている。有料化することもあるという。何がいいかと言うと、長い目で見て高齢の方の利用が増えるだろう。高齢の方も一人で読むっていうのもあるが、グループで話しあったり、例えば、最近、ある書店の奥でやるというのがあって、そういう利用できるスペース。部屋割りをされた所を申請して決まった時間にするとすると、空いてなかったりとか、そういう学生さんも6人掛けの机とかでワイワイできるような、ちょっとしたサークルとか読書会ができるようなスペースが欲しい。閲覧はやはり静かな所がほしい。いろんなところでいられるのがいい。
【桑名委員】	付帯機能で、飲食カフェは図書館の付帯施設の中に含める必要があるのか。別に駅前の建物を図書館に全部するわけではないので、地権者の我々が組合設立して、ゆくゆくは組合解散なので、まちづくり会社とかそういうものを造っていかなければならない。民間としてやれるもの、当然利益を上げてやっていけるようにしなければならない。市民のワークショップの意見をみんな取り入れるのか取り入れないのか。多目的スペースの利用についても、従来から言えば、イベント。J Rの駅サイディング祭をいったん中止して、再度市民に提供できるイベントを考えなくてはならない。 地元ではいろんな意見も出ている。歴史博物館と連携した展示、閲覧とある。歴史博物館の2階に亀山の城下町のジオラマが置いてある。それを見て駅前に帰ってきた人は感動される。なんであんな人が集まらないところにあんな立派なものがあるのか、駅前におろしてきたらどうか。あの大きさでなくとも2分の1でも3分の1でもいいから東畑さんに寄付してもらったらどうかという意見もある。地元の方で昨年亡くなられた方で、ふるさとミュージアム。日展で何回も入賞されている人がいる。展示できるスペースがないのかという話もある。 若いお母さん方は、他所から来た方で子どもと一緒に行動する時に、子どもを置いて美容室に行けない。都会で美容室の隣に有料の託児所がある。亀山にはない。図書館で親が美容室行ってる間に子どもを見てもらってる施設として考えて欲しい。 ワークショップを2回、整備推進委員会も2回出席しているが、私は板ばさみの状況ができてきた。まちづくり協議会では会長をしている。図書館の市民ワークショップや整備推進委員会などでどんな意見が出ているのかと聞かれる。駅前に住んでいる住民の皆さんから、みんなはどう思っているのかと感想を聞かれる。正直に言っていないのかわからない。いろんな意見が出ますというて流すが、辛い。明治になって駅が開発されて桑畑ばかりだった。製糸工場があって、それから代が変わって今住んでいるのは私たちで、他人ではない。確かに立派な人たちが議論してもらっているものができるだろうが、実際住んでる俺たちは土地が無くなって。高い所から棒が降りてきて駅前誰の土地に誰が建てるの?という意見も出てきている。個人的に法的にできなアカンという気持ちは持っているけど、あまりそれこそするとい竹槍でつつかれると、なんじゃという風な気になる。 非常に今複雑な気持ちになっている。先生方や専門の方の話を聞いていると確かに、この機会を逃したらできないと思っているが、中には不承不承という人もまだみえる。みんなで力を合わせてやりましょうと進んでくるので、みなさんには理解してもらおうように言っているが、あまりにも心無い地元の人を蹴飛ばされてまで何で協力するのやという気持ちをお持ちの方に頭を持ち上げてくる方も最近出てきた。ですから、その点もちょっとご配慮いただきたいと感じる。
【栗本委員】	この図を見ながら、まず静と動の部分があって、まず図書館というのは本来、学習したいという気持ちがあるという静の部分があって、新しい図書館。小さい子が声を聞いても隣の人にうるさいと怒られない、そんな場所。また学習室は勉強する場所は図書館でなくともいい。駅前の複合施設に学習室を作ってもらって、図書館の本を使って勉強する場が図書館の中にあればいい。 後はワークショップのみなさんの意見を少しずつ入れてもらって希望に沿うような図書館ができるといいと思う。あと、小さい子の意見も叶えられるものがあれば叶えてあげれば、喜んで図書館に来ると思う。
【川口委員】	この図はすごくわかりやすいが、今までの図に比べると色分けもしてあるしわかりやすいと思うが、亀山市立図書館として狙うものはないか。みんなの意見は叶えてもらいたいが、児童センターや図書館の役割ということも考えて、テーマがあって、コストパフォーマンスもあると思うので、ある程度考えて造ってほしい。多目的スペースを上手に使う、ある日は学習室、ある時は多目的スペース、ある日は読み聞かせのコーナーという多目的なものでない、狭い施設でなんの施設やなとなる。あくまでも図書館という施設を考えて、片やパソコン打ちながらいというのも私も好きなことではあるが、さっきも桑名委員が言われたように、駅前の商業施設になったりすぐ付近にあるということであれば、委ねるということもあって、自販機いくつぐらいのことになっても、物販コーナーあればいいが、近くの商店と共存する形でないと、図書館にあればいいということであれば、意見もまとまらないし。
【川辺委員】	川口委員と同じで、どこに力を入れるか。他の施設との関連。市民協働センターみらいなど、市民は無料で使える施設がある。それに図書館に多目的なさまざまな催しで使えるスペースを造る。有料ではなく無料でイベントする施設とするなら、今の学習室、前の展示室の広さが書いてあるが、実際図書館の運営すると、過去の実績からどのぐらいの広さがあるといいのかとか聞いてみたい。
【横山委員長】	限られたスペースであるので、建物だけを捉えて図書館と考えるのではなくて、関係機関との連携も重要である。最終的には亀山市の図書館が何を目指すのかということを軸に、現実的な問題を考えながら、案をいただけたらと思う。
【中井副委員長】	基本計画なので、目標を定めるべきものだと思っている。それができる、できないは、行政が最終判断として考えるべきもの。基本的にはこういうものが欲しいといえいいもの。あまり突拍子もないことは入れない。スペースがどうこうではなく、こうしたことができる。なにがあって、こうしたことができるということをちゃんと書いた方がいい。スペースが欲しい。どれだけあればいいのかではなく、少ないスペースでもこのようにできるということがあればもう少し柔軟に対応できると思う。それを文書として残す。あまり数値にとらわれない。あと、お金とか面積とかあると思うが、まずはどういったものをつくりたいのかというのが、こういう場で言うてもらう。

【横山委員長】	今日、この場で言えなかったことは、また後でもいいので事務局に伝えてもらいたい。
【川辺委員】	3点聞きたい。回答は次回でいいが、1つは、今の図書館の予算を見せたら、新しい図書館になったら、人も資料を購入する予算もいると思う。単純に見積もって今の3倍はいると思うが、財政状況が厳しい中、そこまで行政が腹をくくって予算はもらえるのか。幹部が出てきてもらっているのも、重要と思ってもいると考えるが、少なくとも総合計画の審議の段階では、そこまで図書館に入れ込むという議論は無かったので、市側の覚悟を聞きたい。2点目は、図書館の中に専門家がない。それで整備なのかという意見を聞く。どこの段階で専門家を入れるのか。もしくは、責任を持って継続していく人がいるだろうというのが言いたい。もう一つは、関の図書館の利用が合併後2年後ぐらいで増え始めている。この辺り資料を見ていて気になる。
【横山委員長】	その辺り、整理して次回事務局よりご説明をお願いします。
【事務局】	どうもありがとうございました。

平成 29 年度 第 3 回亀山市立図書館整備推進委員会会議録	
日 時	平成 3 0 年 2 月 23 日（金）午後 2 時 30 分開会
場 所	亀山市役所 本庁舎 3 階 大会議室
出席者	服部教育長、横山委員長、中井副委員長、川口委員、豊田委員、若菜委員、鈴木委員、片岡委員、桑名委員、川辺委員、栗本委員、坂口委員、亀淵委員、嶋村委員
欠席者	山本委員・上田委員・松本委員・佐久間委員
事務局	亀山市教育委員会生涯学習室 亀山室長、小坂、安藤 亀山市立図書館 井上館長、若林 （株）東畑建築事務所名古屋事務所 高木設計室長
傍聴の承認	
【事務局】	傍聴者について承認いただけるか。
【一同】	異議なし。
【事務局】	傍聴を認める。
■開会	
【事務局】	第 3 回亀山市立図書館整備推進委員会を開催する。配布済の資料を確認する。
1. あいさつ	
【教育長】	今回は、インフルエンザ等のため、市職員委員の欠席が増えたことまづもってお詫びする。基本計画の 3・5・6 章を特にしっかりと議論していただきたい。当計画案については、確定したものではないが、そのイメージをつかんでいただきたい。その中で、皆様方の思いや考えを出してほしい。
【横山委員長】	先の教育長のお話にもありましたように、計画案を皆様方には確認していただきたい。忌憚のない意見をお願いいたします。
2. 会議録、委員意見の確認	
【横山委員長】	事前に配布された「第 2 回 亀山市立図書館整備推進委員会会議録」について、修正等があれば教えていただきたい。
【横山委員長】	他になければ、何かお気づきの点があれば事務局の方へお願いしたい。次に、前回の委員会において川辺委員から意見をいただいている。この件に関して説明等あればお願いしたい。
【事務局】	「第 2 回 亀山市立図書館整備推進委員会委員質問」により事務局説明
【川辺委員】	計画案を出していただいたが、その費用についてはどのように考えているのか。絵にかいた餅にならないよう、財政面は適切に検討してもらいたい。
【事務局】	体制や運営費の拡充は必要と事務局では考えている。適正なランニングコストを算出する予定である。また、中長期的な展望のもとで人員配置も検討していく。
3. 報告事項	
(1) 最新の図書館の状況について	
	＜中井副委員長から「にぎわいのある『場』としての図書館」について講義＞
【横山委員長】	中井先生の講演の中で、学べる点が多くある。レイアウト、複合的側面、地域の居場所としての図書館の必要性、大変勉強になった。居場所としての図書館の機能を作っていくことがいかに大切であるかが理解できる。亀山市の地域の居場所を作っていくことが必要であると思う。何か質問等あればお願いします。
【豊田委員】	愛知川などの図書館は「にぎわい」ができるよう狙って計画を作られたものなのか？

【中井副委員長】	滋賀県などでは準備室を市が作り、しっかり議論を行って図書館を造っており、その結果、成功したのではと考えている。狙って成功ではなく、やはり結果として成功したのではない。また、カウンターが離れているのは、大事なポイントになると思う。
	(質問はなく次の事項に入る)
4. 協議事項	
(1) 亀山市立図書館整備基本計画案について	
	<事務局より説明>
【川辺委員】	管理運営とも関わる部分であるが、子育て支援センター機能を持たせるという点で託児などと記載があるが、あいあいの子育て支援センターとの連携はどうするのか？ また、どのくらいの職員を配置するのが疑問。小さいお子さんと共に親子で来やすい居場所づくりを優先する方が良いのではない。子どもの本専門の司書を配置して、そこからあいあいにつなぐというのも良いかと思うがどうか？ 受付貸出窓口の件について、自動貸出機は賛成です。それによって生じた職員の労力を来館者サービスの充実に向けることができればよい。
【片岡委員】	私も川辺委員と同様、子育て支援センターとしての機能を図書館が担うのはいかがとは思える。子どもを一時預かりして、親が本を探すというのもあるが、知らない人に子どもを預かってもらうと、かえって子どもが泣いたりして図書館が騒がしくなってしまうのではない。親子で一緒に本を探せるスペースを作ることが必要。安心して親子で探せる居場所づくりが必要ではないか。
【事務局】	実際、子育て支援センターという機能を図書館に移管するというニーズは、ワークショップでも意見としてそんなに出てきていない。子育て相談などはあいあいのサテライト的な位置付けで行い、託児も隔日で行うなどもあるかと考えており、どのように附帯機能として入れるか整理したい。
【横山委員長】	資料ではセンターを置くととれる記載がありますので、この点は修正してはどうか。
【川辺委員】	また、本棚の高さを子ども目線に下げるなどの工夫は必要と思う。
【川口委員】	私は、託児室に需要があるのか少し疑問に感じる。プレイコーナーも絵本室の中にあればよいと思う。あと、資料にある動と静のエリア分けについて、動のエリアがとて多く、とても騒がしい図書館になってしまうのではと心配する。開架図書エリアを充実することが大切である。
【横山委員長】	誤解を招かない様なゾーニング図は必要だと思う。
【事務局】	施設計画の中では具体的に書き込んでいく必要があると思うが、基本計画では、『整備に配慮する』などのように書きこむことになると思う。
【横山委員長】	今はこれらの資料は、あくまで計画のコンセプトという観点で見ただけだと思う。
【事務局】	ご指摘の通り、図書館の本体の部分、附帯機能の部分が不明確かと感じるので、もう少し誤解のないように記載について配慮したい。
【栗本委員】	バリアフリーとあるが、外国籍の方が多いとも思うので、外国籍の方の意見も採り入れてもらえるのか？
【事務局】	バリアフリー、ユニバーサルデザインは当然のこととして、アクセシビリティ、寄り添っていく視点については、特に管理運営面では大切であると考えている。誰もが理解できるサインなど、施設そのものだけではなく、利用者に寄り添う視点が大切にしたい。
【桑名委員】	駐車場 90 台は必要とあるが、これを整備するランニングコストは大きな問題である。若い世代にも愛される図書館を造ってほしい。また、高齢者にとっても行きやすい図書館をつくるのが大切である。
【若菜委員】	事例の写真もイメージがわかりやすく良いと思う。全てのところが実現できるかは難しいと思うがこれからの子どもたち、学生たちにとって学習スペースの充実もしていただきたいと思う。
【豊田委員】	今回示された資料では、新しい図書館の特徴が何かが見えてこない。亀山市らしさをもっと出してほしい。
【桑名委員】	駅から降りた来訪者が亀山の街をイメージし、散策してみたい、図書館に入ってみたいと思えるような建物のデザインの配慮をして欲しい。
【事務局】	限られた空間で、いかにその中で多機能性を持たせるかが大切ではあると考えている。いかにうまく共用していくのかという考え方、サテライト機能の活用、また、博物館等への利用の促進も含めて、図書館の機能を有効に使っていききたい。 市民や市外からの来訪者に亀山を知ってもらえる場としての活用も大切であると考えている。そのあたりも含めて方向性を示していきたい。
【中井副委員長】	目次について、順番、文言等に違和感がある。また、2 章基本構想の概要の書き方もおかしいのではないかと。ここは「構想」ではなく、計画としてめざすものに修正すべきと思う。 まさに 2 章が大切で、ここが一番の肝になってくると感じる。図書館の話をする前に、第 3 章の附帯機能の話が先に来ているというのは問題があるのではないかと。 さらに、4 章も先に議論すべきであると思う。2・4 章で図書館のあるべき姿を伝えることが大切だと思う。一方、附帯機能という言葉も少し違和感を感じる。附帯機能ではなく、その機能そのものも図書館であると書く方が良いのではないかと。図書館としてのあり方を今一度検討してほしい。 まずは、図書館としてのゴールを示し、附帯的な活動について考えることが大切ではないか。そして、5 章でそれを実現するための施設計画（建築計画）を明示することが大切である。音のゾーニングやアクセシビリティの充実もしっかり明示してほしい。施設計画も考え始めていくと良いかと思えます。 ところで、桑名委員がおっしゃった駐車台数の検討について、この根拠データはわたしから提供した。みんなが来られるように考えてから、駐車台数を検討することが大切であると感じる。そして、根拠として論文のタイトルをクレジットとして書いておいてほしい。

【横山委員長】	もう一度中井先生と事務局でそのあたりを整理してもらいたいと思う。 今日の協議事項について、事務局の方に言い足りない部分は改めて言っていただきたい。
5. その他	
【横山委員長】	それでは、事務局から連絡事項等願います。
【事務局】	次回の委員会日程ですが、3月29日(木)の午後2時30分から、あいあい大会議室で開催する。 どうもありがとうございました。

平成29年度 第4回亀山市立図書館整備推進委員会会議録	
日 時	平成30年3月29日(木) 午後2時30分開会
場 所	亀山市総合福祉センター「あいあい」2階 大会議室
出席者	服部教育長、横山委員長、中井副委員長、川口委員、豊田委員、鈴木委員、片岡委員、桑名委員、川辺委員、栗本委員、坂口委員、亀淵委員、嶋村委員、松本委員、佐久間委員
欠席者	若菜委員・山本委員・上田委員
事務局	亀山市教育委員会生涯学習室 亀山室長、小坂、安藤 亀山市立図書館 井上館長、若林 (株)東畑建築事務所名古屋事務所 高木設計室長、柱主任技師
傍聴の承認	
【事務局】	傍聴者について承認いただけるか。
【一同】	異議なし。
【事務局】	傍聴を認める。
	(傍聴者1名)
■開会	
【事務局】	第4回亀山市立図書館整備推進委員会を開催する。配布済の資料を確認する。
1. あいさつ	
【教育長】	第1回から短い期間ではあったが、ここまでこられたのは委員の皆さんの活発なご意見のおかげである。本日は図書館整備基本計画の全体像をお示ししているのでご意見いただきたい。 人事異動により、図書館に正規職員の司書がいなかったが、現場経験のある司書資格を持った正規職員が4月より図書館に着任することとなった。新しい図書館整備に向けてできることから動いていきたい。
【横山委員長】	図書館が完成するまで委員会は続くが、一つの節目として基本計画案が提示されている。内容の決定に向けて議論を進めていきたい。
2. 会議録・委員意見の確認	
【横山委員長】	事前に配布された「第3回 亀山市立図書館整備推進委員会会議録」について、修正等があれば教えていただきたい。
【横山委員長】	何かお気づきの点があれば事務局の方へお願いしたい。次に、本日欠席の若菜委員及び川辺委員から意見をいただいている。この件に関して説明等あればお願いしたい。
【事務局】	「第3回亀山市図書館整備推進委員会委員意見」により事務局説明。
【横山委員長】	川辺委員のご意見の中に、滋賀県高島市の施設規模や資料・人的配置との比較が挙げられているが、出典はどこか。
【川辺委員】	市議会でのある議員の方が調べられたもので、図書館協会の資料であったと思う。図書館協会による評価ランキングでは同人口規模では先進的と評価されている。
【横山委員長】	高島市の図書館に行ったことがあるが、5町1村の合併に伴って従前の図書館がそのまま運営されている。数字だけで判断はできない。自治体のおかれている状況が違う部分もあるので、そのあたりをふまえて比較をしていくことが重要と思われる。
3. 報告事項	
(1) 最新の図書館の状況について	
	<中井副委員長から「にぎわいのある『場』としての図書館」について講義>

【中井副委員長】	図書館学では図書館を「成長する有機体」と表現することがある。図書館単体ではすべてのサービスを網羅することができないと考えており、他の施設などにつながってサービスを提供すべきと考え、第4回ワークショップで紹介した事例をお示しする。 ○島根県海士町「島まるごと図書館構想」 島全体が図書館として機能する事例である。中央図書館と13館の分館で構成されているが、分館は本棚1つのところもある。民間施設も含めて町が管理しており、図書の入替えなどを行っている。近年、島に1ターンする人が増え、島留学として日本全国や海外から高校生も集まっている。その中で図書館の設置要望が出たが、資金がないため、3つの小中学校に司書を派遣し、学校図書館を公共図書館として位置づけることから始まった。その8年後に中央図書館が整備されたが、200m程度しかないため、小中学生向けの本は置かず、学校と蔵書の分担を行っている。 14館の調査を実施し、複数図書館を利用されていることが多いことが分かった。課題としては、1ターン組の方の利用率が高いが、旧来の住民の利用率は低く、使い方に差があることである。改善策として、100円を入れるとインスタントコーヒーが飲めるセルフカフェサービスを導入し、利用率が上がってきた。こういった本来の目的以外の利用を「充実利用」と名付けている。島の子どもは1人あたり100冊も本を読んでおり、小中高生の読書環境を町がサポートしている。 ○愛知県瀬戸市 学校図書館の活用事例 中学校区毎に1つの学校図書室を、地域図書館として土日開放している。児童書と一般図書が並列しており、どちらも借りることができる。瀬戸市は中央館が狭いため、周辺自治体の図書館を利用されている傾向がある。地域の学校図書館を利用する人は本館も利用する傾向が高い（50%程度）ため、しっかりとした本館を整備することは周辺との連携上重要である。 学校図書館の調査として、日進市、飛鳥村の小中一貫校の事例を調査している。学校図書館を使う子どもは公共図書館も利用しており、その利用の相関関係は非常に強い。子どもに身近な学校図書館をベースとして徐々にステップアップする。中学生になると読書習慣がなくなる傾向があるが、子どもの頃からサポートすることが重要である。公共図書館だけでなく、公共施設や学校などと有機的な連携が重要と思われる。 まとめとして、「にぎわいの創出」も重要だが、図書資料を提供して地域の課題を解決し、地域の歴史や文化を記録することも重要である。
【横山委員長】	海士町の事例は非常に注目されている。高齢化、過疎化などの課題に対して町が一丸となり施策を実行している。社会教育は図書館だけでなく、地域全体で考えるべきである。限られた予算の中では、連携や活用をすることで大きな効果を生み出すことができる。市単体だけでなく、近隣市域との連携も含めて検討していく時期ではないか。
4. 協議事項	
(1) 亀山市立図書館整備基本計画案について	
	＜事務局より説明＞
【横山委員長】	かなり見やすくなった印象を受けるが、5月の公開を目指して最終確認の意味合いでご意見をいただきたい。
【川辺委員】	分かりやすい構成だし、これまでの経緯がよくわかる。 3頁下から5行目の利用者の中に「子ども」を加えてはどうか。
【片岡委員】	見やすくなり、図書館本来のあり方を中心にどう附帯機能を加えていくかという整理がついたと思う。子どもや保育の視点で、子どもが親と一緒に来やすい、今の子ども用スペースよりももっと充実した空間を整備し、楽しい思い出をたくさんつくって将来の図書館利用につながるようなといい。
【坂口委員】	実現できれば非常に魅力的だが、第6章の事業費・運営費・人件費を見ると市として厳しい大規模な予算や人員配置であると感じる。規模としては適正かもしれないが、亀山市としてうまく運営できるかの判断の検証が重要になると思われる。どの機能を重要とするのかも検討すべきと思う。
【横山委員長】	効率的な運営についても議論する時期がくると思う。
【鈴木委員】	人々が訪れやすい機能を持たせると、セキュリティの問題も出てくる。駅前ということで、これまで利用していない人の利用が期待されるが、駐輪・駐車スペースの確保を図書館単体でなく駅前整備全体で検討していく必要がある。地域の特色を活かして、亀山らしい、何かいちばんとして誇れるものを盛り込んでいただきたい。
【横山委員長】	セキュリティは重要であり、それとともに図書の破損なども問題となっている。そうしたことへの対応も必要だ。
【豊田委員】	計画にあたって市民の意見を聞いていただき、具体的なイメージが高まってきたが、建設段階でも図書館家具を市民がつくるなど、参加できるようなプログラムがあるとよい。愛称も募集してはどうか。 休館日も原則なくして、いつでも市民の居場所になるとよいがそのためにはボランティアの連携も重要である。 子ども連れの場合、複数人を連れてくる場合が多いので、一緒にAV資料を見られるスペースを確保するなどの配慮があるとよい。
【事務局】	たくさんさんの意見をどう建築に反映していくかはこれからであるが、進捗に合わせて意見交換やワークショップを行い、できるだけたくさんの要望を実現できるように進めていきたい。開館時間・休館日については未定であり、これからの検討で、どういう主体がどう利用するかを整理し、決めていきたい。愛称なども同様であり、市民の皆さんのご意見をうかがいながら進めたい。

【川口委員】	機能としては整理されたので、具体的な空間としてこれから兼用なども含めての検討を楽しみにしている。 人件費の試算として、非常勤の司書が7名となっているが、ある程度は正規職員として雇っていただきたい。継続的に関わっていただかないと図書館の質が下がるのではないかな。早めに募集をかけ、計画と同時進行で進めるべきである。また、学校司書と図書館司書の連携も部署をつくって検討を進めていただきたい。
【横山委員長】	正規職員に司書を含む表記とすればよいのではないかな。
【川辺委員】	三重県内の市町において、専任で司書を雇っているのは津市しかない。行政職採用だと異動があるため、専門職採用ですべきである。継続して図書館に関わらないと経験が豊かにならない。
【横山委員長】	博物館の学芸員などでも同様の状況であり、ご検討いただきたい。
【栗本委員】	新しい図書館のキャッチコピーを早めに打ち出し、市民にアピールしてはどうか。 乳幼児連れのアクセスとして、バスの路線網も合わせて検討することで、駐車場の課題も解決できるのではないかな。
【事務局】	55頁にも記載があるが、公共交通機関との連携も検討課題である。また、乳幼児連れに配慮した託児・授乳スペースなども確保していく予定である。
【桑名委員】	子どもだけで図書館に来た場合に配慮し、帰りの送迎サービスを地域で担うことができないかと考えている。 駅前付近は朝7時を過ぎると、電車への送迎で車がかなりのスピードで通るため、道路が拡幅された場合に交通問題が懸念される。また、防犯面でも心配である。安全・安心な環境づくりを実現するため、地域住民も協力したい。 亀山への来訪者が駅前に立った時に、他とは違う、足を運んでいただける第一印象を与える施設をつくっていただきたい。参考になる意見をたくさんいただいたので、地域としても勉強していきたい。
【鈴木委員】	今後の経済状況や人口動向をふまえて今後も流動的に検討を進めていただきたい。今は最新の仕様として決定しても、完成時には古いものとなる可能性がある。
【事務局】	31頁下段にあるが、専門的な見地による完成後の図書館サービスや運営のチェック体制を確立し、合わせてシステム構成なども随時更新していきたい。
【川辺委員】	機能やサービスについてよくばって書きすぎているのではないかな。他の施設との連携を図りながら計画を進められればよい。例えば観光案内所は観光協会が担えばよいとの整理ができれば、図書館にはスタッフが案内所につながるスキルを身につければよい。 全ての資料を図書館で用意する必要はないので、図書館単体で担う部分を中心に整理を進めるとよい。 開架スペース内に閲覧席を計画すると思われるが、海外では可動式の書架でスペースを自由につくれる事例があり、実現できればおもしろいのではないかな。
【松本委員】	駅前再開発施設の中に図書館が入るが、飲食や観光案内所は別機能として施設の中に入るかたちも想定される。施設全体で検討いただきたい。
【亀淵委員】	68頁の事業費だが、図書館の面積が3,000㎡とあるが、理想は3,300㎡という話もあり、そのあたりのずれが少し気になる。事業費についてはある程度根拠をもって示していただきたい。
【嶋村委員】	第2章で、子どもや親子に重点をおくことについて記載があるのはよいが、21頁の現状の世代別利用者数を見ると、中高生や若年層の利用が少ない。この現状を見据え、この世代に対しての措置を明確に示していくべきではないかな。 図書に対する要求が多様化する中で、マイノリティ性が高まっているため、市民のニーズを探り、蔵書や計画に反映することが必要であり、基本計画に盛り込んでいただきたい。 「利用困難者」という表現が気になるので用語を見直したい。 司書については資格や人数が議論されているが、資料の収集、検索、補修、本に関する教養など、多様な業務がある。司書が働きやすい環境をどう実現するかを明記すべき。それが市民へのサービスの還元につながる。書くのであれば1-4-3に課題を具体的に記載してはどうか。
【佐久間委員】	ユニバーサルデザインについて、障がい者への配慮としては車いす、視覚障がい者がよく挙げられるが、聴覚障がい者の方は視覚障がい者よりも多くおられるため、掲示板など配慮した計画をお願いしたい。
【大澤委員】	基本構想から基本計画の流れの中で、市民ワークショップでの議論を重ねて意見を集めてきたが、第3章に対してのつながりがやや薄い印象を受けた。
【中井副委員長】	第3章がボリュームが多いので伝わりにくいかもしれない。 第4章で可変性などをもう少し詳しく記載した方がよいのではないかな。可動式書架の話がでたが、地震対策として固定は必要だが、取り外しができるような配慮はできると思う。 地域資料については、「亀山学」という形で蓄積されていくと思われる。 18～19頁の表は、貸出者数を地区人口で割った数値を貸出密度として表現していただきたい。地区ごとの特性を分析することができる。
【横山委員長】	その他ご意見があれば事務局までお願いしたい。大きくはこの方向で進めさせていただきたい。
【川辺委員】	現図書館の課題として、スタッフの不足が図書館サービスに影響している点は明記すべきである。子育て世代が多い地区は貸出冊数が多いと思うので、学校図書館などとの連携は重要と思う。行政資料を図書館に導入しないとの記載は納得できない。図書館を窓口として、市役所と連携をする形でよいので検討いただきたい。
【事務局】	ご意見があれば4月6日までにいただきたい。それを受けてホームページ等で市民に公開して意見をいただき、最終取りまとめを行いたい。
5. その他	
【事務局】	次回委員会日程は改めて連絡させていただく。

6-5 公開型図書館市民ワークショップ

亀山市立図書館整備基本計画ワークショップ 第1回



■テーマ

新しい図書館についての夢や想いを語ろう！
～こんな図書館になるといいな～

日時：平成 29 年 12 月 17 日（日） 10：00～12：30
場所：総合保健福祉センター「あいあい」

■プログラム

- ①アイスブレイク：教えて！かめやまのまち自慢！
自己紹介カードにかめやまのまちで自慢できることを1つ記入し、ジャンル毎に分かれて集まりましょう。
- ②図書館の整備計画について
図書館整備の概要について説明します。
- ③先進事例の紹介
・さまざまな機能が複合した図書館の事例
・使われ方（ソフト）と建物（ハード）が融合した図書館の事例
などを紹介します。
新しい図書館のイメージを高めましょう。
- ④グループワーク：こんな図書館になるといいな！
グループ毎に「ふせん」と「模造紙」を使って作業をします。



【ステップ1】「今の図書館のイメージ」をふせんに書きましょう。

【ステップ2】「こんな図書館になるといいな」という想いを
ふせんに書きステップ1のコメントと合わせて
まとめましょう。



最後にグループ毎に発表します！



【第1回ワークショップのプログラム】



【ワークショップの風景写真】



第1回 図書館市民ワークショップ グループワークまとめ				
日時	平成29年12月17日（日）10：00～12：40			
会場	あいあい（亀山市総合保健福祉センター）大会議室			
参加者	29名（傍聴者除く）			
テーマ	新しい図書館についての夢や想いを語ろう！～こんな図書館になるといいな～			
ワークショップの ねらい	図書館に対する夢や期待を出し合い、新しい図書館づくりに参加している意識を持つ。			
	ワークショップを通じて新図書館への期待感を生み出す。			
	新しい図書館づくりにつながる希望や夢を書き出し、キーワードを整理する			
グループワーク① 「現状の図書館について」				
意見		意見の要旨	意見の分析	
良	緑が多い、静かな環境	緑が多く、静かな環境	緑豊かで静かな環境、歴史博物館などの文教施設が近くにあり立ち寄りやすい立地が評価されている一方、アクセスが不便であることが挙げられている。	
	緑がいっぱい			
	静かな環境			
	静かなフンイキでいい			
	静かである。			
	周囲の緑に癒される。（特に公園があるので子供が喜ぶ）	亀山公園、歴史博物館、青少年研修センター、公民館が近くにあり、他の施設に行ったらついでに立ち寄りやすい		
	公園、博物館と青少年研修センターと同じ敷地			
	公園、歴史博物館、公民館に隣接			
	隣りに亀山公園がある			
	亀山公園の野草園がとても良い、札をはってもらうとなおいい			
公園、歴博、青研の近くにある	二宮金次郎の像がシンボルとしてよい			
歴史博物館がとなりにある				
他の施設に行ったらついでに立ち寄りやすい				
課題		アクセスが悪い、車がないと不便		アクセスが悪く、車がないと不便
課題		アクセスが悪い		
良	二宮金次郎の像がシンボルとして良い			
課題	入口付近の植栽が季節によってはみずばらしい	植栽が季節によってはみずばらしく見える	駐車台数の不足、駐車区画の狭さが総じてコメントされている。	
	駐車場が狭い	駐車台数が少ない、駐車区画が狭い		
	駐車区画が狭い			
	駐車可能台数が少ない			
	駐車場が狭く、台数も少ない			
	駐車場が少ない、とめにくい			
	駐車場が狭い			
	駐車台数が少なく、車室が狭い			
	駐車場が少なく遠い			
	駐車スペースのラインがせまく入れにくい			

課題	暗い	古い、暗い	老朽化による古さ、暗さ、面積の狭さがマイナス点として上げられる一方、コンパクトさや静かさが評価されている一面もある。 土足利用や入口近くにある改修されて綺麗なトイレは評価されている。
	閲覧スペースは暗い		
	暗い		
	古い、暗い		
	室内のイメージが暗い		
	全体的に暗い感じがしてしまう		
	狭い		
良	入りにくい雰囲気が入ったことがない	入りにくい雰囲気がある	
	コンパクト（こじんまりしている）	こじんまり、きれい、静か	
	きれいでいい	内装や家具に木の温もりがあってよい	
	静かでいい		
	木のぬくもりがあっていい	トイレが広くて綺麗	
	木の机や仕切りはあたたかみがあっていい		
	トイレが広くていい。	トイレが入口にあり利便性がよい	
	トイレがきれい		
	トイレが入口にある	土足で利用できるの でよい	
	土足で入れる		
土足で入れる			
くつをぬがずに入れる			
靴を脱がずに土足で入れて楽でいい			
課題	開架ゾーンが狭いので本の選択がしにくい	開架書架スペースが狭い、閉架書庫の比率が高い	開架書架スペース、閲覧スペース、検索スペース共、全体的に面積が不足しており、パソコンが使える専用スペースがない。また、閉架書庫も利用しづらい状況となっている。
	狭い		
	閉架書庫ゾーンが多い	開架図書が閲覧しづらい	
	昔は貴重な本が展示してあったけど、今は閉架にあって分かりにくくなった		
	閉架図書を開架スペースへ		
	閉架書架が見られるとよい		
	閉架書庫の本をもう少し開架に出してほしい		
良	座って閲覧ができるところが書架の近くにあって便利	閲覧スペースが書架の近くにあってよい	
課題	閲覧スペース	閲覧スペースが狭い、机が使いにくい、椅子が硬い	
	傾斜付閲覧机の上に本がおきにくい、みぞが浅い		
	椅子が硬い		
	座りにくいイス		
	読書スペースが少ない	検索スペースの位置が奥まっていて使いづらい	
	検索スペースが奥まった位置で使いづらい（車椅子の人はとくに）		
	PC スペースがない		
	PC 利用台数が少ない		
良	パソコンが使えない	パソコンの利用スペースがない	明るく、仕切りがあり、学習環境としては好評だが、図書館の外にあり、本やパソコンが持ち込めない部分に不満が出ている。
	学習室机にしきりがあるところ		
	学習室が明るくて好き		
	学習室が各自勉強しやすく整っている		
課題	机に仕切りがあって集中できる	学習室にパソコンを完備してほしい	
	学習室に PC を各々完備してほしい		
	学習室に本が持ち込めない	学習室に本が持ち込めない	

良	幼児コーナーが充実	幼児コーナーが充実しており、椅子や書籍のレイアウトなどがよい		
	幼児コーナーが広く、ゆったりとしている。			
	幼児コーナーがあるところ			
	幼児コーナーの雰囲気は好き			
	幼児コーナーに親子で横に並んで座れるところがある			
	幼児コーナー 分かりやすく並べられている			
	窓側にちょっと座る長いイスがある			
課題	絵本コーナーが殺風景	絵本コーナーが殺風景	幼児コーナーの雰囲気や設えについては好意的な意見が多いが、世代別のコーナー分けの必要性や授乳室等の附帯諸室の必要性が挙げられている。 また、利用者のマナー向上や利用ルール策定も求められている。	
良	スリッパに履き替えるからきれい (以前の利用方法)	上足で利用できるもので清潔感がありリラックスできる		
	読み聞かせコーナーは靴を脱げてリラックスできていい			
	読み聞かせコーナーは小さい子どもが自由に動き回れるのでよい			
	幼児コーナーは上足のため、親が他の部屋に行くために履き替えるのが面倒	靴の履き替えが面倒		
	赤ちゃんの遊ぶ場所があったらいいかな。	0～2歳児を想定したコーナーや本の配置があるとよい		
	0～2才児の手に届くところには破れない本を置いて欲しい。			
	キッズコーナーの近くに授乳室がない	授乳室、雑誌コーナー、人形劇用コーナーなどがあるとよい		
課題	雑誌コーナーが幼児コーナーと近いとうれしい			
	読み聞かせコーナー、人形劇用コーナーを別に			
	図書館は子育てする親にとってしつけの場所である。			
	幼児コーナーの使い方が上手くない、狭い	靴の脱ぎ方、本の読み方など、利用マナーが悪い方がいる		
	靴の整理ができておらず汚い			
	下駄箱を利用しない。(上下足の境界が解りにくい)			
	児童コーナーの使い方のルールづくりが必要			
	休憩スペースが狭い	休憩スペースが少ない		
	休憩スペースが少ない			
	休憩スペースが少ない			
	休憩スペースがせまい。(イスが少ない)			
	休憩している人が少ないように思う。			
	飲食スペースが貧弱			
	軽い話ができるところがない			
	長時間滞在するにあたり自販機がない	自販機がない		
フードコートが無い	フードコートがない			
課題	内容に合わせて使えるコーナーが少ない	イベントや展示等に合わせた使える空間がない	飲食・休憩スペースや多目的スペースが絶対的に不足している。	
	昔は現学習室の場所で講演・展示会があったが今は場所がない			
	教科書展示のときとってもとっても狭い (以前は展示室があり、そこで行っていた)			
	ホールが無い			
良	ミーティングルームが音漏れる	ミーティングルームの機能性が劣る	飲食・休憩スペースや多目的スペースが絶対的に不足している。	
	インターネットが使える	パソコン利用やDVDを見ることができてよい		パソコンやDVDの利用ができることが評価される一方、ブースの数が少なく、狭いとの意見がある。
	コンピューターが使える			
	コンピューター検索ができる			
	DVDが見える			
DVDを見る事が出来て良い。				
課題	AVブースが少ないなあ	AVブースが少ない・狭い	テーマに沿った展示・選書が評価されている。活動については継続して行われているものがある一方、活動が少ないとの意見がある。	
	ブースが狭い			
	AVブースが少なく順番待ちが長い			
	月一回の読み聞かせがある	読み聞かせやテレホン童話などが継続して行われている		
	テレホン童話が長く続いている			
	上映会が無くなった(アニメ上映、工作)	上映会・工作などのイベントがなくなった、イベントが少ない		
	イベントが少ない			
良	エントランス部分のテーマ選書がとてもステキです	テーマに沿った展示や選書がよい		
	ホール掲示版が楽しい。			
	郷土コーナーなどの企画展がいい			
	新刊スペースはわかりやすい			新刊スペースがわかりやすい

課題	OPAC で調べたところと違うところに本がある	検索システムと蔵書位置がリンクしていない、検索しづらい	図書検索システム、及び蔵書とのリンクについてマイナスの意見がある。
	検索しづらい		
	検索システムをかんぺきに		
	大型絵本が積み重ねられて重いので取り出しにくい	書架が不足しており出し入れしにくい、配架がわかりにくい	
	本の配架が下の段はみつけにくい		
	絵本の配架が出版社とか大型・中型とか分かりにくい		
	リニューアル後の配架が分かりにくい		
	大型本の配架が高い位置にあり車椅子の人に取り出しにくい		
	本棚の本がびっしり入り本が取り難い		
	本がきつつきつで出したら戻せない		
	本の種類が少ない	蔵書数が少ない、専門書や雑誌などが少ない	
	洋書等教育にあった本が少ない		
	雑誌が少ない		
	蔵書数が少なく、県図書館にいつてしまう	新刊や予約した図書の貸し出しまで時間がかかる	
新作の貸し出しが遅い			
新刊図書予約の待機期間が長い。 予約した本が届くのが遅い。			
課題	DVD の種類が少ない	DVD の種類が少ない	マイナス点もある一方で評価点も挙げられている。
良	戻ってきた本棚はおもしろい	返却図書がある本棚はおもしろい	
	紙芝居はいっぱいあっていい	紙芝居が多くあってよい	
課題	facebook と HP（市）の関連性に整合が取れていない。	facebook と市ホームページの情報が不整合	貸出・返却に関する柔軟な運用が評価されている。インターネットを通じた情報発信は不足を感じる方がいる。
良	閉館時でも返却できて便利	返却ポストが便利	
	返却ポストは残して欲しい		
	1 回の貸出冊数が多いので良い	貸出冊数の多さや貸出・返却に融通がきくのでよい	
	図書貸出券を忘れても借りられるのが良い		
	県図書館の本を市図書館で返却できるのが良い		
	団体貸出がある	団体貸出がある	
	家電回収ボックスがあり便利（図書館に来たついでにできる）	家電回収ボックスが便利	
課題	本の検索サポート	案内、利用者サポートなどスタッフの対応がよい	案内、利用者サポートなどのスタッフの対応が評価されている一方、人数や専門職員の不足が指摘されている。
	図書館案内、イベントなど、職員の方はがんばっている。サポートできる最新設備の導入を		
	図書館の方が優しい。		
	図書館の人の説明が解り易い。		
課題	運営がパートの人である	スタッフの人数や専門職員が不足している	
	カウンターがしまっていて、レファレンスサービスがしにくい、もっと人がいるといい		
	閉架の割合が多く、職員が少なく忙しそうにしているので、頼みにくい。 本の説明をする人がいない。		

グループワーク②「新しい図書館への想い」				
	意見	意見の要旨	意見の分析	検討事項
施設のコンセプトにつながるキーワード	情報発信の場をつくる	市民の情報発信・活動拠点	駅前立地の特性を活かし、全ての世代が気軽に立ち寄れ、本をきっかけとして学びや活動につながる、みんなに誇れる市民の情報発信・活動・交流拠点を目指す。	・計画コンセプトの検討、策定
	地域に根ざして イベントが気軽にできる			
	静かで人が賑わう			
	静かで落ちつけるところ	居心地のよい、居場所となる空間づくり		
	居心地がよい			
	どの年代に対しても居場所になる			
	「みんなが集まるなんでも図書館」	すべての世代や立場の人が利用したくなる		
	勤労者世代も行きたくなる、利用したくなる図書館			
	どんな年齢層も使いたくなる図書館			
	“ちょっと寄るか”の空間	電車待ちなど、ちょっと立ち寄れる、行きやすい・入りやすい雰囲気		
	バスや電車を待つ場所をつくってほしい			
	電車待ちの時間に立ち寄れるカフェのような雰囲気			
	立ち寄りやすく、感じよくしてほしい			
	皆が行きやすい敷居の低い図書館			
子育てと連携した図書館	子育てと連携	駅前立地の特性を活かし、全ての世代が気軽に立ち寄れ、本をきっかけとして学びや活動につながる、みんなに誇れる市民の情報発信・活動・交流拠点を目指す。	・計画コンセプトの検討、策定	
来館者に本をアピールする図書館	本をアピールし、本好きが増え、新たな学びや交流が生まれる			
本好きの人が増える空間作り	みんなに自慢できる！			
本との出会い、人との出会い				
自慢できる図書館！！				
駐車場	駐車スペースの確保（料金設定を考慮）			十分な台数の駐車場・駐輪場の確保、利用料金や駅利用者との兼ね合いに配慮
	駐車場・駐輪場の充実			
	駐車場の確保（無料で）			
	駐車場に困らないようにしてほしい			
	駐車場の充実			
	充実した駐車場の整備			
	立体駐車場がほしい 台数も多く停められる（2階、1階等）			
	駅利用者駐車場との区別（図書館利用者の駐車台数の確保）			
アクセス	子どもが行きやすく、バス等	バスやコミュニティタクシーなどの移動手段を合わせて整備する	図書館への公共交通機関でのアクセス方法や、歩行者と車動線の整理など、広域で計画を考える必要がある。	・歩行者・自動車動線計画の検討 ・公共交通機関の整備方針の検討
	コミュニティタクシー（市の負担）			
	高齢者や子どもが安全に出入りできる	施設へのアプローチ動線において、歩行者（高齢者や子ども等）の安全に配慮		
建物のイメージ	自然を感じられるように 緑や花がさりげなくある	緑や自然が感じられるように	自然や眺望を活かし、明るく暖かみのある雰囲気づくりが求められている。また、歴史性への配慮や木の活用など、特色ある施設づくりへの要望もある。	・デザイン・意匠計画の検討
	緑があって落ち着いた環境	窓を多くとり自然光を活かして明るく開放的に		
	明るいイメージ あたたかいイメージ			
	窓を多くして光を入れるつくりにしてほしい			
	照明だけでなく間接光を取り入れる等明るい雰囲気			
	ガラス張りで広い開放的にしてほしい。			
	角張ってなく丸みのあるたてものに	亀山の歴史性に配慮した外観		
	外観を素敵に			
	ただのビルではだめ			
	中途半端はだめ			
	普通の建物やいやだ			
	亀山の歴史を反映した外観	木造、木質化による木の香りや温もり		

ユニバーサルデザイン	外国の方も利用しやすい図書館	外国人の方も利用しやすく	ユニバーサルデザインの観点から、外国人、障がい者など、全ての立場の人にとって使いやすい施設づくりが求められている。	・ユニバーサルデザインの観点からの計画検討
	車椅子使用者に配慮してほしい	全ての障がいを持つ方が利用しやすく		
	バリアフリー			
	色々な活動がしたくなる雰囲気			
	待合せ場所として充実した空間にして欲しい。			
視覚障害者に対するアピールが少ない。(スペースの確保)				
空間構成	何階建てか分からないが、1階・0階と分けて静かな所と声出してOKの所に分ける	階やゾーンで静かな空間とアクティブな空間を分ける	「動」と「静」を使い分けた空間づくりが求められている。	・ゾーニングによる動空間と静空間の構成検討
	静と動の使い分け（静かだけではないアクティブさも必要）			
書架スペース	開架スペースの充実	開架書架スペースの充実	開架書架の充実とともに本を魅力的に紹介するスペースも求められている。	・ゾーニングの検討 ・必要規模の検討 ・蔵書計画の検討
	本棚を増やして欲しい			
	お薦め図書の棚を広くしてほしい	本の紹介、お薦め図書の棚を充実させてほしい（特に児童書）		
	本の紹介やお勧めがいっぱい書いてくれてある			
	こども向けの本のお勧めを充実させたい			
児童書で季節の本を紹介して欲しい				
閲覧スペース	少しでもソファや小さいテーブルを置いてほしい	書架の間やちょっとした場所にも閲覧スペースを散りばめる	閲覧スペースを図書館内に散りばめ、さまざまな居場所を提供することが求められている。	・空間イメージの検討
	書架の間に椅子があって、すわってちょっと見られる			
	窓に沿ってソファを置ける形に どこに座ってもよい	日当たりや眺望のよい場所に閲覧スペースを		
	陽あたりのいい読書スペース			
	眺めがよい			
	本を読みながらボーっと外がながめられる椅子がある (駅前の鳥居を眺めるなど)			
学習スペース	学習スペースを広く、PCも	落ち着いた場所に学習スペースを十分確保、パソコンも使えるように	学習室として落ち着いた環境づくりが求められている。	・ゾーニングの検討 ・必要規模の検討
	学習室が奥にある方がよい			
	学習スペース			
幼児スペース	子どもを遊ばせながらゆっくり本が読みたい	子ども連れでも気兼ねなく遊んだり騒いだりできるスペース	子ども連れでも気兼ねなく	・ゾーニングの検討 ・必要規模の検討
	子ども連れでも気兼ねなく来館できる			
	子どもが遊べるスペース			
	子どもが騒いでも気楽な雰囲気			
	ボードゲームやオセロ等遊べるスペースをつくる			
幼児スペースの充実	子どもの世代毎にコーナーを分ける			
子供の年齢毎にコーナーをを分けて欲しい。				
内装	観葉植物がある	観葉植物	植物や生き物に身近に触れられるコーナーづくりの意見がある。	・附帯要素、コーナーの検討
	生き物（魚・虫）が見えるコーナーがある			

附帯機能	ブックトークやよみ聞かせのスペース、読書指導など様々なことができるスペースが欲しい	ブックトーク、読み聞かせ、読書指導、対面朗読などができるスペース	様々な活動に対応できる小規模な閉じた空間、展示やイベント等多目的に使える広めの空間、カフェ、くつろげる飲食・談話スペースなどが求められている。	・附帯機能の整理、ゾーニングの検討 ・他の施設・機能との連携の検討
	対面朗読コーナー・室が欲しい。			
	多目的スペース、小会議室などの確保	会議室、ミーティングなどができるスペース		
	ちょっとした会議室、ミーティングルーム	書架スペースと連携した体験ゾーン		
	体験ゾーンがあり、図書で調べられる			
	ボランティア団体やサークルの展示発表のスペースがあるといい	発表や講演会、イベントなどができるスペース		
	講演会ができる場所ほしい			
	イベントスペース			
	イベントが出来る室を設置して欲しい。			
	人形劇 絵本講習ができるホール			
	展示できるギャラリー	展示スペース・ギャラリー、市民情報の掲示スペース		
	展示スペースがほしい			
	市民の情報発信ができる掲示板の設置			
	カフェ（喫茶スペース）をおいてほしい			
	カフェなどの施設の併設	カフェ（喫茶店）の設置、本を読んだり、学習ができる、亀山の特産が味わえる		
	カフェが欲しい			
	お話や学習ができる喫茶店をつくる			
	本を読みながら飲食できるカフェ			
	お茶が名産 和菓子とお茶が飲めるカフェがあるとうれしい			
	コンビニ、飲食店などの併設施設の充実	コンビニ、飲食店などの店舗		
	売店、本に関するものや文具を販売			
	文房具店がほしい ノートやペンが売っていれば勉強するときに便利	文具や本に関するものを販売する店舗		
	飲食スペースがほしい			
	飲食スペースと図書館を分ける（アレルギーの問題も含めて）			
	お弁当が食べれる広いスペースが欲しい。	ゆったりくつろげる飲食・談話スペース		
	飲料水や少しの御菓子を食べる憩いのコーナーが欲しい。			
	ゆったりくつろげるスペース			
	コミュニケーションもとれてくつろげるスペースを広く取る			
	亀山茶を無料で飲める	亀山茶を無料で提供		
	ホールを大きくして、会話や軽食がOKの場所に	広く入りやすいエントランスホール		
	ホールを入りやすく、広くしてほしい			
	仮眠スペースがあると良い	仮眠できるスペース		
	美術館がないので併設してほしい	市に美術館がないため、その機能を併設		
	トイレを広くしてほしい	広いトイレ		
スタッフ	高齢者のスタッフやボランティアを募集する情報を掲示	スタッフ・ボランティアへ的高齢者の活用	専門職員、司書の充実への要望が挙げられている。	・運営体制の検討
	職員を増やして！			
	正規の司書さんにして下さい	正規職員、司書、専門職員の充実		
	図書の専門家が案内役としているような使いやすい図書館			

6 資料

蔵書	充実した本（雑誌も含めて）	図書館ならではの蔵書の充実（雑誌、貴重な本等）	書店とは違う、図書館ならではの蔵書の充実が求められている。	・蔵書数・蔵書種類の検討
	本屋とは異なる品揃え			
	貴重な本や古い本等いろんな本に触れあいたい			
	子どもの興味をそそる本の充実	子ども向けの本や紙芝居の充実		
	紙芝居の充実			
	予約 4 ヶ月待ちはちょっと…（「火花」が 2 ヶ月待ちだった）	話題の本や人気の本が借りやすいように		
	話題の本の複数購入			
運営	飲み物の持ち込み OK の方がよい	図書館での飲食 OK の運用	館内での飲食や本の持ち込みなどの柔軟な運用を求める意見がある。 また、利便性の向上のため、開館時間（特に夜間）の拡充、貸出や検索、情報発信に関する細やかな要望も挙げられている。	・運営方針、詳細機能の検討
	飲食 OK			
	学習室に本の持ち込み OK	図書館への本の持ち込みができるように		
	本持ち込みでリラックスできる場所に			
	セルフレジ風な貸し借り	セルフ貸出機の導入		
	セルフ貸し出し機			
	貸出袋があるとよい	貸出袋		
	時間外に返却できるポスト	時間外返却ポスト		
	開館時間を遅くしてほしい	開館時間の拡充（特に夜間）		
	夜遅くまで開いている日もあったとよい			
	開館時間の拡大			
	開館時間の延長			
	ブックシャワーがほしい	ブックシャワーの導入		
	検索しやすいようにしてほしい	検索機の台数・機能の充実		
	検索機の台数を増やして欲しい			
	本に読者レビュー欄があるとよい 読んだ本の感想やお薦めを紹介できる	本に読者レビュー欄をつける		
	貸出しのレシートにスポンサー名を入れるなど、資金集めでインパクトのある工夫をしては？	民間企業とのタイアップによる資金サポート		
新着図書の音声ガイドがあれば良い。	新着図書の音声案内ガイド			
Web の充実	インターネットによる情報の充実			
インターネットなどの充実				
連携	学校図書館と連動したシステム	学校図書館との連携	学校図書館や歴史博物館との連携、移動図書館の実施、市民の蔵書を活用した市民図書館の設置などの意見がある。	・学校図書館等との連携の検討 ・移動図書館の実施の検討 ・市民図書館設置の検討
	学校図書館と連携して読書活動を推進して			
	移動図書館	移動図書館の実施		
	移動図書館の設置、公民館へ本を運ぶ、老人が本を読みやすい			
	出張図書館が欲しい 昔は小学校などを回っていたが今は無い			
	郷土史の閲覧がもう少ししやすく、歴史博物館との連携を	歴史博物館と連携した郷土資料の展示・閲覧		
	市民の本を貸し出す市民図書館の設置			
活動	ブックトークや読みきかせ会がたくさん行われる	ブックトークや読み聞かせ会の実施	本を活かしたイベントの実施とともに、託児や子育て支援などの親子での利用に対する活動要望がある。	・活動の検討
	既刊もののトレンドを反映したイベントを充実して欲しい	出版トレンドを反映したイベントの充実		
	子育て支援的な読み聞かせのスタッフを配置して欲しい。	子育て支援的な読み聞かせスタッフの配置		
	子どもを預けて親が本を探せる託児があるとよい	子どもを預けて親が本を探せる託児があるとよい		
経費	予算を上げてほしい	図書館整備予算を増やしてほしい	予算の拡充の意見がある。	

亀山市立図書館整備基本計画ワークショップ 第2回



■テーマ

子どもと図書館、みんなと図書館！
～図書館 + α でこんな場所になるといいな！～

日時：平成 30 年 1 月 21 日（日） 10：00 ～ 12：00
場所：総合保健福祉センター「あいあい」

■プログラム

①前回のふり返し

ニュースレターを見ながらふり返ります。

②図書館の使われ方事例の紹介（愛知工業大学 中井孝幸教授）

- ・他事例の館内での過ごし方や使われ方について
- ・図書館に必要な機能とその空間イメージについて



③グループワーク：図書館 + α でこんな場所になるといいな！

グループ毎に「ふせん」やカード、模造紙を使って作業をします。

- ・前回ワークショップの使い方のコメントを7つに分類しました。

- ①子育てや子どもとのつながりを深めよう（乳幼児から高校生まで）
- ②市民の情報発信・活動拠点にしよう
- ③居心地のよい居場所をつくろう
- ④全ての人が利用しやすいようにしよう
- ⑤"ちょっと寄ろか"立ち寄りやすい場所にしよう
- ⑥本をきっかけに新たな学びにつなげよう
- ⑦他の施設と連携して図書館の魅力を高めよう

- ・各グループに対して2つのテーマを割り当てますので
どの場所でどんな使い方ができるかを考えてみましょう。

- ・最後にグループ毎に発表します！



【第2回ワークショップのプログラム】



【ワークショップの風景写真】

第2回 図書館市民ワークショップ グループワークまとめ		
日時	平成30年1月21日（日）10：00～12：20	
会場	あいあい（亀山市総合保健福祉センター）大会議室	
参加者	22名（傍聴者除く）	
テーマ	子どもと図書館、みんなと図書館！～図書館＋αでこんな場所になるといいな～	
ワークショップのねらい	新しい図書館で想定される活動や使い方を整理する	
	その活動や使い方を実現するために必要な附帯機能や設備を考える	
■エリアのつながりについて		
	エリアのつながりについてのコメント	コメントのまとめ
	エントランスと交流エリア、地域発信エリア、親子・児童エリアが繋がる構成（オープンゾーンを形成する）	
	上記ゾーンを「動ゾーン」、それ以外を「静ゾーン」とする	
	エントランスエリアと交流エリア・開架図書エリアのつながり	
	エントランスエリア（のんびり）と学習エリア（一生懸命）のハード面でのすみ分けを	
	交流エリアと親子・児童エリアの連携＝動	
	交流エリア／親子・児童エリア／共用エリアの連携	
	交流・地域発信・共用スペースは一緒にした方がよい	
	静（学習エリア・閉架図書エリア）と動・交流（その他）を分ける	
	開架図書エリアと学習エリア・閉架図書エリアの連携が大切＝静	
	親子エリアはエントランス近くに	
	親子エリアは管理運営の近くに	
	学習エリアでの学習は、地域で子どもたちに教えるプログラムの可能性もあり、その場合は学習エリアは地域（発信）エリアの近くがよい	
	動的な親子・児童エリアは低層階に配置し、静的な学習エリアは上層階に配置して距離をとったほうがよい	
■各エリアのコメント		
使い方のまとめ	ソフトについてのコメント （★は活動カードのコメント）	ハードについてのコメント
○エントランスエリア、共用エリア		
共通のキーワード	・入りやすさ ・広くすれば人が増える！ ・開放的で活動が見える設え ・トイレがきれい	
待ち合わせ	★待ち合わせをする ★亀山茶の無料提供	・バスと電車待ちのエリアとして広く ・電車の待ち時間つぶしにカフェを併設 ・待ち場所とするなら、中から外を見れるような、外にも雨除け・日よけになる場所（近づきやすい建物） ・館内案内図 ・アトリウム
展示・掲示	★展示 ★市民情報の掲示 ・関図書館等、他の関連施設の情報を掲示	・展示・掲示コーナー ・ショーケース
美術館・博物館機能	★美術館機能 歴史文化の展示	歴史博物館のような空間
図書のブラウジング	立ち読みコーナー 行政資料・新聞などの一般ユーザー向け資料 ★テーマに沿った選書・展示	新聞・雑誌コーナー（ブラウジングコーナー）
仮眠	★仮眠する	仮眠室
飲食店・物販店利用	★文具・本の販売	・コンビニ ・文房具店・本屋
	★コンビニ	
	★カフェで本を読む	カフェ
	★カフェで亀山名物を味わう 障がい者団体や市民によるカフェ運営	

子ども・親子利用へのサポート	★子どもを預けて本を探す ★子育て支援センターのような機能 ★授乳する・おむつ交換する	授乳スペース
子どもの遊び場	★子どもが遊ぶ	
外国人への配慮	通訳・翻訳・AI ロボ ★外国人への配慮	
障がい者への配慮	★障がい者への配慮	トイレの配慮
○交流エリア		
共通のキーワード	・交流エリアは外部から見える、入れる設え ・開放的で活動が見える設え ・まちに出かけるきっかけとなる場所に ・楽しいと感じる場に	
リラックスして本を読む	★寝転んで本を読む ★日当たり・眺めのいい場所で本を読む	・たたみコーナー
子ども・親子利用へのサポート	★子育て支援センターのような機能	・子育て支援センター
子どもの遊び場	★子どもが遊ぶ ・子どもに昔遊びコーナーを作り、老人の活用 ★読み聞かせ ★人形劇を見る	・遊具 ・昔遊びコーナー
多目的利用	★発表、講演会、イベント ★ブックトーク、ビブリオバトル ★出版トレンドを反映したイベント ★会議ミーティング（送り迎えや待ち合わせ場所として利用） ・多目的活用 ・4～5人の小グループ活動	・多目的に使える部屋 ・ワークショップルームなどの小さな部屋
○地域発信エリア		
市の歴史・資源・資料などの展示	★亀山をPRする ★生き物（魚・虫）の展示 ★市歴史博物館と連携した展示・閲覧 ・地域資料などのコアユーザー向け資料	AV コーナー
学校授業との連携	総合学習の発表	
ボランティアと連携した読書・図書活動	・地域で読書活動をサポート ・ボランティアで読み聞かせ ・学校教材に合わせた歴史資料の貸し出しと講演（地域の人材）の活用	・ボランティアさん、市民活動団体の活動発表・紹介ブース（問い合わせ先の紹介）
移動図書館	★移動図書館	
○親子・児童エリア		
共通のキーワード	・子どもが安全に遊べ、気兼ねなく声を出せる場所 ・親子で飲食できるスペース ・子ども用のさまざまなスペース	
読み聞かせ・人形劇	★読み聞かせ ★人形劇を見る	・おはなしの部屋 ・読み聞かせ用長いす・ベンチ ・子ども用キャレル ・保育室みたいな雰囲気 ・パオ（ゲル）
世代毎コーナー	★子どもの世代毎コーナー	・児童開架図書 ・各世代の図書についての口コミ掲示板
子どもの遊び場	★子どもが遊ぶ ・幼児の手遊び・歌や体を動かす ★子どもを遊ばせながら親が本を読む	・児童閲覧席 ・子どもが遊べるエリア ・じゅうたん敷き

6 資料

子ども・親子利用へのサポート	★授乳する、おむつ交換する	・子どもトイレ ・エントランス付近だけでなく、児童書エリア付近にもあるとよい
	★子どもを預けて本を探す ・託児を地域高齢者が行う	
	★子育て支援センターのような機能	
○学習エリア		
学習室	★落ち着いた学習する ・あり方・使い方・場所・大きさなど要検討 ・参考書が充実 ・飲食可能 ・座席の予約システム	・キャレル席のBOX席がほしい（学校やグループで固まる） ・キャレル席（ライトの明るさ調整があると嬉しい） ・たくさんの座席 ・眺望のよい場所に ・背面側が通路にならないように（落ち着かない）
	★パソコンを利用する	・コンセントを2つほしい（パソコン用・ケータイ用）
	タイムシェア	
	音レベルに合わせて静か⇄にぎやか BGMがかかる場所があってもよい	・研究個室
若者向けコーナー	-	若者向けのコーナー
レファレンスコーナー	レファレンスができる、サービスが提供できる人材	
	利用記録をして、コピー機が利用できるように（友達のノートなどをコピーしたい）	
	小・中学校への学習教材の貸し出し（複数購入）	
○開架図書エリア		
共通のキーワード	・鈴鹿の山並みが見える窓際カウンター席 ・書架を低くして高さを抑える ・レファレンスコーナー	
○管理・運営エリア		
駐車場の確保	-	駐車場の拡充・確保
荷物を預ける	★荷物を預ける	
子ども・親子利用へのサポート	★授乳する、おむつ交換する	
	★子どもを預けて本を探す	
学校図書館との連携	★学校図書館との連携、支援センター	
	小中学校の学校図書館の相互連携（両者の本が利用・貸し借りできるように）	
	小中学校の蔵書目録、データまとめ（現状データ化されていない）	
○他施設との連携		
本の宅配・貸出	・移動図書館は、本の積み込みに時間がかかり、スタッフも最低2人は必要 ・読み聞かせボランティアで出向く際にも荷物になる ・本を宅配・貸し出しするサービスがあるとよい（高齢者施設、公民館、コミュニティセンターなど） ・スポーツ施設に貸出し、トレーニング法、ルールなどに関する本を設置、または図書館にあることを紹介 ・老人施設、学童保育施設との連携	
人の送迎	・地域で一定人数集まったら送迎する（あいあいで行っている）などの工夫のほうが有効ではないか	
スタッフの派遣・支援・人材育成	・他施設への本の貸し出しの際、スタッフ数が足りなくなると思われるため、シルバー人材を有効に活用できる仕組み・拠点ができると良い ・市内各所で開催しているサロン（いきいきサロン・コミュニティサロン・子育てサロン）の際、本を利用できる（届けてくれる）なら、読み聞かせなどとセットで開催したい ・人材派遣の拠点に ・生涯学習室の有資格者リスト等を有効活用	

亀山市立図書館整備基本計画ワークショップ 第3回



■テーマ

誰にでも優しい図書館って？
さまざまな立場になってシミュレーション！

日時：平成30年2月10日（土） 10:00～12:00
場所：青少年研修センター

■プログラム

①ふり返し

- ・ 前回のワークショップや、2月1日に開催された図書館整備推進委員会の様子についてご報告します。

②図書館の使われ方事例の紹介（愛知工業大学 中井孝幸教授）

- ・ 「静」と「動」の空間の使い分けについて、実例を交えながらご紹介いただきます。



③グループワーク：さまざまな立場になりきってシミュレーション！

- ・ グループ毎に6つのテーマうち1つを割り当てます。

- (1) 親子で図書館を楽しもう！
- (2) 本を使ったイベント・活動しよう！
- (3) 図書館で学習・調べものをしよう！
- (4) ふらっと図書館に来てみよう！
- (5) 亀山のことをPRしよう！
- (6) 図書館で市民活動してみよう！

- ・ 「小学生」「高齢者」など、自分の役割を1つ決めて、その人の立場でどんな使い方ができるかを考えます。



- ・ 最後にグループ毎に発表します！



【第3回ワークショップのプログラム】



【ワークショップの風景写真】

6 資料

第3回 図書館市民ワークショップ グループワークまとめ						
日時	平成30年2月10日（日）10:00～12:20					
会場	青少年研修センター2階研修室					
参加者	22名（傍聴者除く）					
テーマ	誰にでも優しい図書館って？～さまざまな立場に立ってシミュレーション！～					
ワークショップのねらい	エリアと付帯機能の関係、エリアのつながりについて確認する さまざまな立場の視点で使い方を考え、付帯機能やそのつながりについて確認・検討する					
ハード	ソフト					
付帯機能	つながり	設え	図書・資料	使い方	施設運用	組織・仕組
■エントランス・共用エリア						
エリア全体	「物販、飲食、飲食・談話スペース、リラクゼーションスペース」の連携					
飲食・談話スペース				時間つぶし（予定がなく時間が空いた時） 待合せ（電車の待ち時間、親の迎えを待つ） 学習の合間の休憩・飲食	亀山茶の無料提供	
飲食（カフェ）				カフェメニューの作り方の紹介（子ども向けや離乳食メニュー） グローサラント（このメニューはどの本に載っているかの紹介） で子どもの食育を手助け	日本茶・紅茶の提供、洋菓子・和菓子の製造販売	
物販					自由研究のキット販売 ローソクの販売	
展示・掲示スペース				ローソクのあかり・香りの展示体験 まち歩きMAP、食べ歩きMAPの掲示 市民活動の展示		
インフォメーション		音声案内 フロアマップ （点字対応）		全ての学習・調べもの対象者へのお出迎え	案内パンフレットの設置 （外国語版も（ポルトガル、スペイン、中国））	
トイレ		川のせせらぎ音をBGMとして流す				

■親子・児童エリア						
付帯機能	つながり	設え	図書・資料	使い方	施設運用	組織・仕組
エリア全体	「エントランス、飲食・談話スペース」と『親子・児童エリア』は近くに配置					
	「プレイコーナー、おはなしの部屋、児童閲覧室」と「幼児用トイレ・授乳室・おむつ交換室」は近くに配置					
	どこのエリアでも多世代交流ができるような工夫					
	「ブラウジングコーナー」と『親子・児童エリア』は近くに			親が子を見守りながら読書する 旬な話題探し		
おはなしの部屋				読み聞かせ 人形劇 折り紙		地域の子育て会（ボランティア）が実施
ボランティア室	「おはなしの部屋」と隣接 「託児室」と隣接		各種ボランティアが利用	市民ボランティアによる管理と活動		「聞いても良いよワッペン」でボランティアの方を識別できる仕組み
児童閲覧室	子供向けの外国の本⇄旅行書籍		子供向けの外国の本	外国の本による異文化交流		
子育て支援コーナー	子育ての本⇄相談窓口		子育ての本			
託児室						時間制限を設ける（図書館利用者のみに制限）
防音室		子どもが泣いた時に周囲に迷惑を掛けない防音性				
プレイコーナー	屋外スペースを併設	雨でも体を動かせる屋根付きの屋外スペース		体を動かせる		安全管理が必要
AVコーナー			AVの種類の実			

■交流エリア						
附帯機能	つながり	設え	図書・資料	使い方	施設運用	組織・仕組
エリア全体	「展示・掲示スペース」と一体的に『交流エリア』と『エントランスエリア』、『開架図書エリア』の連携					
多目的スペース		ホワイトボード、プロジェクターの設置 さまざまな発表に使える設え		待ち合わせ	人材バンク・ボランティア登録	
				絵本づくりのイベント 誰でも作家教室		
				ビブリオバトル、ブックトーク お薦め本コメントレース大会 本探検（図書館の本を読み、グループでブックトーク） 図書館にない本を持参して蔵書にする本を推薦 読書会（テーマ、作家などを決めて本を読んだ後に話し合いを行い、専門家の意見も取り入れる） 大人の読み聞かせ 辞典引き競争 森の図書館（図書館の本を持って、加太の森を使って絵本作家の読み聞かせや絵本作りを行う）		
				ブックマーケット、古本市 市場コーナー		
				自由研究のイベント 社会を学ぶ教室 多世代参加のイベント		
				盆踊り保存会 市民活動の教室開催		
				グループでの学習、作業		
■地域発信エリア						
AV コーナー			市内風景の写真、映像		映像に吹き替え版（字幕）があると良い	
展示・情報スペース				亀山出身（ゆかりのある）人物の展示 亀山の地形、水系、植物のPR 市内の寺院、遺跡、神社の氏神 亀山に伝わる昔話 東海道53次宿場関係 関宿の紹介 亀山の関連図書コーナー 紙資料の収集 鉄道関係の資料展示、写真、書物 トリエンナーレの歴史を本や映像（作家インタビュー）で記録		市役所の部署との連携
				江戸の道ウォーキング		
				地場産業の説明 市内企業の製品展示（ガラスケース） 市内企業の資料（営業・財務など）		
				市内だけでなく市外の人々にも伝える	観光案内所の併設	

■学習エリア						
附帯機能	つながり	設え	図書・資料	使い方	施設運用	組織・仕組
学習室	「ブラウジングコーナー」「飲食・休憩スペース」と行き来する			資料を書き取る		
		スマホ、タブレットの充電用コンセント		パソコンで検索		
学習室	「ブラウジングコーナー」「飲食・休憩スペース」と行き来する	キャレル席		一人でゆっくりと勉強・調べものをする		
		グループ学習室		友達と一緒に学習 グループで課題をまとめる		
		コピー		資料のコピーを取る 貸出禁止の書籍のコピー		
■開架図書エリア						
対面朗読室	障がい者を案内しやすい場所に					
若者向けコーナー				男女が出会う		
開架書庫			一般書架に同じジャンルの子ども本を配置して、子どもに背伸びをさせる			
検索スペース		検索用パソコン 「手書き検索」の出来る電子辞書の設置		話題の本を調べる		
レファレンスコーナー			ビジネス書を充実する → 亀山らしさ		ビジネス視点で、ビジネスマンにも価値のある図書館に	
				宿題で郷土のことを教えてほしい		
■閉架図書エリア						
閉架書庫		貴重な図書の保管場所				
■管理・運営エリア						
受付・貸出窓口				本を借りる・返す 司書に聞く 録音図書を借りる		
スタッフルーム		建物中央に配置し、いろいろな場所での即座の対応が出来るように			タブレットを職員1人づつに支給し、攻めのサービスを	
■その他						
駐車場・駐輪場		交通手段である自転車・車の置場を確保			無料駐車として欲しい	
他施設との連携				駅前、小学校、城址、それぞれの場所を活かした活動を広げる		
				音楽活動の団体	文化会館との連携	

亀山市立図書館整備基本計画ワークショップ 第4回



■テーマ

開館までこれから何しよう？
～開館後を見据えたロードマップづくり～

日時：平成 30 年 3 月 17 日（土） 10：00～12：00
場所：総合保健福祉センター「あいあい」

■プログラム

①ふり返り・新しい図書館の方向性について

- ・前回のワークショップのふり返りと、これまでのワークショップや委員会をふまえてとりまとめを行った「新しい図書館の方向性」についてで説明します。



②にぎわいのある「場」としての図書館（愛知工業大学 中井孝幸教授）

- ・まち全体と有機的につながる図書館連携の事例をご紹介します。

③グループワーク：開館後を見据えたロードマップづくり

- ・これまでの議論をまとめた「機能と活動の図」を見ながら、実現のためにこれから何をすべきか、大きく3つの時期に分けて考えましょう。

すぐに
すること

完成までに
すること

完成後に
すること

- ・最後にグループ毎に発表します！



【第4回ワークショップのプログラム】



【ワークショップの風景写真】

第4回 図書館市民ワークショップ グループワークまとめ			
日時	平成30年3月17日(土) 10:00～12:20		
会場	あいあい(亀山市総合保健福祉センター) 大会議室		
参加者	24名(傍聴者除く)		
テーマ	開館までこれから何しよう?～開館後を見据えたロードマップづくり～		
ワークショップのねらい	エリアと付帯機能の関係、エリアのつながりについて確認する さまざまな立場の視点で使い方を考え、付帯機能やそのつながりについて確認・検討する		
コメントのキーワード	付箋のコメント	コメントの分析	
<すぐにやること> (設計段階)			
■蔵書計画			
蔵書数の検討	蔵書数の検討(学校と蔵書を補完すれば過大な整備がいらない)	計画初期段階から蔵書計画の方針を検討し、計画に反映することが望まれている。また、郷土資料や行政資料の早期収集要望もある。	
選書	収蔵する分野の検討		
	開架閲覧する蔵書の選別		
	選書(地域の歴史、鉄道の歴史)		
	読みたい本のアンケート(今の図書館に来た人にアンケートをとる)		
郷土資料・行政資料の収集	現在発刊されている資料の収集		
	郷土・地域資料の収集		
	郷土資料の収集		
	行政資料の収集		
■情報発信			
情報発信の仕方	情報共有(回覧板等で市民全員に発信)	移転計画自体や、計画の何がどこまで決まっているのか、上手く情報がいきわたっていない部分があると思われるため、情報発信の仕方についての再検討が必要。	
	情報発信(PRをもっと行いたい)		
	図書館を利用しない人、できない人への情報提供		
	まだまだ知らない人がいるのでアピールしていく		
	亀山地区の周知もだが、関地区の周知はできているのか		
	情報交換、情報共有		
	いろいろな方の目に触れるよう発信の仕方をHPやFBに限らず紙ベースでも配信する(回覧板とか)		
広報の仕方の検討			
駅前移転についての周知	駅前移転は確定ですか?それなら広く市民に知らせてほしい。		
■議論の進め方			
議論の進め方	設計段階も委員会だけでなく市民参加のワークショップを開催	継続した市民参加による議論の場を設けるとともに、ワークショップの位置づけを再整理する必要がある。	
	何が決まっていて、今から決められるのが何なのか		
■機能や連携についての検討・分析			
既存施設の調査分析	どの施設にどのような人が集まっているのか分析	現図書館や既存施設の分析を行った上で、要望事項の優先順位を検討し、計画に反映する必要がある。また、学校図書館との連携方針も検討し、示す必要がある。	
	連携施設の内容・あり方の現状分析		
	どのような交流の場が求められているか調査が必要		
	現在市内における子育て機関の現状を調べる。		
現図書館の分析	現在の図書館の分析		
中高生の本離れの分析	中高生の本離れ・図書館離れを分析する		
先進事例の調査	全国の新しい図書館づくりの先進に学ぶ		
学校図書館との連携検討	学校図書館との連携検討		
要望事項の優先順位	要望事項の中の優先順位		
	要望事項に関する取捨選択		

6 資料

■計画検討		
駅前再開発計画との連携	駅前計画との連携	駅前再開発計画と連携した具体的な平面計画を進め、各機能のゾーニングや具体的な計画を進めることが望まれている。
	駐車場の確保あるのか	
	場所の確保は本当にできるのか（駐車場含めて）	
書架エリアの計画検討	開架エリアの計画	
	書籍の配架計画	
	収集面積・容量の確定	
	収蔵書籍の重量把握の上、構造計画・設計	
	入れる開架（メディアコスモスのような）	
親子・児童機能の検討	子どもが遊ぶ部屋と親同志が交流する空間の検討	
	必要スペースの検討	
飲食機能の検討	飲食するなら保健所対応	
弱者の方からの意見	弱者の方も安心して使えるよう再度要望をとりまとめ設計に入れる	障がいを持った方からの意見を集め、計画に反映することが望まれている。
	障害のある人を職員として採用し、計画案へ意見を反映	
現図書館の今後	今の図書館をどうするか	現図書館や関図書館の今後の扱いについて検討する必要がある。
	今の図書館はどうなるの？こわす or 別利用 or 駐車場	
■管理運営・しくみ		
スタッフ確保・育成	人材の確保、専門家を確保し、いかしてもらう	早期に運営スタッフを定めて、専門知識を高め、蔵書計画等に反映することが望まれている。
	職員（司書）の育成、センスを磨く	
周辺施設・活動団体との連携のしくみ	協力団体への声かけ・募集	周辺施設・活動団体や子育て世代の方へアプローチし、開館後の使い方やしくみづくりのベースを検討する。
	既存の周辺施設との連携の仕組みづくり	
	あいあいっこにきている親子さんにアプローチをかける	
■できることからやってみる		
現図書館でできることをやってみる	児童スペースの活用	現図書館でできることを少しずつやっていくアイデアであり、情報を共有して実施につなげたい。
	飲食 OK にする→コーナーを作る	
	×情報発信が弱い→掲示物活用	
現図書館でできることをやってみる	資料を見せる（奥で見づらい位置となっているため、手前に移動）	現図書館でできることを少しずつやっていくアイデアであり、情報を共有して実施につなげたい。
	本の並べ方（背表紙ではなく、表紙を見せて並べる）	
	地域の施設の利用（資料の保存）→1日で受け取れる	
<完成までにやること>（工事段階）		
■蔵書計画		
選書	選書	選書を継続して検討する。
	本屋にはない本に巡りあえることの大切さを忘れずに	
■管理運営・しくみ		
スタッフ確保・育成	運営検討	スタッフの継続養成に加えて、ボランティアやサポーターといった市民人材の登録・育成制度を立ち上げることが望まれている。
	スーパー司書育成	
	建築規模に合う必要人員の確保	
	職員（司書）の育成、センスを磨く	
ボランティア募集・育成	サポーター集め（市民主体の図書館を目指すため）	
	人材バンクをつくる	
	ボランティアの募集・育成（開館後では遅い!）	
	ボランティアセンターとの連携、情報共有	
駐車場運営方針の検討	駐車場の確保をどうするか。（1時間タダでもそれ以降有料にする等）	管理運営のシステムや利用ルールの検討を行う必要がある。
図書館システムの検討	どのようなシステムを導入するのか（今の学校図書館と市図書館のシステムを引きつづけるのか）	
周辺施設・活動団体との連携のしくみ	連携を取ってくれる機関と話し合い	周辺施設や公共交通機関との協議を行い、まち全体での施設の広がりやアクセスについて調整する必要がある。
	図書館とまわりの商店（街）との関係性（まちづくりとしての一体感）	
公共交通機関との協議	JR 東海との話し合いをし協力してもらう（ダイヤの見直し）	
テナント募集	附属設備（カフェやコンビニ）の募集	

■できるところからやってみる			
学校図書の開放	とりあえず土日に学校図書を開放する	学校図書館の開放の実践に関する意見がある。	
PR イベント開催	オープンを見据えて各地域でイベント開催	オープンを見据えたイベントや図書館資料を活用したイベントを企画し、現図書館も含めて広く図書館に興味を持ってもらうことが重要である。	
	郷土資料を活用したイベント開催		
	完成後に上手く使えるように、他施設、他団体と連携して、現地でイベントを開催		
	全てできてからでなく、まだ変更できそうなときにプレオープン		
図書館の利用拡大を図る	図書館を身近にする。現在の利用拡大をはかる工夫をする		
■議論の進め方			
議論の進め方	工事段階も市民参加のワークショップを開催（運営に関することでもワークショップ形式で議論）	市民参加による議論のプロセスを継続し、運営や開館後の活動につながる議論を継続する。	
	ワークショップの参加者を幅広く募るように工夫（PR・日時）		
■情報発信			
計画内容の周知	PR、情報提供	継続した情報発信を行うとともに、計画内容や方針を整理して明確に伝える必要がある。	
	市民へ情報をどう伝えるか		
	何を重視するのかを確認（あくまで図書館！！）		
	工事に取り掛かる前にパブコメ		
<完成後にやること>			
■活動の実施			
オープニングイベント	市民主体のオープニングイベントを開催	市民主体でオープニングイベントや各機能スペースでの活動を企画・運営し、利用の輪を広げる。	
親子で参加する活動	親子で参加する企画（お話会等の行事）の実施		
サロン機能の充実	サロン機能の充実（将棋、スタジオ、かるた（百人一首）、卓球台）		
ギャラリー機能の充実	ギャラリー機能の充実		
多目的スペースの活用	多目的スペースの利用（ガラス張り）		
住宅情報の掲示	移住・空き家対策として住宅紹介		
積極的な利用	WS 参加者の率先した利用を心掛ける		
■情報発信			
蔵書の PR	新しい本が入荷された時の PR	図書館としての PR も合わせて行うとともに、利用者の利便性に寄与する情報を積極的に発信することが重要である。	
	収集した資料の PR		
積極的な情報発信・収集	いろいろな分野において行政による継続する対応が必要		
	図書館側の待ちの姿勢ではなく積極的な情報発信		
	様々な媒体を使った情報発信		
	情報の発信地（知の発信）、駅前にあることで広告塔として		
本やスペースの空き状況発信	空き状況の発信（貸し出しの本や貸室など）		
■管理運営・しくみ			
ボランティア・サポーター集め	ボランティアの活用	継続してボランティアやサポーターを募集し、人の輪を広げる。	
	更なるサポーター集め		
■議論の進め方			
アンケートと改善活動	利用者へのこまめなアンケートと改善活動	利用者の声を継続して集め、よりよい環境を実現するために継続的な改善活動が重要である。	
	完成後の市民の図書館への思いを振り返り残していくものを常に考えていく。		
新図書館のキャッチコピー	みんなでつくろう亀山図書館		
	亀山テラス（他施設と連携出来る総合案内所）		
	みんなが行きたくなる図書館		
	みんなの想いを大切にしたい図書館		
	知の発信		

6 資料

6-6 訪問型図書館市民ワークショップ

かめやま若者会議図書館ワークショップ		
日時	平成29年 11 月 17 日（金） 19：00～19：50	
会場	市役所理事者控室	
参加者	かめやま若者会議メンバー 10名（5名ずつA・B 2 グループ）	
テーマ	新しい図書館についての夢や想いを語ろう！～図書館を創ろう！～	
ワークショップの ねらい	図書館への参画意識醸成と、「行きたい図書館」について意思形成を図る	
	ワークショップを通じて新図書館への期待感を持たせる。	
	新しい図書館づくりにつながる希望や夢を書き出し、キーワードを整理する	
○グループワーク：みんなでつくる図書館！		
①「こんな図書館はいやだ！」		
	A グループ	B グループ
設備・ 機能	学習スペースが狭い	狭い
	階段がハシゴになっている	暗い
		本のカバーと中身が違う
		本棚までが迷路
学び・ 発信		本が一冊 10 k g ある
	英語の本しかない	本を開くと漢字だらけ
	読めないくらい本が汚れている	日本語の本がない
	館外の本を持ち込むと嫉妬で破り捨てられる	児童書がない
運営・ 活動	本が生きている	堅い本ばかり
	冷暖房の設定が逆	入場料をとられる
	理解できそうな本がぱっと見つからない	入ったら一発芸を披露しなければいけない
	窓口にいる人が鬼のように怖い	
周辺 環境	館内を自転車で走り回る奴がいる	
		おじさん・おばさんばかり
		知らないおじさんに住所を聞かれる
②「こんな図書館がいいな！」		
	A グループ	B グループ
設備 機能	本を読むスペースにソファ	wifi がある
	公園のような館内	スターバックスが欲しい
	インスタ映えしそうなかわいい空間がある	おしゃれな建築
	関のまちなみ風のおしゃれな外観	木造も良いなと思う
	夜になるとローソクっぽいライトアップ	カフェが欲しい
	グループ学習に適した場所がある	カフェスペースがある
	子どもスペースが広くて騒いでも怒られない	売店・カフェ・事務などたくさんの施設が併設する
	荷物預かり所がある	飲食スペースがある
	子どもコーナーのように若者コーナーがある	CD/DVD があり見ることのできるスペース
	本を汚さないように注意すればどこでも飲み物が飲める	さわげる場所が欲しい
	本箱の横に椅子がたくさんある	インスタ映える
	学習室でスマホの充電ができる	広い子どもたちのスペース（運動広場）が欲しい
	学習室がとにかく静か	パソコンが使い放題
	飲食ができる広いスペースがある	寝ころびながら本が読める
	ネット環境が充実している	映画が観れる
	落ち着いた雰囲気味わうことができる広い間取り	本を読みながらさまざまな実践ができる
	駐車場・駐輪場がいっぱいある	雑誌やマンガも置いてある
	スターバックスが併設されている	書店が併設されている
	オープンな触れ合いの場がある	児童や幼稚園児の放課後広場がある
	話していいところと静かなところが分かれている	子育てセンターがある
	wifi が飛んでいる	

学び・発信	絵本の読み聞かせがある	最新の本を入れてほしい
	年齢を問わない気軽に参加できるイベントが多い	ワンピース全巻を読める
	話題の本が早く借りられる	
	司書のおススメコーナーがある	
	アプリなどで蔵書の状況がわかる	
	CD や DVD が借りられる	
	スマホアプリと連動して利用できる	
運営・活動	送迎バスがある	欲しい本が運ばれてくる
		市内外を問わず誰でも利用できる
		自分の読みたい本がすぐに読める
		外国の方にも使いやすく
		毛布の貸し出しがある
		読んだ本の共有ができる
		送迎がある
周辺環境	書店や文具店など休憩ついでに立ち寄れる場所が近くに多くある	図書館と公園がセット
	駅を出たら図書館に直接つながっている	
○まとめ		
キーワードの整理		
A グループ：居心地の良いおしゃれな空間		
B グループ：誰もが行きやすい		

6 資料

中部中学校図書館ワークショップ			
日時	平成 29 年 11 月 24 日（金）13：00～13：55		
会場	中部中学校 教室		
参加者	中部中学校 6 グループ（17 クラス×2 名＝34 名）各学年の図書委員が参加		
テーマ	新しい図書館についての夢や想いを語ろう！～図書館を創ろう！～		
ワークショップのねらい	図書館への参画意識醸成と、「行きたい図書館」について意思形成を図る		
	ワークショップを通じて新図書館への期待感を持たせる。		
	新しい図書館づくりにつながる希望や夢を書き出し、キーワードを整理する		
○グループワーク：みんなで図書館へ行って何ができる？			
①「今の図書館ってどんなイメージ？」			
	意見	意見の要旨	意見の分析
課題	家から遠い、行きにくい、狭い	マイナスのイメージ	図書館に対し静か、遠い、暗いイメージが多い
	学習室が静かすぎて入りづらい、堅苦しい、小さい		
	明るいイメージがない、暗い、地味、		
	飲食禁止、建物が古い、大きな声をだしてはいけない、		
	本が窮屈で取りづらい、読みたい本を探しにくい、小説が多い		
	学習室の仕切りが少ない、学習室が狭い		
	座るところが少ない、大人が優先的な感じ、大人がたくさんいるイメージ		
良	勉強後の息抜き場所がない、カフェがあるといい	使い勝手	
	勉強する所、静かなイメージ	プラスのイメージ	
	幼児とその保護者に優しい、親子連れが多い		
②「こんな図書館になるといいな！」			
	意見	意見の要旨	意見の分析
多機能性	CD/DVDの貸し出しがあるといい、	若者が利用しやすい機能	飲食可能、明るい図書館、学習室の充実、NET関係設備の要望が多い
	飲食スペースがあるといい、スタバが欲しい		
	個室の学習室、勉強室が欲しい、		
	ゆったりとしたスペースが欲しい、静かで広いスペース、学習室が欲しい		
	インターネットの充実、WiFiがあると便利、コンセントあり		
	人気の曲を流す、明るい雰囲気、いい匂いがする		
	話ができるスペースが欲しい、飲食しながら団らんできる場所が欲しい		
配慮点	機器の貸し出し、勉強後に軽く運動できる場所の確保		
	貸出期間が今より長いといい、多くの種類の本が欲しい、	運営の改善	
	高いところの本を取る台が欲しい、本が探しやすい	ユニバーサルデザイン	
環境	バリアフリー、障がい者に優しい施設、皆が入りやすい図書館		
	静かなところと騒いでいいところが分かれているといい	利用しやすい環境やデザイン	
③新しい図書館のキャッチコピー			
・本の数より人が来る			
・いつでも来れる新図書館			
・利用しやすい新図書館			
・老若男女とわず楽しめる			
・みんなが待ち望んだ図書館			
・Enjoy&useful Library			

関中学校図書館ワークショップ			
日時	平成29年12月19日（火）10：00～10：45		
会場	関中学校会議室		
参加者	関中学校 3グループ（図書委員12名＋生徒会役員5名＝17名）		
テーマ	新しい図書館についての夢や想いを語ろう！～図書館で会おう！～		
ワークショップのねらい	みんなが「行きたい図書館」とは何かを考えて、新しい図書館づくりに参加している意識を持とう。		
	ワークショップを通じて新図書館への期待感を持たせる。		
	新しい図書館づくりにつながる希望や夢を書き出し、キーワードを整理する		
グループワーク① 「今の図書館ってどんなイメージ？」			
	意見	意見の要旨	意見の分析
良	静か、集中できる場所、本を落ち着いて、楽しく読む所	館内の雰囲気	各グループとも図書館に対し静かなイメージが多い
	勉強する所、静かなイメージ		
	学ぶ場所、勉強する所、調べごとをする所、本を借りる所		
	小さな個人のスペースがある、本がたくさんある、自分らしさが出る、自由で温かい		
	地域の人が利用している	利用者層	
課題	子どもが遊べるスペースがある	イメージ	
	飲食禁止、大きな声をだしてはいけない	制約感	
	読みたい本が探しにくい	現状のイメージ	
	古い、狭い、行きにくい		
グループワーク② 「こんな図書館になるといいな！」			
	意見	意見の要旨	意見の分析
多機能性	食べ物や飲み物が買えて、その場で飲食できる、飲みながら本が読める、	買い物・飲食が可能	飲食可能等々、多機能を有する図書館の要望が強い
	文房具が売っている、飲食スペースがあるといい、喫茶店がほしい		
	個室の学習室、勉強室が欲しい、遊べる、休憩スペースが欲しい		
	ゲームが売っている、お土産が買える、地域のことがわかる本やコーナー		
館内の環境	Wi-Fiがあると便利、コンセントがあり充電ができる、インスタ映えする場所	ネット環境	
	入った時から物語の世界が感じられる、楽しめる、1日遊べる、音楽を流す、中庭がある	館内の雰囲気	
	ぬり絵ができる、インスタばえするといい、色んな言葉で紹介する	読書環境	
	話ができるスペース（談話室）、自分が名作の主人公になった気分や体験ができる		
配慮点	貸出期間が長い、閉館時間が遅い、多くの種類の本が欲しい、本が探しやすい	読書環境	
	バリアフリー、障がい者や子どもから高齢者まで誰もが利用できる優しい施設	バリアフリーへの配慮	
周辺	小さい子が騒いでも気にならない部屋、おもちゃがある、個人のスペース（個室）がある	子育て世代への配慮	
	中庭がある、自然を利用した開放的な施設	周辺空間	
体制	和風な設備、歴史を感じさせる建物	外観	
	勉強を教えてくれる人がいる	スタッフの配備	
グループワーク③ 新しい図書館のキャッチコピー			
	意見	意見の分析	
	Let's go 1日図書館 ～入った時から物語の世界～	関という地域性の移入	
	亀山市ならではの歴史を感じられる和風の図書館 ～みんなのためのバリアフリー～		
	今までの常識をくつがえす！ ～買い物ができる図書館～		

6 資料

市PTA連合会図書館ワークショップ			
日時	平成29年12月7日(木) 20:30～20:55		
会場	あいあい大会議室		
参加者	評議員 P連役員、各園・学校担当職員、教職員組合(45名)		
テーマ	こんな図書館になったらいいな!～こんな図書館なら親子で行ってみたい!～		
ワークショップのねらい	図書館への参画意識醸成と、「こんな図書館なら行ってみたい!」について想いを出し合う ワークショップを通じて子どもが使うという視点で新図書館できるといいことアイデア出しを行う。		
○グループワーク			
「こんな図書館なら親子で行ってみたい!」			
	意見	意見の要旨	意見の分析
駐車場・アクセス	遠い、狭い、停めにくい図書館への足が遠のく	駐車場の整備	
	立体駐車場などの対策をして欲しい		
	バスが停められるような広いスペースが欲しい	アクセスの利便性・安全性	
	車でも安心していくことができる		
	亀山の移動は車が中心。図書館行きのバスが定期的に欲しい(低額)		
	本の配達やバスの送迎があるといい		
	学校の児童・生徒が利用する場合のバスが停められるように		
施設関係	1日過ごすため売店(スタバ)等が欲しい		
	待ち合わせ可能な談話室が欲しい。1日過ごすため売店等が欲しい		
	遊びのスペース		
	亀山をPRするコーナーが欲しい		
	子どもも見ながら親が本を読むところが欲しい		
	アスレチックで子どもを遊ばせながら親が本を読める		
	開架図書を多く取って欲しい		
	Wifiが使えるといい		
	検索用のタッチパネルを多く設置して欲しい		
	飲食ができるところがあって欲しい		
	子どもと座れる二人掛けのイスがあるといい		
	静かにできる場所がありつつもお話ができるスペースがあって欲しい		
	明るく入りやすいカフェのような図書館がよい		
	子どもが遊べるスペースを広く快適に造って欲しい		
	カフェ・文具店なども一緒にあると使用しやすい		
	学習室スペースは必要		
	周辺にキッズスペース・公園が欲しい		
	スターバックスを誘致して欲しい		
	くつろげるスペース		
	施設関係		
子どもを叱る声が多くないような造りにして欲しい			
クッションとかソファを置いて欲しい			
子どもの部屋、大人の部屋を分けて欲しい			
1F・2Fに分ける建て方がよい			
ドライブスルーで本を返却			
待ち合わせ可能な談話コーナー			
管理運営関係	スマホが活用できたらいい		
	展示物を多くして、何があるのかを探すのも楽しめる		
	PC検索の際にわかりやすい表示にして欲しい		
	欲しい本がインターネットから調べることができる便利		
	託児をしてもらえるとよい		
	休日も19時までやって欲しい		
	月刊誌などの雑誌が置いてあるとよい		
	スポーツの専門書があるとよい		

亀山高校図書館ワークショップ	
日時	平成30年1月31日(水) 13:25～14:15
会場	亀山高校普通科セレクション系列1年生1組～3組教室
参加者	亀山高校普通科セレクション系列1年生1組～3組 83名
テーマ	新しい図書館についての夢や想いを語ろう!～図書館で会おう!～
ワークショップのねらい	みんなが「行きたい図書館」とは何かを考えて、新しい図書館づくりに参加している意識を持とう。 ワークショップを通じて、「まちづくり」に参画する意識と新図書館への期待感を持たせる。 新しい図書館づくりにつながる希望や夢を書き出し、キーワードを整理する

○グループワーク			
「図書館あるある!」			
意見		意見の要旨	意見の分析
良	静か	館内の雰囲気	各グループとも図書館に対し静かなイメージが 多き
	静かでいいところ		
	静かなところで勉強ができる		
	静かに本を読む		
	楽しい		
	とても静か		
	落ち着く		
	ゆっくりできる		
	すごくほっとする、落ち着く		
	本がいいにおい		
	明るすぎず暗すぎず		
	エアコンが効いている		
	涼しい、あったかい		
	夏は涼しくて冬はあったかい		
	広い	利用者層	多様な利用者層がある
	中学生が来ている		
	座り込んでみている人がいる		
	小さい子からおじいちゃんおばあちゃんまでいる		
	勉強している学生がいる		
	若者から年寄りの人がいる		
	小さいお子様		
	おじいちゃんおばあちゃん		
	年配が多い		
	子どもがいる		
	老人がいる		
	年齢層が高め		
	誰かが勉強している	イメージ	「固い」所のイメージがある
	勉強している人がある		
	人		
	無料の場		
	まじめ	設備	現状の図書館からの実状を示している
	職員がとても優しい		
	公共のもの		
	勉強しに行く		
	設備が整っている		
	傘立てがある		
	本をとるためのイスがある		
	木の本箱		
	背の高い本棚		
	棚がいっぱい		
	種類を書いている看板がある		
	床がじゅうたん		
	子どもの所は小さいイスと机がある		
	子どもスペース		
	子ども用の部屋がある		
	個室がある		
	学習室		
	勉強場所がある		
	勉強スペース		
	勉強するスペースがある		
	勉強ができる		

6 資料

良	勉強がしやすい	設備	現状の図書館からの実状を示している
	読むスペース		
	机がいっぱいある		
	PC		
	パソコンがある		
	テレビやパソコンが置いてある		
	ビッツって音が聞こえる		
	学習室がある		
	学習室の周りに勉強の資料がある		
	地域の歴史資料室がある	機能	高校生の利用の在り方が反映されている
	DVDが観れる		
	ビデオが観れる		
	映画とかのビデオが見れる		
	入ってすぐのところに季節で変わるおススメの本が置いてある		
	立ち読みしてもおこられない	蔵書・図書利用	高校生の利用の在り方が反映されている
	本が借りられる		
	最新の本は固められている		
	郷土資料		
	新聞		
	本の検索ができる		
	本がどこにあるか調べることができる		
	図書委員のバーコード認証		
	貸し出しカード		
	お薦めの本が置いてある		
	本がたくさんある		
	1000冊は軽く超える		
	色んな種類の本		
	本がいっぱいあって楽しくなる		
	読書感想文を探しに行く		
	読書感想文の季節によく行く		
	調べ物ができる		
	調べることができる		
	調べものをするときに便利		
	辞書		
	辞書がある		
	辞書や参考書がおいてある		
	子どもが読む絵本がある		
	たくさんのジャンルの本がある		
	紙芝居がある		
	雑誌が置いてある		
	分厚い本がいっぱい		
	小さい子用の本がある		
	絵本がある		
	ちゃんと種類別に分けてある		
	きちんと分類		
	ジャンルごとに分かれている		
課題	駅から遠い	立地	高校生の利用が少ない一因
	遠い		
	森のなかにあるので見つけにくい		
	場所が分かりづらい		
	飲食禁止	制約感	高校生が感じている不便さを示している
	おなかがすいたりのがかわれて集中できない		
	しゃべりにくい		
	音を出してはいけない		
	くしゃみづらい		
	ちよっとの物音も出せない		
	静かすぎて気を使う		
	うるさいのため		
	静かにしないとイケない		
	勉強する席が少ない		
	テスト期間は学習室が満員で入れない		
	勉強スペースに入りにくい雰囲気		
	静かすぎて居づらい		
	暗い	現状のイメージ	
	暗いイメージ		

課題	楽しくない	現状のイメージ	高校生が感じている不便さを示している	
	帰りたくなる			
	ひまつぶし			
	あまり楽しくない			
	本のにおい			
	図書館独特のにおいがする			
	トイレに行きたくなる			
	行っても年寄りばっか	来館者		
	人が少ない			
	お客さんの半分くらいが眼鏡			
	子どもが走り回っている			
	図書カードがないと本が借りられない			
	パソコンがいっぱいないと探しにくい	図書検索の制約		
	パソコンは最低一台あるがリストを書かないと使えないしラグが大きい			
	地力はすごく探す時間ができる			
	もっと本を見つけやすくしてほしい			
	本を探すのに時間がかかる			
	本がありすぎて探すのが大変			
	本が置いてある場所がわからない			
	本の場所がわかりづらい			
	本がありすぎて何を選んでいいかわからない			
	お目当ての本がみつからない			
	ときどき50音順で並んでない			
	本の位置が高すぎる			
	本がバラバラ			
	求める本がない			
	最近の本が置いてない			蔵書に対する成約
	マンガがない			
	本の種類が少ない			
	本が古い			
本が汚い				
借りたい本が貸し出し中				
新しい本が少ない				
○グループワーク②				
「こんな図書館になるといいな!!」				
意見		意見の要旨	意見の分析	
立地	近くしよう	駅との連携	駅前という特性を生かした要望	
	電車の時刻表があったらうれしい			
	電車の時間を知らせてほしい			
	森に建っている			
	駅から近いので帰りに寄れる			
環境	コンビニが近くにある	館周辺の環境	通学時の利便性	
	外にうどんやハンバーガーなどの店がある			
	テラスで本が読める			
館内の附加機能	中庭が欲しい	自然を取り込んだ環境	「癒し」空間の創出	
	庭			
	めっちゃきれいな中庭			
	植物がある			
	自然を感じる			
	庭に花			
	花壇・植物園			
	動物園			
	動物がいる			
	ペットOK			
	遊園地			
	水族館入れて			
	魚を飼う			
	映画館必要	趣味・運動	気分転換	
	ボルタリング			
スポーツする場所				
構造	日光	採光・借景	開放的な空間	
	日あたりがいいところが欲しい			
	屋上が欲しい			

6 資料

	景色が良い	採光・借景	開放的な空間
構造	4階建て	外観・構造	遊び感覚と動線
	中に入るまでに難しすぎる迷路		
	らせん階段		
	2Fテラス		
	地下室がある		
	入口をもっと広く		
	でかい		
館内環境	雰囲気がいい	若者に親しまれる雰囲気	高校生としてのステイタス
	インスタ映え		
	めっちゃ静かな場所		
	若者がもっと行きやすい雰囲気		
	明るくしてほしい		
	窮屈に感じない雰囲気がいい		
	おしゃれ		
	入口広く(インスタ映え)		
	インスタ映えがある図書館		
	イルミネーション		
	洋館のような写真映えする外観		
	外にカフェなどがある		
館内のイメージ	マスコットキャラクター		高校生としての図書館での過ごし方
	くつろげる時間		
	一日過ごせる		
	にぎやか		
	楽しい		
	遊べる		
	ゆったりできる		
	高校生でも楽しめる		
	もっと入りやすい雰囲気に		
	静かなスペース		
	さわげる		
	高級感		
	きれい		
	カップルの空間		
	雰囲気が大人な感じ		
駐車場	駐車が広い	駐車場・駐輪場の確保	来館手段
	駐輪・駐車スペースかなり大きいやつで		
	駐輪場		
交通	交通の便が良くなってほしい	来館の利便性	
飲食・売店	パン・お菓子・ジュースの自動販売機が欲しい	飲食・物品購入ができる	図書館における飲食スペースに対しての欲求度の高さ
	中に衣料店		
	文房具販売		
	気に入った本が買える		
	本を買える		
	イート&ドリンクインコーナー		
	スタバ		
	カフェがほしい		
	カフェがある		
	本が持ち込めるカフェ		
	カフェ的なところがあるとよい		
	飲食スペース		
	フードコート		
	売店		
	食堂		
	飲み物		
	文具を売ってほしい		
	コンビニが中にある		
館内施設	ベンチ	高校生としての図書館に欲しい機能	高校生としての多機能性
	エレベーター		
	公衆電話		
	展示所		
	絵をかけるスペース		
	畳の部屋		
	ゴロゴロしながら本を読むスペースがあるといい		

館内施設	寝ころびながら本が読めるスペース	高校生として 図書館に欲しい機能	高校生としての 多機能性
	周りが気にならないで本を読めるところ		
	本を読みながらカラオケができる場所		
	マンガ喫茶のような漫画だけのスペース		
	家具が1700年代のヨーロッパ調		
	洋式トイレと音姫		
	めちゃめちゃきれいなトイレ		
	トイレの便座があつたかい		
	広い休憩スペース		
	ソファがある		
	リクライニング式のソファがある		
	座り心地のいいイスがある		
	和室		
	こたつ		
	でかい炬燵がある		
	マッサージチェア		
	喫煙コーナー		
	貴重品おけるところ		
	仮眠室が欲しい		
	仮眠できる部屋		
	ベット付き個室		
	寝室		
	読書スペースをもっと広くしてほしい		
	席を増やしてほしい		
	シャワー室	災害対策	
	足湯		
	避難所		
	耐震		
交流の場	コミュニケーションが取れる	交流の場として の図書館	図書館における 交流活動の 在り方
	普通にしゃべっていいスペースがある		
	会話できるスペース		
	気楽に喋れるところ		
	談話室があるといい		
	しゃべれる場所が欲しい		
	防音スペース		
子育て支援	授乳室	親子・子ども の図書館の 使い方	高校生として の親子利用に 対する認識
	広い子どもたちが遊べるようなスペースがあってほしい		
	小さい子のスペース		
	ゆりかごをつくる		
学習スペース	子どものスペースはしゃべり声が大きいので専用の部屋が欲しい	学習室に対し ての期待	使い勝手・居心 地のよさの追求
	ひとり一人の学習スペース		
	4人で座る勉強スペース		
	学習室をもっと広く		
	教え合いができるスペースが欲しい		
	個室の学習室がある		
	学習室をもっと欲しい		
	相談しながら勉強できるスペースが欲しい		
	しゃべりながら勉強できる		
	しゃべってもいい勉強スペース		
	たくさんの勉強机とやわらかい椅子		
	教科ごとの参考書スペース		
設備	暗さが分かれている部屋	設備面での 要望	
	部屋の光の調節ができる		
	目に優しい照明		
	室温がちょうどいい		
	冬暑すぎない、夏寒すぎない		
	クラシックを流してほしい		
	コーナー分けをもっとわかりやすく		
附加サービス	筆記用具の貸し出し	図書館利用に あたっての付 加的なサービ ス	図書館サービス を越える付加サ ービス
	毛布がある		
	公民館っぽい部屋		
	本を借りると一時間無料の託児所		
	家に本を届けてくれる		
	雑誌の付録がもらえる		
	本を何冊か借りると景品がもらえる		

I ビ ス 附 加 サ ー ビ ス	パンを買うと図書カードをもらえる	図書館利用に あたっての付 加的なサービ ス	図書館サービス を越える付加サ ービス
	景品がつくスタンプカード		
	就職しやすい		
	食べ物が頼める		
蔵 書 の 充 実	マンガをたくさん入れてほしい	サブカルチャー	図書の充実 への欲求
	マンガの本がもっと欲しい		
	漫画欲しい		
	写真集		
	芸能人の本を増やしてほしい	読みたい本が すぐ手に入る	
	詠みたい本がある		
	本もっといろいろ欲しい		
	本が破れていない		
	新刊出たらすぐ入れるようにしてほしい		
	辞書		
	最近出た本がある		
	人気の本は3冊以上ある		
I C T	パソコン	パソコンの 利用	情報機器類の 充実に対して の視点
	パソコン・スマホルーム		
	パソコン室欲しい		
	充電ができる		
	充電	Wi-Fiの整備	
	充電スペース		
	コンセント		
	Wi-Fiほしい		
	Wi-Fi		
情 報 機 器	VR体験	視聴覚機器 類の整備	
	VRで本の世界に入れる		
	情報がinしてくる		
	テレビ欲しい		
	大画面のテレビ		
	もっと大きな紙芝居(スクリーン)		
	CD・DVDが借りられる		
	BS		
	DVDのスペースを広くとってほしい		
	ゲーム機レンタル		
	携帯のUSBがある		
	フ リ ア ー		
手すり			
段差がない			
バリアフリーが完璧			
ス タ フ	司書増加	体制の充実	高校生のスタ ッフの捉え方
	勉強を教えてくれる人がいる		
	勉強を教えてもらえる		
	手話出来る人		
	外国人向け通訳		
	イケメンのスタッフがいつもいる		
	東大生が勉強を教えてくれる		
図 書 検 索 機 能	本が探しやすい	図書検索機能 の充実	利便性への 欲求
	欲しい本が見つけやすい		
	自動		
	検索したらその本が出てくる		
	音声検索		
	検索した時に場所はいてあるところにしてほしい		
	タッチパネルでいろいろできる		
	本の検索機がある		
	本を運ぶルンバロボット		
開 館	年中無休にしてほしい	開館時間	
	24時間開館		
○グループワーク③			
「新しい図書館のキャッチコピー」			
コンビニ感覚で行ける図書館-みんなが来る記録・記憶の倉庫-			
快適ライブラリー			
インスタ映えライブラリー			
ワールドピープル専用図書館			

使いやすいキレイな図書館
色んな設備がある図書館
Many Books
としょかんDe Go!
これホンマに図書館?
The 本
おじい・おばあ・から小さい子供までカモン!
今日の予定?一日図書館
さあいこう!
本スタ映え
これが日本の図書館～
亀山茶、本読みながら飲んでみて
中に入ってもランウェイ
図書カフェ
気軽・便利・楽しい
中に入るまでがランウェイ
近代図書館
それゆけ!亀山図書!
夢のつまった図書館です
老若男女くる図書館

関認定こども園アスレ図書館ワークショップ				
日時		平成30年1月29日(月) 10:30～11:00 / 平成30年2月8日(木) 11:00～11:30		
会場		関認定こども園アスレ　ホール		
参加者		就学前児童の保護者 46人 (2日分計: 意見は参加できなかった保護者への園による聴取を含む)		
テーマ		こんな図書館になったらいいな!～こんな図書館なら親子で行ってみたい!～		
ワークショップのねらい	図書館への参画意識醸成と、「親子で行きたい図書館」について意思形成を図る			
	ワークショップを通じて新図書館への期待感を持たせる。			
	新しい図書館づくりにつながる希望や夢を描きだし、キーワードを整理する。			
○グループワーク				
「図書館あるある!!」				
意見		意見の要旨	意見の分析	
良	静か	館内の雰囲気	図書館に対し静かなイメージが多い	
	司書の方がクール			
	懐かしい絵本			
	テーマ別の特設コーナーがある			
	検索の機械			
	勉強するところ			
	トイレがきれい			
	学生が多く、座って勉強するスペースがある			
課題	高齢者が多い	利用者層	現在の館は親子で使いづらいイメージ	
	寝ている人がいる			
	子どもが走ってしまう	子どもの制約感		
	子どもを連れていきにくい			
	子どもを連れていくと静かすぎて気を遣いすぎてしまう			
	子どもを黙らせる			
	静かで子ども連れが無理	制約感		
	静かにしないといけない雰囲気がある			
	話づらい			
	スタッフに声がかけづらい			
	妙に気を遣ってしまう	館内環境		
	短時間の利用になってしまう			
	選ぶとき用のいすが少ない			
	空気がこもっている			
	今の図書館は暗い	図書利用の制約		
	本を探すのが大変			
	検索機械が使いづらい			
	うまく本が探せない			
	子どもの本が破れている			
	読みたい本に限ってない			
	借りたい本が借りられている			
	○グループワーク②			
「こんな図書館なら親子で行ってみたい!」				
意見		意見の要旨	意見の分析	
立地・外観・雰囲気	図書館ばくない多目的な雰囲気	親しまれる雰囲気	駅前の特性を生かした滞在型図書館への欲求がある	
	電車の待ち合い扱いでつかいたい			
	おしゃれで現代的な図書館にしてほしい。亀山茶など特産品を使ったカフェやダイニングスペースや落ちつける自習スペースがあるとよい。			
	きれいな庭や子どもの遊び場所、食べ物の持ち込みができるような場所があり、家族が休日をゆっくり過ごせるような雰囲気や設備。			
	室内だけでなくオープンテラスで読書できるスペース。お茶を飲みながらゆっくり読書を楽しめる空間があると望ましい。			
	果樹(実のなる木)があることで絵本の中の内容と現物が一致でき幼児の言語発達が伸びるような沢山の木を植えて欲しい。また、木陰の下に芝生やベンチを設置できれば最高です。			
	屋外でも本が読めるテラス席やひとりでゆっくり周囲を気にせずいられる一人用スペースや、絨毯びきでゆったりと落ち着いた雰囲気でお茶を飲む事ができる空間や、椅子席をいろいろな所に置き選んだ本をすぐ読めるスペースを作って欲しい。			
	明るくカラフルな図書館にしてほしい			
	コンビニ等、食べ物、飲み物、雑貨、筆記用具など売っている売店が中にあるとよい			飲食スペース 物品の販売

飲食・売店	飲食、授乳ができるスペースが中にあるとよい	飲食スペース 物品の販売	駅前の特性を生かした滞在型図書館への欲求がある
	喫茶店みたいなのがある		
	飲み物、お菓子を食べられたり軽食を食べられたり、朝から夕方までいられる、1日中いられる図書館		
	ドリンクバーが欲しい		
	ランチなどができたら嬉しい		
駐車場	駐車場が広い	駐車場の確保	現図書館の課題
	多くの車がスムーズに入れる駐車場を作って欲しい。		
附帯機能	音楽鑑賞や映像鑑賞が楽しめたり、ピアノリサイタルや読み聞かせなどのイベントができるスペースがあるとよい。	多目的ホール	多様な利用者層の想定
	障がい児・支援の必要な人が、ゆっくり出来るブースが欲しい	バリアフリー	
	電源コンセントや有線・無線LANを完備してパソコンを持ち込み仕事ができるようにすると利用層が拡大するのではないかと。	情報機器	
親子での利用	子連れで行きやすい、気軽に行ける	親子で気兼ねしない空間	親子の「居場所」空間の創出
	静かに過ごしたい人たちと分けて、完全防音の子ども連れで大きい声を出してもOKな部屋があるとよい		
	区画分けしてほしい		
	子どもが少々声を出したり騒いだりしても、利用している人に迷惑にならないよう、県の施設のようにスペースが別にしてあったり、防音機能があると安心して利用できる。		
	子ども用のスペースはコーナーやパーテーションでなく、フロアを分けるとゆっくりできる。また、絵本の読み聞かせや絵本紹介などのイベントが定期的にあるとよい。		
	乳児や小さいお子さんの声が遮断できるガラス張りの部屋があると親ごさんは安心して利用できると思う。	親子の居場所	
	お話の家のようなスペースが欲しい		
	児童書コーナーは土足禁止に		
	児童館と併設しているとよい		
	幼児スペースが欲しい		
	キッズトイレ、おむつ替えスペース		
	授乳室やオムツ交換ができる部屋があると良いと思う。		
	児童室に児童用のトイレを設置して欲しい。		
	知育のお試しコーナーみたいなのがある		
	絵本コーナーでは、子どもと一緒に読んだりできるように床暖房を設置して欲しい。		
視聴覚	DVD スペースがある(個室)	AV の充実	
	DVD も借りれるとよい		
学習室	実験室とかクラフト室があったら楽しい	学習スペースの充実	子どもの将来利用
	学習室を個室とグループで使用可能に		
	学習室を広く、もっと多くの人が利用できるようにしてほしい。また、読書スペースも同様だが、一人一人がゆったりと読書や学習できるようにプライバシーを守れるようなコーナーにして欲しい。		
	学生などが勉強に利用する学習室が狭いので広くしてもらいたい。		
大人の利用	図書をゆっくり見ることが出来るスペースがほしい。今の椅子は硬いのでリラックスできるようにしてもらいたい。	大人の居場所	大人の「居場所」空間の創出
	大人の隠れ家的な読書スペースがあるとよい。閲覧席はたくさん用意してほしい。		
	パーソナルスペースをきちんと確保し落ちついて読書ができる作りしてほしい。	託児サービス	
	大人が調べ物などがある時に、子どもだけ預かってもらえるスペースがあるとよい 託児サービス・図書館利用の間の託児ルーム(時間有料)		
子どもの読書活動	子どもが本を選びやすい	子どもの図書検索	子どもの読書環境整備への期待
	検索のコンピューターを子どもに使えるように		
	育児や子どもの用品(バッグなど)の作り方など、子育てに関係する本は、子どもの絵本コーナーに近いところに設定してもらえると、子どもが絵本を見ている時に一緒に読めるので助かる。		
	本のタイトルがあいいうえお順になっていて探しやすいので、継続して欲しい。	子どもが本に親しむ環境	
	本の並びを何歳向けにするとよい。何歳にお勧めの本などをディスプレイして欲しい		
	子どもが多少乱暴に扱ってもよい丈夫な本が欲しい		
蔵書	ベストセラーの冊数が少なく、リクエストするが順番待ちが長いので充実してもらいたい。特に旅行記などは古いものが多く、最新のものをに入れて欲しい。	大人の読書活動	大人の読書環境整備
	カードなしが良い	手続きの簡素化	利便性向上による利用者層の拡大
プロジェクターで読み聞かせをする際、著作権の関係で手続きが必要な為できれば、図書館で教材用として紙芝居、絵本を貸し出しできるように、手続きをして欲しい。	イベントの開催		
イベントを増やす		利便性	
本屋とコラボ	安全性	安全管理	
開館時間を長く	体制整備		
不審者対策をしっかりしてほしい。			
管理運営	専門員を数名配置して欲しい		司書の配置

6 資料

○グループワーク			
「新しい図書館のキャッチコピー」			
本屋スタバとコラボ			
子連れでしやすい			
DVD の貸出し、DVD コーナーが広い			
年齢ごとに居場所がある、居心地がいい図書館			
支援センター			
静かにできるスペースと騒げるスペース			
園職員からの意見		意見の要旨	意見の分析
管理運営	移動図書館で、保育所をまわって欲しい。(平日は仕事でなかなか行けないので、そこで貸し借りできるとありがたい。また、読み聞かせのイベントとかも開催して欲しい。)	移動図書館 図書の回送	子どもの読書 環境の整備
	月のお勧め絵本がホームページに出してもらっているが、小さくて拡大しなければならぬので保護者配布用として送って欲しい。	情報発信	
	子どもの歌などの楽譜の充実とそれを子どものコーナーに置いて欲しい。 新刊や文庫本コーナーの充実、楽譜（ピアノ・合奏・ハンドベル）や保育関係の雑誌等も沢山置いて欲しい。	子どもの図 書の充実	
	大きい絵本や紙芝居など、季節や行事に関するものは、園の職員等での貸し出しが集中してしまうので、増やして欲しい。		
	仕事帰りに立ち寄れるよう、せめてPM7時ぐらいまでは開館してほしい。(週に限定で開館時間を長くする。)	開館時間 の延長	

6-7 図書館市民紙上ワークショップ・市民提出意見

第1回 図書館市民紙上ワークショップ				
意見提出期間		平成29年12月10日（日）～12月28日（木）		
意見箱設置場所		市立図書館エントランスホール（児童用は児童書コーナー入口）		
提出数		一般：21名 児童：56名		
テーマ		新しい図書館についての夢や想いを語ろう！～こんな図書館になるといいな～		
テーマ 「新しい図書館への想い」				
	意見	意見の要旨	意見の分析	検討事項
駐車場	まず人を集めるには、駐車場が必要。	駐車場の整備	十分な駐車・駐輪台数の確保と、利用料金等運用での配慮の両面で検討する必要がある。	・ 駐車・駐輪台数の算定・配置ゾーニングの検討 ・ 駐車場料金の検討 ・ 図書館利用者と他の利用者との区分の検討
	駐輪場、駐車場は絶対なくさないでほしい。			
	駐車場がないと利用できないので、スペースを多めにお願いしたい。			
	駐車場（もちろん無料）。			
	駐車場も確保でき少し木が植えてある庭が見られたら老後も楽しみです。			
	亀山駅前の駐車場に止めて堂々と電車に乗って行った人を前に見かけた事がある。駐車料金を適正な額で設定してほしい。			
付帯機能	長時間過ごす為には、食事のできるスペースが必要。	買い物・飲食が可能	飲食可能等々、多機能を有する図書館の要望が強い	・ 計画コンセプトの検討、策定
	飲み物、食べるスペースがあれば学生さんも勉強するのに大いに役立つ。			
	飲食スペース。自販機も設置。できれば軽食（お弁当やサンドイッチなど）販売もあれば嬉しい。			
	ゴハンが食べられる所と自動販売機を図書館内、もしくは近くに作ってほしい。今はとなりの建物の自動販売機はあるけど、使いにくいのです。			
	昼食を食べるスペースがほしい。学習室は、せめてお茶だけでも飲めるようにしてほしい。			
	スタバ（喫茶）を併設してください。			
	お弁当を食べられる部屋がある。			
	他府県の図書館などを見ていると、カフェと併設したり、雑貨などを販売したりと今までにない図書館運営をしているように思います。飲食をする本を汚したりする心配はあると思いますが、是非検討願います。			
	朗読会や発表会ができるステージ付きで音響付きの部屋が必要。	本をアピールし、本好きが増え、新たな学びや交流が生まれる		・ ゾーニングの検討 ・ 付帯要素、コーナーの検討
	人形劇や読み聞かせをするための別の部屋が欲しいです。上演中に本を探す人に待ってもらわないといけないので。			
	自習室。勉強したいと思った時に、その環境があるかどうかは重要。特に社会人は学校等で自習することができないため。小さなスペースでよいのでぜひとも作って下さい。	学習スペースを十分確保	学習室として落ち着いた環境づくりが求められている。	・ ゾーニングによる動空間と静空間の構成検討
	自習室は今のようなかたちで。テスト期間は混むので、座席数を増やしてほしい。			
	自習室の温度が夏は寒く、冬は暑いので温度調節をしっかりしてほしい。			

6 資料

附帯機能	誰もさわがない静かな場所とお話のできる場所とをわけてほしい。	落ち着いた読書や調べ物ができる雰囲気	みんなに誇れる市民の情報発信・活動・交流拠点を目指す。	・ゾーニングの検討 ・必要規模の検討
	児童書コーナー。静かに本を読みたい人達の迷惑にならないように児童書コーナーは離して、専用の貸出窓口を作る。			
	三重県の郷土資料コーナー。貸出できなくても、なるべくそのコーナーでコピーができて（もちろんその時は名前を書いてもらう）、各市別にまとめて、地図も表示し、民話や写真集やマンガなども全部そのコーナーに集めてもらうと調べやすくてはかどります。			
館内・周辺環境	ゆっくりと読書をするための座りごこちのいいソファを設置。	館内環境	駅前立地の特性を活かし、全ての世代が気軽に立ち寄れる	・歩行者・自動車動線計画の検討 ・公共交通機関の整備方針の検討
	空調がしっかりとしている図書館。温度や湿度の調整がされていれば、感染症対策にもなると思うから。			
	トイレの使用後の手拭きジェットがあれば便利かと思います。	トイレの整備		
	トイレに手を乾かす機械がある。			
	駅前での道を車や人がとおりやすくしてほしい。	周辺環境		
	屋外も夏場の事を考えて木陰のできるベンチも必要。			
	駅前にできるのであれば、電車待ち時間でもふらっと立ち寄ることが出来るように、駅の出入口と図書館の出入口を繋げる専用廊下のようなものがあると思う。	駅との利便性		
駅に出来るなら、待ち合わせができるようなロビーがほしい。電車待ちができる場所。				
ユニバーサルデザイン	2階以上に図書館を設置するのであればエレベーターやエスカレーター、階段を設けてほしい。エレベーターの場合、視覚に障がいがあると、どのボタンを押せばいいのか分からない。専用ボタンはできないか？エスカレーターの場合も、視覚に障がいがあると、一人で乗るのは危ないこともある。1階に総合受付などあれば、図書館まで案内してもらうことで、慣れてくれば一人でも利用できるようになる。点字ブロックは、入口だけでも開口部（開口幅）が分かる程度には設置してほしい。	視覚障害者の利便性	全ての高齢者・乳幼児・障がいを持つ方が利用しやすい	・ユニバーサルデザインの観点からの計画検討
	視覚に障がいがある場合の利用しやすい図書館は、1階に録音図書や点字図書のコーナーがあること。場所は一番奥の隅がよい。そこまでの通路幅は広く取ってほしい。明るさを感じることが出来る窓があること、壁側へ点字図書などの本を置いてほしい。2～3回行けば、案内や支援なくても一人で配架場所まで行ける。フロアの中央に点字図書など置かれると、その場まで行きにくくなる。			
	録音図書や点字図書コーナーに、閲覧用机2～3台に音声読上げ装置（SPコード）、拡大読書器の設置をお願いしたい。			
	ベビーカーでも赤ちゃんの絵本がある所へ入れるようにして欲しい。首が座っていない赤ちゃんを抱っこして本を探すのは大変なので！	乳幼児や高齢者など多様な利用者への利便性		
	分かりやすく配置図を作って欲しい。分かりづらい。			
	高齢の方も精神的にゆったりできる公共の場ができ、医療費も節約できればと思います。			
	読書環境	貧富の差があるご時世ですので、公共の場の充実を願いたいと思います。		
本屋のメリーゴーランドや他の市の図書館を参考にして、子どもが自ら伸びるような読書好きになる環境設備を期待したいです。賢い、心豊かな児童がこれから増えていくことと思います。				

読書環境	もっと本をふやしてほしいです。いろんなやつ。 図書館の役割は、とても重要だと感じます。学校現場に携わっていますが、優秀な子を育てる第一条件は本が好き、読書をしている児童だと思います。人から教えられるのではなく、自発的に知識を吸収していくと思っています。ですから、幼児、児童の間に、読書好きにさせるのが大事だと感じます。陽当たりのよいリラックスできる空間を好きな本を手にして、本が読めたら図書館が好きになるのではないのでしょうか。老後もそんな憩いの場のある図書館があったら嬉しい限りです。	蔵書の充実		本をきっかけとして学びや活動につながる、みんなに誇れる市民の情報発信・活動・交流拠点を目指す。	・ 附帯機能の整理、ゾーニングの検討 ・ 他の施設・機能との連携の検討
		子どもが本好きになるような環境整備			
運営	児童書コーナーには、司書でなくとも、ボランティアの方を置き「わからないことは聞いてね」と氏名つきネームホルダーをつけ、常に子供のサポートができるように、読み聞かせも何時からと決めないで、2～3人くらいでもしてあげれる何人かの本好きな方達がいると親も安心です	スタッフの充実	司書の充実への要望		・ 運営体制の検討
	貸出の期間も2週間と短いので3～4週間、次の予約がなければ長くしていただくと働いている者としてありがたいです。	図書貸し出しの利便性向上	柔軟な運用を求める意見		
	ボランティアの次世代の人材を養成して欲しい。1グループの力では限界があるので、市全体の力で企画してほしい。	ボランティアの養成	図書館運営への市民参画		
移転反対	図書館は駅前とは合わない施設と考えます。いかなる事情があるのか知りませんが、この文教地区の落ち着いた雰囲気の中でこそ一番相応しいと思います。この場で建て替えることがなぜだめなのか、一般市民には理解されていないように思います。市民アンケートでもとって再考して欲しいです。 ただ、ただ、移転は反対です・・・。	現在地での継続	現在地に対しての愛着心がある		・ 計画全体の可視化による図書館整備に対する市民理解
テーマ「新しい図書館への想い」(児童意見)					
館内環境	どうぶつがいる図書館				
	ベッドがある としょかん				
	クッションが置いてあって、すわりながら本を読める！！ハンモックとかも！				
	とりあえず、ごろごろできる場所！				
	ゆうぐがあったら かざってください				
	子ども本スペースは 今のように くつをぬいで あがれるといいです。				
	1つのへやに入る前のところに なぞなぞが書いてある 図書かん				
	みんなが楽しくすごせて 遊べるような 図書館！				
	パソコンしつがあって じゆうできるところか べんきょうのできるところ				
	けっこんしき みたいな ばしょ				
	犬がいる 図書館				
	しずか				
	どうぶつの としょかんがあったら いいのにな				
	いろんなこととか えほんとかが できるとしょかんがあったらいいのにな				
飲食可能	立ち読みスペースがあったらいいな				
	たべものが たべれる ばしょ				
	食じのできる としょかん、たべながら よめる。				
	一日図書館で勉強しに来てても ごはんを食べる場所がありません。みんな外ののき下で順番に食べています。				
	カフェコーナーがあったらいいな				
	手作り雑貨とかパンとか売っていらいいな				
	おひるを食べられるところが必要です。今のスペースは ちょっとムリ・いすが 一方むいていて あれでは食べられないですよね 至急 受験生のために				
	いんしょくOKなところを作ってほしい。				

蔵書	昔のおもしろいまん画かさん（手づかおさむさんなど）のまんがが、たくさんならんでいてほしいです。
	あんぱんまんの本が好きです
	ヘアアレンジの本があるけど　もうちょっと多いほうがいい
	なぞなぞの本がすきです
	本がいっぱいあって、　すぐにさがして　いる本が見つかる所
	本がいっぱいある　としょかんがあると　うれしいです。
	ぞろりの本しかない　としょかん
	すみっこの本が　いっぱいある　としょかんがいい
	もっとたくさんマンガやざっしがある図書館がいい
	今　かりられている数が多い人気の本コーナー
	ペットの本がある　としょかんがいい
	あたらしい　しずくちゃん
	おしゃれなざっしが　いっぱい置いてある所
	えいがでやっていたお話。（こわくない）
むしのほんが　いっぱいあるといいな	
蔵書	本をあけると　えいがが
	本がいっぱいある　へや
管理運営・体制	かりたい本を言えば　もってきてくれる　としょかん。
	本が何さつでもかりれる
	たくさん本があり、何さつも　かりられる
	なんさつでも　かりれる　としょかん
	もちろん本がいっぱいあるところがいいです。
	本がいっぱいかりれて　あたらしい本がいっぱいある　図書かん
	なんさつでも　かりれる　としょかん
	イケめんの図書係さんがいる所
周辺	公園が近くにあったらいいな。
第2回　図書館市民紙上ワークショップ	
意見提出期間	平成30年1月5日（金）～1月25日（木）
意見箱設置場所	市立図書館エントランスホール（児童用は児童書コーナー入口）
提出数	一般：17名　児童：28名
テーマ	「親子を中心とした図書館の理想像」　～もっと親子で図書館を使ってもらうには？～
テーマ「親子が利用しやすい図書館」	

トイレ	現在のトイレ、荷物かけを、もう一つ低いところへつけて下さい	トイレの整備		
	手洗いが不便なので、ふみ台をおいてください			
展示	館内展示、設備などできる部屋を設置	新たな学びや交流が生まれる	みんなに誇れる市民の情報発信・活動・交流拠点を目指す。	
児童	今のような、子どもがハイハイできるスペースをのこしてほしい	乳幼児への利便性		
学習	学習室を充実してほしい	学習スペースを十分確保		
閉架書庫	利用者として、開架書架に求めている本がない場合は、もうその図書館には所蔵がないものとして諦めてしまうことがある。しかし、いざ家でネット等を通して検索をかけると目的の本が開架書架にあたりることがあるため、全面開架を目指していただきたいと思うと同時に、閉架書庫に検索という手間をかけずとも、こういった本があるか分かるような工夫（特にシリーズもの）をしてもらいたい。	郷土資料・閉架書庫の充実	本をきっかけとして学びや活動につながる、みんなに誇れる市民の情報発信・活動・交流拠点をを目指す。	・ 附帯機能の整理、ゾーニングの検討
	亀山市の文学資料の保存、そのための書庫を増設			
	保存庫を拡大 etc・・・			
蔵書	芸文協と教委と協力して文化、文学の向上をはかる	蔵書の充実		
	本数を多くしてほしい			
図書活	使用済みの教科書等寄付してもらって貸出ししてもらいたいです。今の教科書は絵本みたいで読むのも楽しいです	図書の柔軟な活用	柔軟な運用を求める意見	・ 運営体制の検討
予算	もっとも大事なものは、予算を増やす	予算の増額	予算の増額	
立地	駅前の図書館だと無断で車を停車していく人がいるのでは・・・。文化会館のあたりに建つと側に公園もあり、児童センターでも遊べ、よいと思う。駐車場を立体にするのであれば、駅前より小さい子を連れての利用には、もっと広々とした所が良い。文化会館のあたりだったら、高校生も帰り路で寄りやすいのでは・・・。もう駅前で決定なのでしょう？ 図書館は、もっと広々として、ゆったりとした空間であってほしい。子どもが回りを気にせず楽しく本を読める場所を作ってほしい。	図書館立地に対しての意見		・ 計画全体の可視化による図書館整備に対する市民理解
	駅前の便利さはありますが、駐車場スペースが少なくては困ります。別の静かなところへ			
賑わいの創出	駅前の図書館について、地域の振興が目的、1F 地産品のみの直売所と軽食の食堂、直売所はカゴトレイに1人出荷分を入れて直売する。カゴトレイ1個出荷について1月500円と売上げ10%を販売代として店で受取る。レストラン（食堂）は直売所より50cm床を上げ、1品500円以下のメニューとし交流の場所づくりを行う。2Fと3Fは図書館と多目的ホール、市の案内（チラシ）等を行う。＊運営はシルバー人材センターや身障者を活用する。	駅前全体での賑わいの創出	図書館移転の波及効果	・ 駅前整備事業との整合
	にぎわい広場づくり。駐車場に金土日にフリーマーケットを開き、軽トラックで店を出す。又は1台分の駐車スペースを1店として1店3日分（又は2日分）1000円として個人で出店する。現在、数ヶ所グループで行っているがグループ活動で広がりにくい。学校給食の活用と農業者支援の場になるように。JAでは消費税を払う必要のない人も払っている			

6 資料

移転反対	駅前新たに整備とは？今のは、整備されていないってこと？もしかして新しい“箱”が欲しいってこと？現在の亀山図書館の利用状況（利用者数等）からして、新たに駅前に図書館をつくる目的は何なのでしょうか？規模を大きくして蔵書数を増やすこと？老朽化に伴い耐震化を図ること？立地からすれば、閑静なこの亀山公園内が良いと思う。この亀山公園内に建て替えば良いと思う。駅前の図書館は、JR利用の学生、通勤者の利用を期待しているのですか？駅前の図書館には、十分な駐車場は用意されるのでしょうか？子供（小学生を含む）の送迎には、必ず車が使われているので、十分な駐車スペースがなければ、利用者数を得ることはできないでしょう。大人の利用にしても然りでしょう。もちろん家族での利用も・・・。 駅前のための図書館移動はおかしい！ 駅前移転反対！！それより現図書館の充実を！	現在地での継続	現在地に対しての愛着心がある	・計画全体の可視化による図書館整備に対する市民理解
移転反対	新しい図書館は、みなさんと創っていくものですか？私は今の亀山市図書館で満足しています。駅前だと騒音が心配です。今の所を残して下さい。お願いします。もし移転しても、今の亀山市図書館は残して下さい。取り壊しは反対！！古いほうがいい。亀山市図書館の移転は反対です。 この用紙には図書館を駅前に移転する事を前提に作られています、誰が新しくリフォームし、かなり満足感が得られた我が家を破棄し、新築の家を建てるのでしょうか？国、地方合わせて1,000兆円を超す借金を後の世代に押し付けて、親は子に責任を感じないのでしょうか？今回のテーマは親子を中心とした云々も、成立し得ないテーマで、借金を子につけ回す親世代を借財を背負わされた子世代の深いウラミ節しか聞こえません。	現在地での継続	現在地に対しての愛着心がある	・計画全体の可視化による図書館整備に対する市民理解
テーマ 「新しい図書館への想い」(児童意見)				
駐車場	Parking が広くて多い ここ以上に狭くなるのは カンベンしてほしい			
附帯機能	としょかんの中であそべるやつがいい 借りた本をよんで くつろぐスペース あそびもできる としょかん あかちゃんがあそべるスペース みんなが いやすい としょかん 1人でゆっくりできるスペースがあったらいいな 「1人がけのソファなど」 学習室を広くして欲しいです。 ワンちゃんといっしょにあそべる としょかんがあったらいいです 数時間託児してくれるような所があると勉強時間が確保できるのでありがたいです。			
飲食	お弁当をたべるところがあるとうれしいです 昼食・軽食できるスペースが欲しいです！ カフェ のんだり、たべたり、べんきょうができる カフェみたいな図書館 食堂やカフェもあって1日過ごせたらいいなと思います。			
運営	だれでもかりれる としょかん いつでもドリンクがもらえる図書館 ワークショップがある（おかしづくり あやとり おりがみ etc・・・） あいているじかんがながい 5：30までがいい 公衆電話をおいて欲しいです。			
配架	本がひくいばしょにある どこにまんがやしょうせつがあるのかが、すぐに分かる としょかん こどもにも うえのほうの本をとれる としょかん 「安全にのぼれる台などをおく」 絵本の並び順を出版社別にしてほしい。 好きなシリーズの本を一度に見ることができると かりたい本を見つけやすい。			

蔵書	プリキュアのとしょかん		
	じっけんだいけつの本がいっぱいあるところがいいです		
	インターネットなどのひみつがいっぱいある としょかんがほしいです		
	本で大家さんとぼくがよみたい		
	よつばのクローバーでいっぱいのとしょかんがあったらいいな。		
	わたしたちのカノンや音楽系のマンガや小説の本のとしょかん		
	たんてい系のよみやすい本 きょうらくたーのある本		
第3回 図書館市民紙上ワークショップ			
意見提出期間	平成30年1月26日(金)～2月13日(火)		
意見箱設置場所	市立図書館エントランスホール(児童用は児童書コーナー入口)		
提出数	一般: 15名 児童: 28名		
テーマ	「誰でも優しい図書館ってどうしたらいいの?」		
テーマ 「誰でも優しい図書館」			
意見		意見の要旨	意見の分析
ユニバーサルデザイン	身体障害者の場合、車椅子で通行できる通路幅、書架と書架の間隔の確保、エレベータの設置、緩い斜面の通路の設置、車椅子対応便所の設置が必要である。車椅子の高さに対応した検索機(OPAC)が1台必要である。(子ども用と兼用可能)	車いす利用者への配慮	アクセシビリティの視点からの配慮がなされた設備・運営計画
	視覚障害者の場合、館外の通路も含め全館の床面に点字ブロックの設置が必要になる。点字の案内板を随所に設ける。点字パソコンと印刷機を備え、点字資料を図書館内で作成できるようにする。対面朗読室を設置する。 録音再生装置(テープ、DC等)を備えて音声で聞くことができるようにする。設置場所は対面朗読室内か資料各室の何れかにする。自力で機会の操作が出来ないので補助員が必要になる。また、音声資料の作成できる録音室を設ける。点字資料を配架する。音声資料(テープ、CD、DVD等)を配架する。過去のテレホン童話を音声資料で揃える。図書館の案内パンフレット及びパスファインダーを点字で作成する。読み聞かせ会を視覚障害者を対象に行う。児童サービスと異なる点は本は見せずに音声による朗読のみとすることである。ストーリーテリングの要領で行う。視覚障害者の子どもの場合と大人の場合でそれぞれ適切な題材を選ぶ。視覚障害者が音声再生装置を利用する場合は装置を操作する補助者が必要になる。潜在利用者に対する資料の配送と回収を行う場合は業務量に対応する人員が必要になる。 職員に研修を障害者や高齢者に対する知識の研修を受講させる。	視覚障がい者への配慮	
	聴覚障害者の場合、館内放送が聞こえないので、電光掲示式の案内板を設ける。	聴覚障がい者への配慮	
	老年者の場合、全館の通路に手すりを設ける。拡大読書器を設置する。大活字本を配架する。	高齢者への配慮	
	外国人の場合、館内の案内表示に日本語に加えて外国語(ポルトガル語、スペイン語、中国語、英語)の表記を並べる。検索機(OPAC)の使用言語を外国語にも対応させる。外国語に資料を配架する。言語別に配架するか分類別に配架するかは図書館で決める。現在の外国語資料は9類が多数を占めているので、0類から8類までの書籍を充実させる。子ども用の外国語の絵本や児童書を配架する。 また、視聴覚資料に外国語のCDやDVDを配架する。さらに、外国語で書かれた日本語の教則本と日本の生活習慣に関する本を配架する。パンフレット置き場に市の案内の外国語版資料を配架する。図書館の案内パンフレット及びパスファインダーを外国語で作成する。	多国籍利用者への配慮	
	妊婦、乳児連れの場合、閲覧席に優先席を設ける。一般席よりも大きめで感触の柔らかい席を用意する。また、授乳室を設ける。妊娠、栄養、育児等に関する資料を別置で配架する。	妊婦・幼児への配慮	
	潜在利用者(図書館に來ない人)は、資料を自宅(又は指定の場所)へ配送と回収を行うサービスを新設する。	来館困難者への配慮	
移転反対	新しい図書館を作ろうとする動きが本格化してきています。今(2/12)、図書館の利用者は適正規模で十分余裕があり、これ以上(規模・人員を含め)のものを建設する必要がまったく感じられません。歴代の図書館関係者の努力の蓄積によって使い勝手の良い現状が保たれている事実が目向け、箱物行政をやめていただきたい。	移転反対	図書館整備計画に対する市民周知とその理解
	図書館駅前移転反対。それより現図書館の拡充、食事施設の設置、市内文学活動発表、及び資料保存、文学(歴史を含む)サークル活動の補助を拡大。		

6 資料

アクセス	図書館を利用する為の交通の便を整えていただきたい。バス、自家用車などの駐車場と共に、交通渋滞を起さない様な出入りのし易い安全な流れ、動線を考えた入口・出口の工夫をお願いします。利用者が交通事故にあうことが多発するのでは困ります。	アクセスの向上	公共交通機関の利便性、周辺交通安全確保の合意形成
駐車場	車でいきたいので駐車場は不足のないようにお願いします。今の図書館の駐車場は、とても狭くて不自由しています。	駐車場の拡充	駐車場の確保の合意形成
トイレ	新しい図書館もいいが、トイレの石けんが出ません。細かいことだが、この辺の考え方をしっかりしてもらわないと市民は困る。	現状トイレの整備	トイレの整備
多機能性	憩いのスペースになるような図書館。期待しています。ゆっくり本が読みたいです。	読書環境の整備	機能と施設等との整合性
	自動販売機の導入や飲食スペース、学習室の拡大を行ってほしいです。そうすることで、受験生や学生などの方々も飲み物を飲んでくつろげたり、学習がしやすいと思います。	学習室の充実	
	W i - F i を置いてください。	情報環境の向上	
	カフェのような飲食のできる、くつろげるスペースがあると、そこでゆったり本をよんだりすることができるので、そのようなスペースをつくってほしいです。	飲食可能スペース	
	カフェのような、少しくつろぐことのできるスペース。		
利便性の向上	貸出しカードを、他のカードと共有のものがあれば借り易いと思います（免許証など）。	利用者のニーズに基づく利便性の向上	図書館サービス拡充の合意形成
	子どもを「じどうしつ」において、コミックエッセイのところにいく親御さんがたくさんいらっしゃいます（私もそのひとりです）。「エッセイ」とじどうしつは、はしとはしにあり、むかえにいくのも、さがすのにも大変です。この前、私がみかけたときは、お子さんがお母さんを見つけれずにこまっていました。ほかに人のめいわくになる場合もあるので、検討していただきたいです。		
	お願いですので、借りられる期間をのばしてください。図書館に行くひまがないのです。		
	菰野町の図書館に設置されている本のばい菌を消去する機械（ボックス型）が、新しい亀山市図書館にも導入していただけるとありがたいです。	ブックシャワーの設置	
テーマ「新しい図書館への想い」（児童意見）			
移転反対	ここの亀山公園にある図書館がよいです 子供も遊べ 大人も外を散歩でき素敵な図書館だと思います。なぜ駅前…駅前に図書館と言うのなら 電車を増やしてほしいです。		
飲食	レストランやこうきゅうホテルがほしい		
附帯機能	犬としゃかん		
	絵本のコーナーでは、子供がさわいだり、すこし走ったりしてもOKなスペースがほしいです。毎回連れてくる度、注意してばかりで親はハラハラです。		
	大きなこえで しゃべれる としょかん		
	じどうしつが ひろい		
利便性	本を取ったら、どんどん前にでてくる本だながほしい		
	なんさつでもかりれる としょかん		
	おんせんがあつたらいい ゲームも あと けんさくするきかいを もう一つ		
	DVDの貸し出しが出来る図書館 図書館の本が、家のパソコンからネット検索出来る図書館		
蔵書	広い駐車場。幼児と来て自分も本をよめる		
	ドラえもののほんが いっぱいほしい		
	かめんライダー ビルド		
	小説がたくさんある としょかんがよいです。（理由）小説がすきだから。字が多いから ながいじかんでよめるから。あと、よむスペースをもっとたくさん つくってくれば うれしいです		
	みじかい本があつたらいい。もっと いっぱい本があつたらいい		
	たくさん本が読めるとしょかん		
	ようかいの学校		
	トミカシリーズ		

第4回 図書館市民紙上ワークショップ			
意見提出期間	平成30年2月14日(水)～3月17日(日)		
意見箱設置場所	市立図書館エントランスホール(児童用は児童書コーナー入口)		
提出数	一般:7名 児童:51名		
テーマ	開館までに何を進めていくのか? ～これからの図書館でできそうなことないかな?～		
テーマ「これからの図書館でできそうなことないかな?」			
	意見	意見の要旨	意見の分析
ユニバーサルデザイン	学習室については、定員を80名とするなら80人収容の大部屋を設けるのではなく、40人収容の中部屋を二部屋設けてほしい。 これは夏季の冷房と冬季の暖房の温度設定に関する理由がある。 強い冷房は室内が寒く健康に良くない。然るに個人差があって体感温度が利用者ごとにそれぞれ異なる。現在では寒い場合は止めていただくことになるが誰かが暑いと言って冷房を強める。一日の内にこれを何回も繰り返すことになる。 鉄道の場合は冷房温度を一般車両よりも2度ほど高く設定した弱冷房を設けている。図書館の学習室は長時間の利用者が多いので、二部屋にして冷房の温度設定を二段階にすれば、暑いからと冷房を強め、寒いから弱める必要がない。暖房の場合も同様に十分に暖かい部屋と弱い暖房の部屋を分けておけば個人差による暖房の強弱の繰り返しを避けることができる。 グループ学習室や対面朗読室は部屋単位で温度設定ができるようにする。	学習室の整備	館内環境の向上
	「親子でもっと図書館を活用」では小学生と乳幼児を対象に意見を書いたが、児童サービスの対象者は18歳未満まで含むので、中高生向きの書籍も充実させる必要がある。所謂ヤングアダルトと称する書籍を「児童書」と「一般書」の間をつなぐ資料と位置付けて「中高生資料室」を設けることはできないか。 「いじめ」等に関しては人権啓発に関する資料、武士道に関する資料、道徳に関する資料を配架することは可能であろうか。 また、将来の職業に関する資料も必要である。現在の児童室に小学生向きに各種職業を紹介する本を配架しているが、同種の内容で中高生向きに書かれた資料があれば別置扱いで配架してほしい。 社会人となる前に社会における礼儀作法や経済感覚を身につけさせる資料も必要である。社会で出た時に詐欺に遭ったり、悪徳商法の餌食になったり、多重債務者に陥ったりしないように啓発するための消費生活に関する資料は絶対に必要である。つまり、詐欺の手法、悪徳商法の事例を解説する本、消費者金融やクレジットカードの知識の本、問題発生時の対処方法を解説する本が必要になる。 高校生ともなればアルバイトをする人もいる。雇用契約や労働法に関する本も欲しい。また、成人年齢の引き下げに関して契約の概念等の民法関連の書籍も必要である。 大学生や社会人であれば都会で部屋を借りたり、学生寮(社員寮)で生活することになる人がいる。不動産の賃貸契約に関する本も必要になる。	青少年向け図書の充実	蔵書計画における検討課題
	さらに、喫煙及び受動喫煙の害を啓発する本、薬物使用の危険性(大麻、覚醒剤、向精神薬、あへん、毒物及び劇物等)を説明する本、カルト団体の危険性を警告する資料も必要となる。 自転車、バイク及び自動車の安全運転教則本も置いた方が良い。 自動車の運転とは質量のある物体(車体と乗員)の運動(走行)であり、慣性、遠心力、加速度(減速度)と速度変化の関係、坂道における位置エネルギーの影響、路面と摩擦の関係など物理学(力学)の基礎知識が運転者に備わっていて当然である。力学関係の本を配架してほしい。		
	依存症に関する本も必要である。スマートフォン依存、インターネット依存、パチンコ等のギャンブル依存、アルコール依存、薬物依存等の各種依存症に陥らないように正しい知識を身につけさせる必要がある。 大学に進学する場合に自分の学びたい分野はどの学部のどの学科を専攻すればいいかを調べる資料も必要である。大学では学校案内を発行してオープンキャンパス開催時に来場者に配布している。館内の掲示板にオープンキャンパスや入試説明会の日程案内のポスター等を掲出したり、パンフレットを配置することはできないか。 学校案内資料も入手可能であれば閲覧用に配架できないか。進学先としては三重県内、名古屋市内と周辺、京都市内、大阪市内と周辺の大学が多いと思われる。この地域の大学案内の資料を配架すれば進学先選択に資すると思われる。 前期の掲示板に関しても東海地方と関西地方の大学を対象に掲出してはいいかであるか。	青少年向け図書の充実	蔵書計画における検討課題

6 資料

移転反対	駅前移転の話、長引きそうですね。私は反対で、今の図書館の充実、あの辺一带を文化施設地域としてまとめてほしいと考えております。単に人あつめのための移転ではおかしいと考えます。亀山はいろいろな施設がそれぞれ小さくバラバラに置いてあって相互のつながりがないように思います。図書館と歴博その他を一带として運営してほしいと思います。	移転反対	図書館整備計画に対する市民周知とその理解
周辺環境	亀山駅周辺は陰気臭いと他市在住の人から何回か言われて、悲しい気持ちです。古めかしい旅館（坂本屋）とかくずれ落ちそうな建物は取り払って、花壇とか木々を植えたりして、亀山の顔になるようにしてほしいものです。	駅前周辺整備	駅前周辺整備事業との整合
館内環境	たまにかりてます。ありがとうございました。	利便性の向上	図書館サービス拡充の合意形成
	インターネットで本の検索が出来るようになったら良いと思う。現在、端末が図書館にありますが、この機能がネットで出来ると便利だと思う。		
	たくさんの方が、寒風の中、外でお昼食べていました。すごく、かわいそうです。現在の図書館でも、どこか解放してあげてください。人目の気になるティーンエージャーが多数食べられるところを！！	館内環境の整備	
	テーマの内容ではありませんが、希望として、メモを取りたい時もあるので、軽い机を増やしてほしい。書類を広げて調べものをするのでなく、忘れないためにメモを取りたい時もありますから。また、館内で読み続けたい短時間でも一度借りて別室でと言われるのは感じ良くない。そのまの場所で短時間で済ませたい時もあります。ご配慮ください。 冷水機をつくってほしい。		
テーマ「これからの図書館でできそうなことないかな？」（児童意見）			
館内環境	みんなが きもちよく本がよめる としょかん！！		
	ロボットが、本をもってきてくれる すてきな「としょかん」がいいです！		
	うけつけが ロボットがいい		
	ショーを見ながら本を読める としょかんがほしいです。		
	マジックなどの本を見ながら マジックなどの遊びが出来る所。		
	けっこうしきような としょかんがいいです。		
	けっこうしきやパアピーみたいな としょかんがいいです。		
	すてきなドレスがいっぱいならんだ としょかんがいいです。		
館内・周辺環境	ぼくは、電車によって 図書館を回って本を見つけて読めるようにしてほしいなと思いました。		
	おかしが いっぱいある としょかんがいいな		
	かべに 水そうを つくって かめ、さかな、くらげなどをいれる		
	ほてるの 図書館		
	子供がわいわいさわぎながら 本をたのしめる部屋がある図書館		
	本みて友だちと おしゃべりしながら これかわいーねーとか はなしながら みれたら サイコー		
	1階が大人で、2階は子供用、ジュースやおかし食べる事ができるスペース。		
	本を探す機械が（こみあってしまうので）2台ほしいです。		
	おどれる としょかんがいいです。		
	カードなしでも、かりれるし、DVDも見れる図書館。		
	自由に図書カードをつくってくれる 図書館がいい。		
	読みきかせやしおりか、おりがみづくり、そして図書館のお仕事をする。		
	スマホやPC、タブレットを充電するスペースや学習室、子ども達が遊具やおもちゃがあるスペース、いつもの図書館スペースがある ○○ちゃんとあくしゅするスペースなどなど。		
	アニメの本が置いてあって、1回行くことによって1回分スタンプがおされる。10個集めると亀山キャラクターと好きな妖怪ウオッチなキャラクターが書かれている、しおりとあめ2つプレゼントする。		
	小さな子供たちが知っているアニメキャラクターがかざっている。		
	大人は砂糖やミルクがあるなしのコーヒー、子どもは果物かやさしいジュース。		
	お金のジュースかコーヒー販売機、大人は500円、子どもは○○円のいろんなたくさんのお菓子販売機がある。もちろん、職場体験OKの図書館にいたいです。		
	とかげがいる としょかん		
	サバイバルゲームがあったらいい		
	自由にかしだしできる としょかん！		
	たのしくよめる 図書館		
	ちゅうしゃじょうをひろくしてほしい		

蔵書	まんがをいっぱい おいて！！
	マンガをいっぱいおいてほしい。
	同じ本をたくさん置いてほしい。よみたい本がかりられていても たくさん同じ本があれば よめるからです。
	こんな としょかん すーごいおおきくて いっぱいほんがいいです
	本がしゅるいごとに 分けてある としょかん。
	わんちゃんの え本がいっぱいある 図書館。
	どうぶつがいて どうぶつのがが よくしれる としょかん。
	おおかみ いっぱいが あったらしいな。
	あらじん おさがせ
	どっちがつよい
	ドラゴンボールスーパ
	トミカ
	つんつくせんせい さがしもの
	どらえもん こうじょうのひみつ

6 資料

6-7 市民提出意見

図書館に関する市民意見など				
平成 30 年 2 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日				
日付	要件	意見提出	内 容	
8 月 14 日	60 代 男性	来庁	開館は子どもたちが来やすいように春休み前にした方がいいのではないか。開館に向けて市民一体で取り組めるように考えてほしい。	
8 月 24 日	40 代 男性	面談	高校生の子どもがいるが、今の場所や規模では使いづらく行くこともないと言っている。駅前という利便性の高い場所に拡充整備されることは望ましいと思う。図書館の持つ可能性を十分に生かして整備してほしい。	
11 月 9 日	60 代 男性	来庁 F A X	図書館整備推進委員会と図書館運営委員会の関係についてスムーズに開館後の体制に向けて整理して欲しい。条例、施行規則などにおいて亀山市における図書館の位置付けを明文化しておくべき。 読書を通じて一人ひとりの個性を磨き、自分を大切にするとともに他人を慮るような社会形成に図書館が寄与することを計画に盛り込んでほしい。	
12 月 29 日	50 代 男性	電話	図書館は今の場所でもいいのではないか。高校生などの利用増進が図れるのであれば駅前であることは理解できる	
12 月 13 日	60 代 男性	電話	駐車場の確保、必ず行く際には車がないと行けない、現在の図書館でも駐車場が少ない。移転して駐車場がなければ移転したメリットを生かせない。台数を見越して建築・設計を行う必要がある。都市計画部門とも調整が必要。	
12 月 15 日	60 代 男性	F A X	図書館の整備にあたってバリアフリーの配慮は必要。計画にはバリアフリーについて具体的にどこにどのような配慮を行うのかを明記すべき。そのためには健常者だけでなく当事者の目線での提言が必要。そのような立場の方を委員に加えてもいいのではないか。また、駐車場の必要台数は早く試算すべきと考える。	
12 月 28 日	60 代 男性	文書	一般室に関しては開架書架だけではなく閲覧机が欲しい。現在の一般閲覧机は 2 台、座席が 12 席で極めて少ない。6 入用機を使用するなら 5 机と 30 席以上はほしい。また机を必要としない利用者に対してはソファ席などを用意してほしい。また、一人ずつで使用する研究用の閲覧席が 10 席ほどほしい。津市津図書館には二階の参考図書室にそのような席がある。	
			視覚障害者が使用できる対面朗読室を設けてほしい。名張図書館には対面朗読室があり外に音が漏れない構造になっている。	
			パソコンの使用できる部屋がほしい。キー操作音を嫌う利用者がいるので一般室では使用禁止として独立した部屋を設ける。各席に電源を備えるとともに携帯電話への充電は禁止する。またインターネット検索機も同じ部屋に設置する。	
			新聞と雑誌の閲覧席も机と椅子を置いてほしい。	

12月28日	60代	男性	文書	学習室は絶対必要であるが駅前に立地する以上学生だけでなく社会人の利用も見込まれるので席数を充分確保する必要があり、二部屋可能なら学生用と社会人用で使い分けることも可能である。現在の6入机は中央が空席になることが多いので4入用の正方形の机を配置するのがよい。定員は80名(20机)は必要と思う。25机(100名)あってもよい。ただし通路の狭い詰め込み配置は避けてほしい。津市津図書館の学習室には4人組が17台設置され定員は68名であり、机は大きく部屋も広く通路部分も広いので余裕がある。室内に書架を設けて百科事典や辞典類(国語辞典、漢和辞典、外国語辞書)を配架してほしい。 数人で利用するグループ室がほしい。主な利用者は学生を想定していて一緒に学習したり、文化祭などの打ち合わせ等の活用を想定する。 独立した参考図書室と郷土資料室がほしい。津市津図書館の二階に当該設備がある。当然閲覧机も用意されている。カバンの持ち込みが禁止されているがコインロッカーが用意されている。伊賀市上野図書館も同様である。 児童室は全室を土足禁止ではなく土足で入れる場所と禁止の場所を区別して設けてほしい。津市津図書館では児童室に土足で入れるが奥にある「おはなしの部屋」は土足禁止にしている。 児童室には閲覧用の低い机や子ども用の椅子を配置してほしい。 間仕切りで区別された「おはなしの部屋」を設けてほしい。床はカーペットにして周囲に低い書架を設けて幼児を対象にした絵本や紙芝居を配架してほしい。またマミーズや亀山絵本と童話の会の「おはなし会」、「わくわくどきどき」や「クリスマス会」などに対応できる面積を確保してほしい。またこの部屋の内装は図書館ではあるが幼稚園や保育園のような雰囲気にしてほしい。 視聴覚室を設けてアニメなどはこの部屋で鑑賞してもらう。面白ければ笑い出すお子様もいるので仕切りで囲まれた独立した部屋が望ましい。 録音室を設置してほしい。視覚障害者用の音読資料の作成とテレホン童話の録音に使用する。 便所は一般用だけでなく、児童室内に子ども用の便所が必要である。 休憩用の設備が必要である。館内は飲食禁止にするので休日などに試験勉強をする学生の食事の場所がない。食材は持ち込みとしテーブルや椅子を配置する。冷水器や給茶機も設置してほしい。また授乳室があれば乳幼児を連れた家族も利用しやすい。四日市市立図書館は三階にテーブルと椅子を用意している。ふるさと多度文学館は「くつろぎの部屋」を設けて飲食用に提供していて、給茶機や流し台も置いている。菰野図書姉は電子レンジも備えている。 検索機(OPAC)は一般室と児童室の両方にほしい。 新図書館は平屋ではないのでエレベータが必要である。エスカレータもあればなおありがたい。 高齢者を対象に拡大読書器を設置してほしい。 荷物を保管するコインロッカーがほしい。料金は100円で使用後返還される方式が望ましい。 利用者には通常は直接関係ないが会議室を設けて試験時期等に学習室が混雑する場合は開放してほしい。また子どもアニメ映画会にも利用できる。 閉架書庫は資料の増加を見込んで十分な余裕を確保してほしい。国立国会図書館関西館では地上部よりも地下の書庫の方が床面積が大きい。
--------	-----	----	----	--

12月28日	60代	男性	文書	建物全体の施設として公衆電話機を設置してほしい。携帯電話が普及しているが利用者は皆無ではない。駅の公衆電話を利用してくださいでは高齢者が自宅から迎えを呼んだり、駅前のタクシーが出払っている場合に気の毒である。
				内装はプラスチックやアクリル板よりも木材を優先的に使用してほしい。また床仕上げは歩行者の音が吸収されるような素材を使用してほしい。
				あればいいと思う設備では玄関に駅の設備と連動で次の列車の発車時刻の案内設備（3方面）を設けていただければ便利かと思う。バスの発車時刻の案内もあればなお便利である。
				参考図書と郷土資料を充実してほしい。
				郷土資料室には亀山の地理や歴史だけでなく地場産業に関する書架を設けて関係資料を別置してはどうかであるか。また、鉄道の街として発展してきた亀山としては鉄道関係の書籍を集めた書架を設けてほしい。大安図書館に鉄道関係資料を集約した書架がある。
				毎月「鉄道ジャーナル」を購入しているが2年で廃棄するのは勿体ない。過去の雑誌は年月が経過すれば一級の参考図書に化けると云うことをよく理解してほしい。例えば関西本線の亀山以東の電化は何年であったのかを調べようとすれば市史でも分ると思うが、急行「かすが」が何時廃止になったかは市史ではまず分らない。これは過去の雑誌のタイヤ改正の記事を調べればわかる。雑誌はこのように過去の出来事を調べるのに大層役に立つ。従って廃棄せずに参考図書に転換して保存すべきである。なお、「鉄道ファン」であれば筆者が昭和51年頃から買い続けているので参考図書にするなら寄贈させていただく。
				専門用語を使用して申し訳ないが「灰色文献」の収集に力を入れてほしい。出版物は国立国会図書館に納本する義務があり、一般の流通に供される出版物は取り次ぎ会社を通じて納本されるが、自治体などが部内で使用したり自治体内で配布するような印刷物等は納本義務の対象であるにも関わらず自治体職員には納本に対する知識も配慮もないことが多く納本されないことが多い。図書館職員が発見して納めるようにする必要がある。例えば「総合計画」「防災計画」なども灰色文献であり、「図書館年報」や「くりの木」も該当する。各部署の協力も得て収集し、県立図書館への提供や国会図書館への納本も行ってもらいたい。
				新聞は2年で廃棄しているが一種類は縮刷版を揃えてほしい。全国紙は地方版のページが東京版になるので役に立たないが、地方紙である伊勢新聞か中日新聞なら役立つであろう。なお、全国紙は5紙あるが産経新聞が無視されている。新図書館では購読してほしい。また赤旗は共産党から無料で提供してもらっているのので閲覧台に出してはどうかであるか。
				一般書では各種受賞作品やベストセラーの副本は不要である。予算は限られているので本の種類を多くした方が望ましい。ベストセラーは買って読んだ人から寄贈してもらったのが理想である。
				法令集は紙媒体であるが条例がコンピュータ画面ではやはり不便である。紙資料を用意していただけると大変ありがたい。
				児童書は各年齢ごとに適切な本があり多数取り揃えてほしい。幼少期から読書の習慣をつけるために最も充実してほしい。また地理や歴史等の概略を知ろうとすれば児童用の参考図書は大人が使用しても充分役に立つ。新図書館へ移行するにあたっては最も充実してほしい資料である。
				視聴覚資料は視覚障害者用の資料の充実が必要と思われる。

12月28日	60代	男性	文書	国土地理院が発行する二万五千分の一、及び五万分の一の地形図を備えてほしい。亀山市内だけでなく隣接する津市、四日市市、鈴鹿市、伊賀市と甲賀市も揃えてほしい。三重県内の全部が揃えば一層ありがたい。分県道路地図は全国47都道府県全部を種類揃えてほしい。(津市津図書館は全部そろっている) パスファインダーを各種印刷して置いてほしい。パスファインダーとは各種の調べものに役立つ図書資料を対象となる内容毎に列記したものであり自力で資料調査を行うための手助けとなるものである。 レファレンスカウンターを設けて司書を配置してほしい。津市津図書館では参考図書室に1名が常駐している。 過去のレファレンスの結果を印刷して閲覧できるようにしてほしい。市内の学校図書館の資料をコンピュータに登録して相互に貸し借りするサービスを新設してほしい。勿論、亀山市立図書館の資料も貸し借りの対象とする。 可能性は低いが市内のコミュニティセンターで貸し借りの取次ができないものかと思うものの事務員の負担、休館日の不一致、コミュニティの行事、投票所としての使用等を考慮すると無理かもしれない。 子ども向けの読み聞かせ会は現在ではマミーズの毎月1回だけであるが、津市津図書館では毎月7回ほど開催している。図書館職員も「おはなし会」や「ストーリーテリング」等を担当してはいかがだろうか。場所は「おはなしの部屋」が相応しい。「わくわくどきどき」「人形劇」「クリスマスのおはなし会」も子どもに図書館を親しんでいただく目的で開催してほしい。 夏休みに「手作り絵本教室」を博物館の部屋を借用して開催している。以前は夏休みに「ペーパーアート教室」も開催し、春休みに「折り紙教室」を開催していた。これは開催してもいいのではないかと。場所は「おはなしの部屋」を使用するか会議室を使用すれば対応可能である。 但し、事業はあまり拡大すると職員の負担が増えて手に負えなくなるので、この程度にとどめておくのが適切である 「図書館にこれほしいよね」が司書である。非常勤職員だけではなく司書資格を有する正規職員の配置を実現すべきであり、館長は専門家と位置付けで有資格者を配置するか、無資格者であっても配置後に研修を受講させて取得させるように教育委員会と人事が支援すべきである。県内では研修は行われていないが、桃山学院大学の司書講習(3か月必要)、司書補講習(2か月必要)の何れかを業務に必要な知識の習得と位置付けで業務出張を命じる体制を講じるべきである。 関図書館は地域の利用者が一定数存在することから今後も維持し、できれば拡充していただきたい。 面積や予算の制約もありますので全項目が実現できずとは思いますが、可能なものは設計に取り入れてください
				市民ワークショップの進行について、理想を出し合っても現実的に建物の構造を無視できないと考えられるので、単層で3,000㎡の面積が確保できないのであれば、フロア別の議論を行った方が現実的ではないか？平面だけではなく立体的な思考でワークショップを運営すべきである。
				市民ワークショップの進行について、現実的に1フロア1,000㎡の3階建が想定されているのに、平屋で広い面積がとれている事例やそれを見せて理想を出し合っても、結果として参加者の意見が採り入れられることが無くなってしまう恐れはないのか。
				駐車場と図書館入り口の高さは、同じ高さにしてください。スロープとか階段は、出来れば設置しない方がよいかと思います。(亀山市関支所の入り口のイメージ)がベストです。
				車椅子利用者の中には、腕力の弱い人もいて、なだらかなスロープにも意外と弱いです。健常者の指1本の力の手助けで助かるときは幾度も経験があります。
				来館者の交友で、エレベーター設置の亀山駅が、近くにあるので、市内や津市、名古屋市等遠方から、車イス利用者が亀山図書館を利用する方が、増えるようにして欲しいです。近隣市町村から、電車での来館利用者が、増えると思います。
				2階建てになっても、エレベーターが設置されれば、問題ないですね。
				展示室、会議室、談話室、電話室、フリー室、インターネット室のスペース設置も御願います。自販機コーナー設置も考えても良いと思います。
				図書の検索が館内は、もちろんですが、自宅でも検索可能には、ならないでしょうか？
				高価な本は、電子化で他市と共同で図書を購入し安価で購入の検討も御願ひ致します。図書館と名が付いても、実際には、図書館に外向かなくても、亀山市民が、自宅で、ネットで、閲覧できれば再考です。この方法も、図書館利用率、アップになると、と思いますが、いかがでしょうか？そのため、最近の図書館内は、利用する、人の数が少なくなって来ている傾向があります。しかし、実際には、館内には、人が少なくなって見えるようですが、図書利用者や閲覧希望者は増えていると思います。(小生の過去の管理業務経験より)電子版での閲覧利用者は、(ネットでの自宅印刷は不可として。コピー代は、有料とします。
2月5日	70代	男性	文書	図書の貸し出しと返却は、図書館に来なくては、出来ないのでは、駐車場のような、周辺の配慮は、ある程度は、必要と思われます。
				亀山市の図書館は、面積が少なくても、機能は東海で一番大きい図書館、利用率も一番。利便性も一番。の図書館が実現することを、願っています。

6 資料

2月13日	60代	男性	文書	亀山市は鉄道の街として発展してきた歴史があり、鉄道関係の資料は揃えるべきである。写真や書籍が主体になると思われるが、制服や制帽、部品等があれば資料に加えたい。また、館内の設備として鉄道にちなんで次のような設計をしてはいかかであろうか。 【食事のできる休憩施設】 幅2.95m、奥行き2.0m程の細長い部屋にし、中央に通路を配し左右に4人掛けテーブルを各5台並べる。要するに食堂車に乗った気分です食事ができる内装にするのである。これ程度の遊び心があっても良いのではないか。
2月13日	60代	男性	文書	現在、食堂車はすべて廃止になっているので、食堂車の文化を伝える意味でも面白いと思う。亀山駅でも特急「くろしお号」の食堂車が停車していた時期がかつて存在した。館内の位置を工夫して側窓の片側だけは外に面するようにすれば一層の雰囲気が出る。内部に面する窓には画面をはめ込んで市内の観光映像等や関西本線・紀勢本線の市内区間の前面展望映像を放映すればいい。 食堂車の厨房部分に対応する区画には、手洗い用の洗面台、給茶器、飲物の自動販売機を置くか売店を設けるようにする。座席定員は40名とは限らず必要なら48名や50名にすればいい。 参考資料は亀山市立図書館に「特殊仕様車両 食堂車」がある。 【対面朗読室】 デザインを変えて複数設ける。近鉄「ビスタカー」の一階席、「しまかぜ」の個室（和風個室と洋風個室）に似せた部屋があれば楽しいのではないか。 【グループ学習室】 近鉄「伊勢志摩ライナー」のコンパート室（定員6名）と同じような造りの部屋にしてはいかかであろうか。定員の異なる複数の部屋が必要になると思うので「しまかぜ」の個室風の部屋もあっていいと思う。 【子ども遊び部屋：プレイルーム】 この部屋だけは工業デザイナーでJR九州の列車のデザインと担当している水戸岡鋭治氏のデザインにしてほしい。JR吸収の「あそぼーい」のプレイルームに設置されているのと同じ遊具を備えてほしい。 【ブラウジング室】 壁に沿って配置するソファは京阪の特急電車のロングシートと同じ設計に出来ないものかと思う。 予算の都合もあるが、機能一点張りだけでなく、遊び心のある設備も一部に取り入れてほしい。少なくとも食堂車の車内を模した「食事休憩施設」は国内に先行事例がなく、上手く宣伝すれば（新聞、テレビ、雑誌等）恐らく話題になり、それを目当てに市外からも訪問してくれる入館者が現われると思う。当然、関西本線と紀勢本線の利用者も増加する結果になる筈である。 また水戸岡デザインの車両は九州だけでなく全国に存在している。近隣でも長良川鉄道、和歌山電鉄、京都丹後鉄道としなの鉄道に水戸岡デザインの車両が活躍しているので、水戸岡デザインの愛好者が来館してくれることが期待できる。従って館内デザインを水戸岡氏に任せるか、少なくとも子どもの遊び部屋だけでは水戸岡氏のデザインで設計してほしい。 宣伝の対象になるのは、統計資料、歴史、地理、社会科学、自然環境、技術、産業、芸術、言語、文学など分野は様々であり収集すべき資料も幅広い。 また、健常者だけでなく障害者の利用も考慮する必要がある。 統計資料は学生や社会人の利用が想定されるが一般統計資料の他に行政関係の資料を収集する必要がある。人口（地域別、年齢別、就業別及び国籍別）、財政（歳入と歳出、特に税収は税目別）、路線価、商工業関係、環境関係、福祉関係、上下水道関係、教育関係、防災関係、建設関係、議会関係などの資料は部内使用目的に作成されたものであっても図書館に備える必要がある。 歴史は東海道の宿場町として発展したことから関係資料がほしい。発掘調査に関する資料、神社仏閣の縁起に関する資料、近代の産業に関する資料が必要である。 地理は市内全域の国土地理院の地形図を備えるべきであろう。現在だけでなく過年分の地形図を備えることで開発の経緯等も判ることになる。住宅地図も現年分だけでなく過年分を保存することで変化の様子がわかる。（津市津図書館には過年分の住宅地図が揃っている） 社会科学では市内の学校の歴史と現在の特色のある活動を紹介する資料がほしい。市内に伝わる風俗、祭礼、民話や伝承に関する資料がほしい。灯籠り、朝鼓踊、太鼓などの郷土芸能の資料も必要である。

2月13日	60代	男性	文書	自然環境では鈴鹿山系、鈴鹿川と中ノ川の水系、地質、植生、動物に関する資料と四季の風景写真がほしい。また、天候、日照時間、雨量、積雪量、気温と湿度に関する資料がほしい。 技術と産業に関しては市内の企業の製品の実物を展示できないか。地場産業に関しては発展の歴史も含めて資料がほしい。緑茶と紅茶に関しては食事のできる休憩設備で提供してはいかがであろうか。 文化活動では名誉市民の顕彰する展示を行えないか。また、中村氏の彫刻で小さい物や上田氏の絵画の小品を館内にさりげなく飾ることは出来ないか。衣笠氏の映画は視聴覚資料で所蔵できないか。 言語関係では亀山の方言、亀山特有の表現、語源、アクセントなどに関する資料を用意できないか。亀山出身の作家の出版物を収集できないか。現に創作童話(くりの木)は初号から登録されているが他にも俳句や川柳の同人誌が市内で発行されている。 映像資料として各分野の映画を撮影(伝統的建築物の外観と内部、動植物、風景映像、刊行映像等)して保存できないか。企業の自社宣伝用の映像資料もあればいい。 視覚障害者は書籍と映像は利用できないが、音声資料は可能である。民話、伝承、文芸作品は音声資料で利用可能である。外国人には外国語の案内が必要になるが、映像であれば音声や字幕の言語を選べるようにすればいい。亀山市内の外国人の出身地を考慮すれば、ポルトガル語(ブラジル)、スペイン語(メキシコ以南のブラジル以外の中南米諸国)と中国語があれば事足りるであろう。
3月10日	50代	男性	メール	新しい図書館には駅前立地にも考慮して、観光客や新しく住宅を検討している家族、新しく企業立地を検討している企業へ、情報発信。 亀山市内鮎区禁止している等、環境に配慮してしいることを内外にPRする。 その他、「知の発信拠点」として活動する。 を期待させていただいています。

6 資料

6-8 関係団体などとの意見交換会

実施日	参加主体	意見交換会の内容
H29.8.30(水)	よりよい図書館をめざす会	駅前に図書館を造ることは白紙撤回して、基本構想からじっくり時間をかけて検討すべき。ただ、図書館をよりよくすることに異論はないので、ワーキングを重ねて市民の意見を採り入れていくことはどんどん行っていくべき。図書館はマンパワーであると思うので、館長以下専従的なスタッフの体制を固めてほしい。開館がスタートではなく、「今できることは何か」の視点で会としても進めたいし、行政もそのスタンスで考えてほしい。
H29. 9. 9(土)	おはなしの会マミーズ	今後の方向性及び基本構想の説明。他団体との交流を行いたい。大人向け読み聞かせ会を開催したい。
H29.10. 4(水)	関たんぼの会 関おはなし会	今後の方向性及び基本構想の説明。専門性を持ったスタッフの充実や関図書室のあり方、運営方法や開館時間等への意見が出された。
H29.10. 4(水)	よりよい図書館をめざす会	今後の方向性及び基本構想の説明。専門性を持ったスタッフの充実や関図書室のあり方、運営方法や開館時間等への意見が出された。
H29.10. 16(月)	よりよい図書館をめざす会	10月4日の意見交換を受けて、現在の図書館から会として関わられることを考えていきたいので、お互いにできることを模索したい。
H29.10.27(金)	図書館ボランティア団体との意見交換会	5団体中4団体が参加。基本構想の説明。各団体間の連携の場の提供を今後も設ける。
H29.11.11(土)	亀山絵本と童話の会	現図書館や図書館整備に向けた意見交換。情報発信の重要性、受け身ではなく外へ出ていく取り組みがある。新館の機能面や設備面などの提案。
H29.11.15(水)	北東地区 まちづくり協議会福祉部	図書館活用術～こんなサービスで存じですか？ ～現図書館の利用に関するPRと最近の図書館事情、及び図書館整備について
H29.12. 4(月)	公私立保育園長会	(現図書館の取組みPRと新図書館に向けたPR訪問)
H29.12. 5(火)	地域自立支援協議会 ワーキンググループ	(新図書館に向けたPR訪問)
H29.12.11(月)	ポケットの会 (主任児童委員と家庭相談員の会)	(新図書館に向けたPRと現図書館の取組みPRのため訪問)
H29.12.12(火)	地域まちづくり協議会 (役員会)	(新図書館に向けたPR訪問)
H29.12.13(水)	公立幼稚園長会	(新図書館に向けたPRと現図書館の取組みPRのため訪問) 関図書室について、および移動図書館の復活希望について意見をいただく。
H30.1.10(水)	公私立保育園長会	(現図書館の取組みPRと市民ワークショップの案内)
H30.1.16(火)	地域まちづくり協議会 (全体会)	(新図書館に向けたPRおよび各まちづくり協議会での意見交換会開催の検討依頼)
H30.1.17(水)	公立幼稚園長会	(現図書館の取組みPRと市民ワークショップの案内)
H30.1.24(水)	学校司書等研修会	(現図書館の取組みPRと市民ワークショップの案内等PR)
H30.2.7(水)	居宅介護支援事業所	(新図書館に向けたPRと現図書館の取組みPRのため訪問) 高齢者だけでなく障がいがある人も利用しやすい図書館を願う。貸出可能対象者の拡大。市を紹介する発信場所の考え方を持ってほしい。
H30.2.14(水)	亀山商工会議所	(新図書館に向けたPRと現図書館の)
H30.2.26(月)	ポケットの会 (主任児童委員と家庭相談員の会)	(新図書館に向けたPRと現図書館の取組みPRのため訪問) 取組み内容が分かりやすいのでニュースレターは全戸配布してほしい。貸出返却だけの図書館ではなく市民ニーズに応じた図書館にしていくことは大切である。
H30.2.27(火)	学校図書館情報協議会	(新図書館に向けたPRと現図書館の取組みPRのため訪問) 中学校でのワークショップの記事や全校生徒によるアンケート結果もニュースレターに掲載してほしい。また、駅前に建設するなら、電車の時間が分かる電光掲示板の設置なども検討してほしいといった意見の紹介があった。

6-9 ニュースレター

新図書館基本計画ニュースレター

第1号（平成30年1月）

新しい図書館を みんなで創ろう！



現在の亀山市立図書館は昭和55年（1980年）に竣工しましたが、施設の老朽化、図書収蔵スペースの不足、子どもの安全や高齢化社会に配慮したアクセスになっていないことなどから、JR亀山駅前を移転先として整備計画を検討しています。

基本計画の策定にあたり、新しい図書館について市民の皆様と共に考えるため、公開型の「市民ワークショップ」や、各種団体へ出向いて意見をうかがう「おでかけワークショップ」「意見交換会」などを開催します。

このニュースレターでは、ワークショップの成果を中心に、図書館整備計画の進捗についてお知らせします。

図書館整備の方針について

新しい図書館の整備に向けて、これまで亀山市にて以下の方針を定めています。2022年（平成34年）開館（予定）に向けて、本年度は3月までに基本計画を策定します。



◆「亀山市立図書館の今後の方向性」（平成28年10月策定）

- ① 親子・若年層に向けた読書活動をより厚く充実させること
- ② 利用困難者に向けた図書館サービスを充実させること
- ③ 市民ニーズだけでなく、学びの拠点にふさわしいサービスをめざすこと
- ④ 図書館の機能・設備を拡充すること
- ⑤ 図書館を核とした生涯学習として学びと交流を展開すること

◆「亀山市立図書館整備基本構想」（平成29年7月策定）

学びの場から
つながる場へ

3つのコンセプト

- ① 読書活動により高まる**知**
- ② 読書活動から広がる**学び**
- ③ 学びの成果の体現と交流を**楽しむ**

～知る（ち）・学ぶ（ま）・楽しむ（た）～

「ち・ま・た」とは、古代において道の分岐・交差点を意味する「衢」（ちまた）にもつながり、古来より交通の要衝として栄え、街道文化が花開いた亀山の地で、様々な情報が集まり、その情報をもとに人と人が語り、新たな地平が広がる場をイメージするものです。



今年度の検討の進め方

基本計画策定までの議論の進め方のイメージです。

基本計画の策定

	第1回	第2回	第3回	第4回
図書館整備推進委員会 学識経験者、団体役員、一般公募市民、市職員により構成され、整備計画について検討します。				
市民ワークショップ 公募で参加者を募り、テーマに沿って、意見を出したり計画内容を確認します。				
おでかけワークショップ 図書館で特に利用の鍵となる方々へ出向くワークショップを行います。	中学生	高校生	就学前児童保護者	
意見交換会 各種団体へ出向き、意見交換を行います。	かめやま若者会議		小・中学生保護者	
	図書館ボランティア団体	生涯学習推進会議		
	福祉団体・まちづくり協議会	社会教育委員会		
		図書館運営委員会		

第1回図書館整備推進委員会を開催しました

平成29年12月15日（金）

各委員へ委嘱状が手渡されるとともに、基本構想の説明とこれからの計画の進め方などについて確認・議論を行いました。

また、委員長には滋賀大学の横山幸司教授、副委員長には愛知工業大学の中井孝幸教授が選ばれました。



おでかけワークショップを開催しました！

新しい図書館について夢や想いを語ろう！
～図書館を創ろう！～

平成29年11月17日（金）
参加者：かめやま若者会議メンバー

ワーク①「こんな図書館はいやだ！」

- ・狭い、暗い
- ・理解できそうな本がぱっと見つからない

ワーク②「こんな図書館がいいな！」

- ・関のまちなみ風のおしゃれな図書館
- ・オープンな触れ合いの場がある
- ・本を読みながらさまざまな実践ができる



新しい図書館について夢や想いを語ろう！
～図書館を創ろう！～

平成29年11月24日（金）
参加者：中部中学校・生徒

ワーク①「今の図書館ってどんなイメージ？」

- ・静か、暗い、遠いイメージ

ワーク②「こんな図書館がいいな！」

- ・バリアフリーで皆が入りやすい図書館

ワーク③「新しい図書館のキャッチコピー」

- ・本の数より人が来る



こんな図書館になったらいいな！
～こんな図書館なら親子で行ってみたい！～

平成29年12月7日（木）
参加者：PTA連合会役員・評議員、
各園・学校職員、教職員組合

ワーク「こんな図書館なら行ってみたい！」

- ・待ち合わせ可能な談話室が欲しい
- ・子どもを見ながら親が本を読む場所が欲しい
- ・展示物を多くして、何があるのかを
探すのも楽しめる
- ・明るく入りやすいカフェのような図書館がよい
- ・託児をしてもらえると助かる
- ・開架図書を多く取って欲しい



第1回市民ワークショップを開催しました！

平成 29 年 12 月 17 日（日）、総合保健福祉センター「あいあい」にて「新しい図書館についての夢や想いを語ろう！」というテーマのもと、6つのグループに分かれて話し合い、発表をしました。



先進事例の紹介

愛知工業大学の中井孝幸教授より、「にぎわいのある「場」としての図書館」として最新の図書館事例を紹介いただきました。来館者への調査により、図書館がどのように使われているのかを知ることができ、図書館の役割や永く地域に愛される図書館像を考えるきっかけになりました。



◆アイスブレイク

ステップ0 自己紹介と亀山のまち自慢

「亀山のまちで自慢できるところ」を各自1つ紙に書き、6つのジャンル（「屋外」「屋内」「歴史」「モノ」「コト」「その他」）に分かれて集まって発表しました。まちの特徴も図書館づくりのヒントになります。

■屋外

- ・自然が豊か、のどか
- ・水や空気がおいしい
- ・四季が感じられる
- ・多様な生物がいる
- ・公園が多い
- ・津波がなく災害に強い
- ・交通の要所

■歴史

- ・宿場町、亀山城などの昔の歴史やまちなみ

■モノ

- ・亀山茶

■コト

- ・街道祭り（関宿）

■その他

- ・まちの雰囲気がおだやかで人が優しい



◆グループワーク：以下2つの内容のテーマに沿って話し合いを行い、新しい図書館に向けてイメージを膨らませました

ステップ1 今の図書館のイメージは？「◎いいところ」「△イマイチなところ」

ハード（建物、空間など）		ソフト（使い方、活動、しくみなど）	
立地・外構	学習室	活動・イベント・掲示	検索
◎ 緑が多く静かな環境 △ アクセスが悪く、車がないと不便 △ 駐車台数が少なく、駐車区画が狭い	◎ 集中できる環境が整っている △ 本が持ち込めない	◎ 読み聞かせやテレホン童話の実施 ◎ テーマに沿った展示や選書がよい △ イベントが少なくなった	△ 検索システムと蔵書位置が一致していない ◎ 団体貸出がある ◎ 返却ポストが便利 ◎ 家電回収ボックスが便利 △ facebook とホームページの情報不整合
施設全体	幼児コーナー	蔵書・書架	スタッフ
◎ 内装や家具に木の温もりがあってよい △ 古い、暗い、狭い	◎ 設備などが充実している △ 授乳室などがあるがよい	◎ 紙芝居が多くあってよい △ 蔵書数が少ない △ DVD の種類が少ない △ 配架が分かりにくい △ 予約した図書の貸出に時間がかかる	◎ 案内などの対応がよい △ 専門職員が不足している
図書ゾーン	休憩スペース		
◎ 閲覧スペースが書架の近くにあってよい △ 閲覧スペースが狭い	△ 飲食・休憩など多目的スペースが不足		
	AV コーナー		
	△ ブースが狭い、数が少ない		

ステップ2 こんな図書館になるといいな

ハード（建物、空間など）		ソフト（使い方、活動、しくみなど）	
立地・外構	建物	立地・外構	スタッフ
・十分な駐車台数、駐輪台数の確保 ・アプローチにおける歩行者の安全配慮 ・附帯機能 ・くつろげるスペース（飲食、談話） ・読み聞かせ、対面朗読などのスペース ・発表、講演、イベントスペース ・展示、市民情報掲示スペース	・緑や自然が感じられるように ・自然光を活かし明るく開放的に ・意匠に富んだ外観に ・子連れも気兼ねなく利用できるスペース ・ユニバーサルデザイン ・外国人の方も利用しやすく ・障がいを持つ方が利用しやすく	・駐車場利用料金の検討 ・公共交通による移動手段を併せて整備 ・書架スペース ・おすすめ本の充実 ・図書館ならではの蔵書の充実 ・話題本や人気本が借りやすいように	・正規職員、司書、専門職員の充実 ・運営 ・図書館での飲食 OK の運用 ・学習室に本の持ち込みが可能に ・インターネットによる情報の充実 ・他施設との連携 ・学校図書館との連携 ・歴史博物館と連携した郷土資料展示

まとめのキーワード

子育てと連携

ちょっと立ち寄れる場所に

市民の情報発信・活動拠点

本をきっかけに新たな学びを

居心地のよい居場所づくり

他の施設との連携

全ての世代や立場の人が利用しやすく

みんなに自慢できる図書館！

中井先生のまとめ

いい図書館にするには、完成後も長く皆さんに使い込んでいただく必要があります。住民のうち図書館を利用している人の割合は一般的に 30%程度とされています。他の公共施設と比べると高いですが、より多くの方に利用していただけるよう、学校図書館や他の施設と連携しながらそのきっかけづくりを考えていくことが重要です。前向きで建設的な意見が多く、できそうなことが多くでてきました。残りのワークショップでいかに具体化していくかを考えていきましょう。



今後の市民ワークショップの予定【時間は全て】10:00～12:00

【場 所】総合保健福祉センター「あいあい」
【日程・テーマ】第2回 1/21（日）：子どもと図書館、みんなと図書館
～図書館+αでこんな場所になるといいな！～

【場 所】青少年研修センター
【日程・テーマ】第3回 2/10（土）：さまざまな立場に立って考えよう

【場 所】総合保健福祉センター「あいあい」
【日程・テーマ】第4回 3/17（土）：開館までこれから何をしよう？
～開館まで、閉館後を見据えて～

■発行：亀山市 教育委員会事務局 生涯学習室
〒519-0195 三重県亀山市本丸町 577 番地
電 話：0595-84-5057 FAX：0595-82-6161
メール：syougaku@city.kameyama.mie.jp
担 当：亀山、小坂

■ワークショップ運営
：（株）東畑建築事務所
■ワークショップアドバイザー
：中井孝幸（愛知工業大学教授）



新しい図書館を みんなで創ろう！



おでかけワークショップを開催しました！

新しい図書館について夢や想いを語ろう！
～図書館で会おう！～

平成29年12月19日（火）関中学校・生徒

ワーク①「今の図書館ってどんなイメージ？」

- ・静かだけど行きにくいイメージ

ワーク②「こんな図書館がいいな！」

- ・バリアフリーで誰もが利用できる図書館

ワーク③「新しい図書館のキャッチコピー」

- ・Let's go 1日図書館 ～入った時から物語の世界～



図書館に意見箱を設置しました！

～こんな図書館あったらいいね～

大人のコメントより

子どもが自ら
伸びるような
読書好きに
なる環境設備。

三重県の郷土
資料コーナー。
市別に民話や資
料などを集積。

自習室。
特に社会人は
自習の場がない。



こどものコメントより

本がいっぱい
あって、
すぐにさがせる
としょかん

みんなが
楽しくすごせて
あそべる
としょかん

たべものが
食べられる
ばしょがある
としょかん

第2回市民ワークショップを開催しました！

平成30年1月21日（日）

総合保健福祉セン
ター「あいあい」に
て「子どもと図書館、
みんなと図書館！」
というテーマのもと、
6つのグループに分か
れて話し合い発表を
しました。



先進事例の紹介

【愛知工業大学中井教授】

「にぎわいのある「場」
としての図書館」の事例
を紹介いただきました。

図書館の使い方を知ることができ、
図書館に必要な機能のイメージが高
まりました。



◆グループワーク：図書館 + α でこんな場所になるといいな！

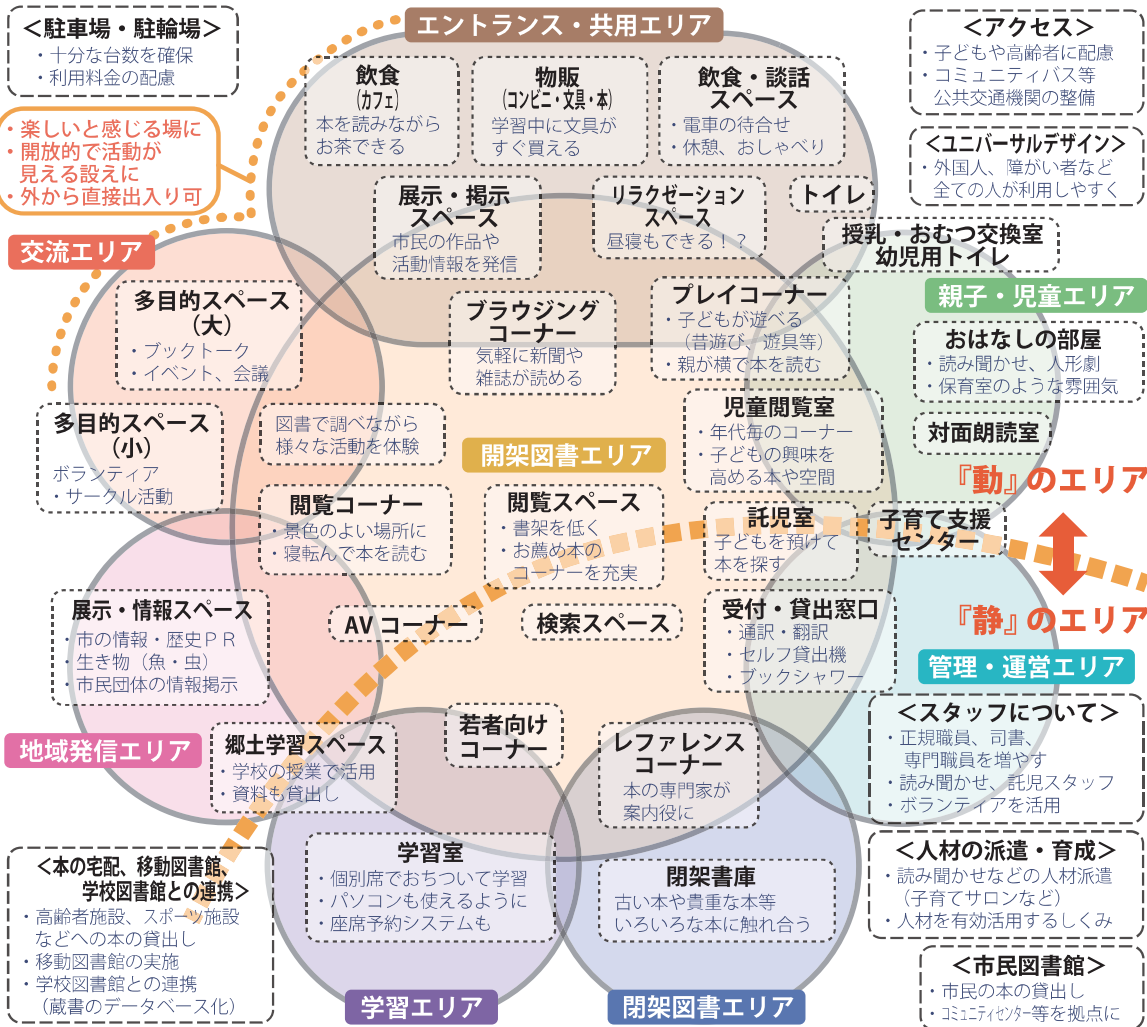
前回ワークショップで出た使い方のコメントをもとに分類された7つのテーマごとに、
どの場所でどんな使い方ができるか考えました。

- ①子育てや子どもとのつながりを深めよう
- ②市民の情報発信・活動拠点にしよう
- ③居心地のよい居場所をつくろう
- ④全ての人が利用しやすいようにしよう
- ⑤"ちょっと寄るか"立ち寄りやすい場所にしよう
- ⑥本をきっかけに新たな学びにつなげよう
- ⑦他の施設と連携して図書館の魅力を高めよう

第2回市民ワークショップを開催しました！

◆附帯機能の整理

ワークショップや委員会でのご意見をもとに、図書館に求められる附帯機能を整理しました。



中井先生のまとめ

図書館を考える上で、本の量の充実は大事なことで量が質を変えともいえます。そうした図書館としての機能充実はもちろんのこと、声を出していいゾーンと静かなゾーンをうまく分けられ、みなさんから出てきたアイデアの観光案内や物販なども十分実現可能だと思います。



今後の市民ワークショップの予定

（時間は全て 10：00～12：00）

第3回 2/10（土）

【場 所】 青少年研修センター

【テーマ】 ささまざまな立場に立って考えよう

第4回 3/17（土）

【場 所】 総合保健福祉センター「あいあい」

【テーマ】 開館までこれから何をしよう？

～開館まで、閉館後を見据えて～

■発行：亀山市 教育委員会事務局 生涯学習室
〒519-0195 三重県亀山市本丸町 577 番地
電 話：0595-84-5057 FAX：0595-82-6161
メール：syougaku@city.kameyama.mie.jp
担 当：亀山、小坂

■ワークショップ運営
：（株）東畑建築事務所
■ワークショップアドバイザー
：中井孝幸（愛知工業大学教授）

新しい図書館を みんなで創ろう！



おでかけワークショップを開催しました！

図書館を使った「まちづくり」

平成30年1月24日（水）

新しい図書館についての夢や想いを語ろう！

～図書館で会おう～

平成30年1月31日（水）亀山高校・生徒

ワーク①「こんな図書館になるといいな！」

・周りが気にならないで本を読めるスペース

ワーク②「新しい図書館のキャッチコピー」

・コンビニ感覚で行ける図書館 - みんなが来る記録・記憶の倉庫 -



こんな図書館なら親子で行ってみたい！

平成30年1月29日（月）・2月8日（木）

関認定こども園アスレ・就学前児童の保護者

ワーク①「こんな図書館になるといいな！」

・子連れで行きやすい、気軽に行ける

ワーク②「新しい図書館のキャッチコピー」

・年齢ごとに居場所がある、居心地がいい図書館

その他「保育所職員からの意見」

・移動図書館で保育所・認定子ども園をまわって欲しい



第2回図書館整備推進委員会 を開催しました！

平成30年

2月1日（木）

市民ワークショップの状況報告を行い、図書館整備にかかる附帯機能について議論しました。

第3回図書館整備推進委員会 を開催しました！

平成30年

2月22日（木）

図書館整備基本計画案の作成途中報告を行い、引き続き図書館整備にかかる附帯機能について議論しました。

第3回市民ワークショップを開催しました！

平成30年2月10日（土）

青少年研修センターにて「子どもと図書館、みんなと図書館！」というテーマのもと、5つのグループに分かれて話し合い発表をしました。



◆グループワーク：さまざまな立場になってシミュレーション！

前回ワークショップで出た使い方のコメントをもとに分類された6つのテーマごとに、どの場所でどんな使い方ができるかを考えました。登場人物を設定し、一連の使い方の流れ（ストーリー）を考えました。

①親子で図書館を楽しもう！

②本を使ったイベント・活動をしよう！

③図書館で学習・調べものをしよう！

④ふらっと図書館に来てみよう！

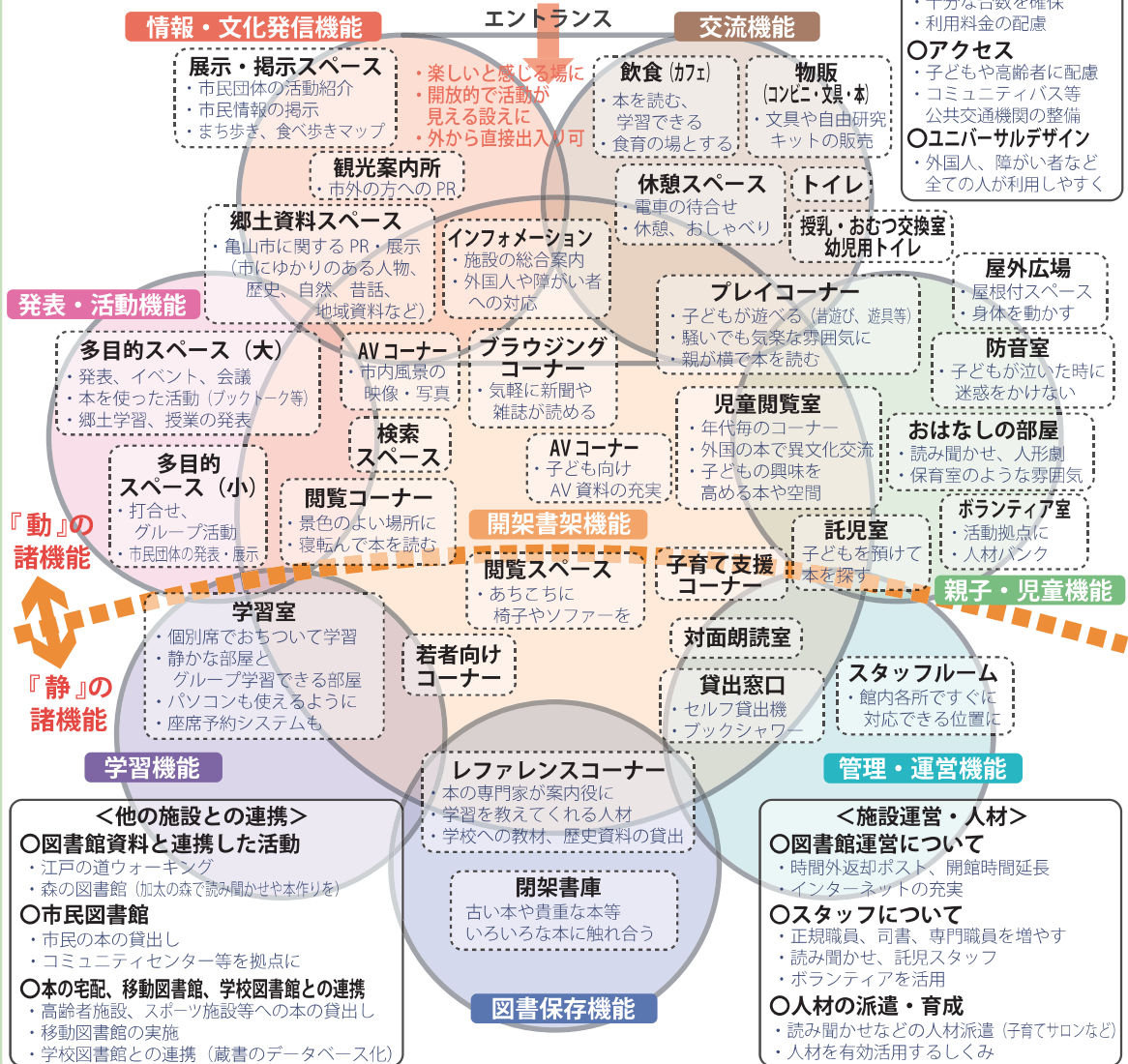
⑤亀山のことをPRしよう！

⑥図書館で市民活動をしてみよう！

第3回市民ワークショップを開催しました！

◆新図書館での機能と活動の整理

ワークショップや委員会などで意見をもとに、基本計画案として整理しました。



中井先生のまとめ

さまざまな人の立場で使い方や活動を想像してもらいましたが、計画の初期段階でこういった考えをすることは、実は建築設計の作業そのものと言えます。

活用のよいアイデアがたくさんでたので、新図書館でどう実現するか、引き続き考えていきたいですね。



今後の市民ワークショップの予定

第4回 3/17(土)
10:00～12:00

【場所】
総合保健福祉センター「あいあい」

【テーマ】
開館までこれから何をしよう？
～開館まで、開館後を見据えて～

■発行：亀山市 教育委員会事務局 生涯学習室
〒519-0195 三重県亀山市本丸町 577 番地
電話：0595-84-5057 FAX：0595-82-6161
メール：syougaku@city.kameyama.mie.jp
担当：亀山、小坂

■ワークショップ運営
：(株) 東畑建築事務所
■ワークショップアドバイザー
：中井孝幸(愛知工業大学教授)

新しい図書館を みんなで創ろう！

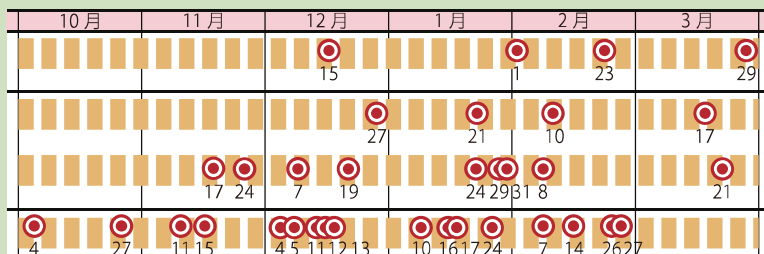


基本計画策定までの流れ

図書館整備推進委員会 学識経験者、団体役員、一般公募市民などにより構成され、整備計画について検討しています。

市民ワークショップ 公募で参加者を募り、テーマに沿って、意見を出しました。
おでかけワークショップ 図書館利用の鍵となる方たちへ出向いて議論しました。

意見交換会 各種団体へ出向き、意見交換を行いました。



第1～3回市民ワークショップの成果は？

◆基本理念（「亀山市立図書館整備基本構想」（平成29年7月策定）より）

学びの場から
つながる場へ

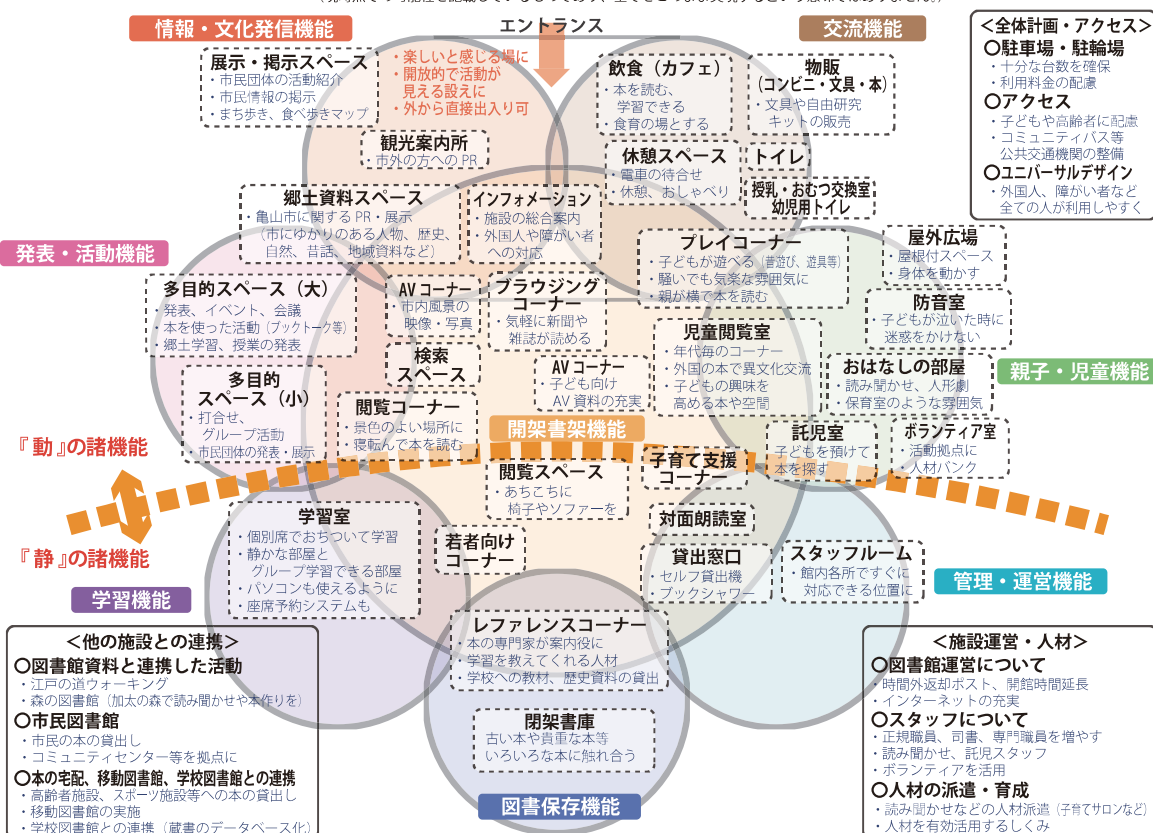
3つのコンセプト

- ①読書活動により高まる**知**
- ②読書活動から広がる**学び**
- ③学びの成果の体現と交流を**楽しむ**

基本計画段階では、基本理念を実現するために新しい図書館はどうあるべきか、可能性を広げる議論を行いました。
まずは現在の図書館のよいところ・イマイチなところや、まちの特徴を確認し、新しい図書館計画につなげる部分を整理しました。
その上で、新しい図書館でこういった活動や使い方（ソフト面）をするかアイデアを出し、それを実現するにはこういった空間や設備（ハード面）が必要かを検討しました。

◆新図書館での機能と活動の整理

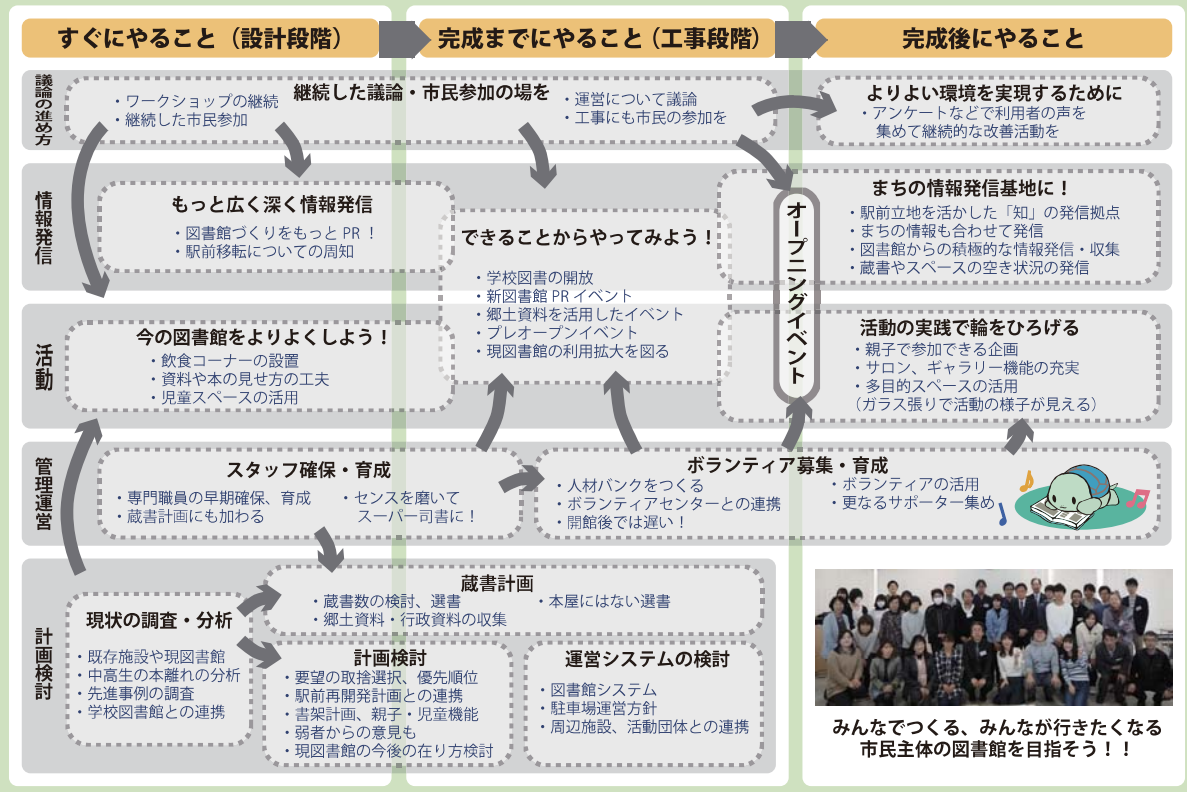
新しい図書館に求められる「機能」と、そこで行われる使い方・活動を整理してまとめました。
これらは今後の図書館設計のベースとなります。
（現時点での可能性を記載しているものであり、全てをそのまま実現するという意味ではありません。）



第4回市民ワークショップのまとめ

平成30年3月17日（土）開催

基本計画段階での全4回のワークショップも最終回。表面の『新図書館での機能と活動の整理』の確認後、「開館までこれから何しよう？～開館後を見据えたロードマップづくり～」と題して、これから考えること、今からでもできることは何か議論しました。



基本計画の方向性

◆市民ワークショップによる新図書館像

市民ワークショップにおいて示された新しい図書館への想いとして、ハード面では「動」と「静」の空間を分けること、飲食可能なスペース、駐車場の確保など、ソフト面では親子での利用、体制・蔵書の充実などが挙げられます。

◆めざす図書館像＝「多機能型図書館」

ワークショップや図書館整備推進委員会などの議論を経て、市民の皆さんが思い描く新しい図書館像を整理し、図書館本来の機能に以下のような機能を併せ持った「多機能型図書館」をめざすものとします。

- | | |
|---------------------------------|-----------------------|
| ①数多くの市民が交流できる。 | ⑤亀山市域の多様な情報が発信されている。 |
| ②飲食物の提供あるいは飲食が可能である。 | ⑥さまざまな学びに対応できる。 |
| ③亀山ゆかりの人物の作品や市民活動などの展示ギャラリーがある。 | ⑦亀山に関する貴重な資料が保存されている。 |
| ④親子が気兼ねなく利用できる。 | ⑧利便性が高い管理運営がなされる。 |

中井先生のまとめ

愛知工業大学工学部建築学科教授
市民ワークショップアドバイザー

地域人口の約7割の方は図書館を利用していません。待っているだけでは来てもらえないので、市民サポーターなど、図書館に関わり、利用している姿を見えるようにすることで掘りおこができるのではないのでしょうか。こういった議論の場がこれからも継続されて、完成後にはサロンのような地域の方の居場所が図書館にできるといいですね。



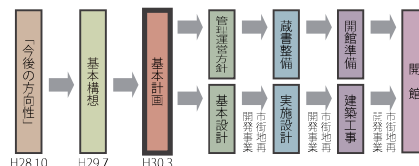
キャラクターの名前が決まりました

亀山市の新しい図書館づくりプロセスのマスコットとして亀をモチーフにしたオリジナルキャラクターを作成しました。ワークショップで人気投票を行い、名前を決定しました。



今後の流れ

今後は亀山駅周辺事業の基本設計、実施設計と合わせて新図書館の設計を進め、平成34年（2022年）の開館を目指します。基本設計段階でも市民ワークショップを継続して実施予定です。



■発行

：亀山市 教育委員会事務局 生涯学習課
〒519-0195 三重県亀山市本丸町 577 番地
電 話：0595-84-5057 FAX：0595-82-6161
メール：syougaku@city.kameyama.mie.jp

■ワークショップ運営

：（株）東畑建築事務所
■ワークショップアドバイザー
：中井孝幸（愛知工業大学教授）

7 用語解説

○1章の用語

ワークショップ(1 頁)

多様な人たちが会議や活動に主体的に参加し、チームの相互作用を通じて新しい創造と学習を生み出す場のこと。

基本構想(1 頁)

自治体のめざす将来像と将来の目標を明らかにし、これらを実現するための基本的な施策の大綱を示すもの。具体的な検討のための周辺環境を含めた現況把握や事業実施のための課題抽出、課題を受けた計画と設計段階での諸条件を整理し、可能性のある土地建物の利用方針、事業実施体制、計画などを方針としてまとめる。

基本計画(3 頁)

基本構想において設定した自治体の将来目標や基本的施策を実現するために必要な手段、施策を体系的に明らかにするもの。設計・工事を進める上での根幹となる計画であり、利便性・機能性・環境への配慮等の視点から、必要な機能、施設及び手法を示す整備方針、建設場所、施設の規模及び周辺施設の整備に関する考え方を示す施設計画、スケジュールなどの事業計画等を定めるもの。

基本設計(3 頁)

基本計画で提示された設計に必要となる事項を整理した上で、建物の構造や配置、各階の基本的なレイアウト、備えるべき機能や設備、内外のデザイン等を基本設計図書としてまとめる。

実施設計(3 頁)

設計者が、基本設計図書に基づき、工事施工を考慮した上で、デザインと技術面の両面にわたって詳細な設計を進める。工事施工に向けて、工事費の具体的な積算を行う。

シビックプライド(3 頁)

シビック(civic)は「市民の」という意味の英語。都市に対する誇りや愛着を表す。その都市の課題解決や、活性化といった、具体的な行動に取り組む姿勢も含んでいる。

文教地区(11 頁)

学校・図書館・博物館・公民館などの文化教育施設が多く集まっている地区の呼称。都市計画法第9条第13項に規定する特別用途地区で定義され、地方公共団体の文教地区建築条例により指定された地域には、教育や研究・文化活動をする上で、環境の悪化をもたらすような施設(パチンコ店・バー・映画館・劇場・モーターなど)の建築用途制限がある。

7 用語解説

○2章の用語

公共図書館 (29 頁)

公益的な図書館サービスに加えて、情報発信の起点、まちづくり、居場所づくりなど都市機能の中核を担う図書館。市民・事業者・行政が協働して市民公益の実現を図る「新しい公共」の視点がある。

クオリティ・オブ・ライフ (31 頁)

「Quality of Life」は直訳すると「人生の質」という意味の英語。個人がどれだけ自分の人生に幸福を見出しているかを尺度として捉える概念。身心の健康、良好な人間関係、やりがいのある仕事、快適な住環境、十分な教育、レクリエーション活動、レジャーなど様々な観点から計られる。

ワーク・ライフ・スタディ・バランス (31 頁)

「Work-Life-Study balance」は仕事と家庭の両立を目指す「ワーク・ライフ・バランス」に「スタディ＝学び」を取り入れた概念。各々が「学び」を深め、人生の質を高めていく「生涯学習社会」の実現に向けて、重要な概念となる。

コンシェルジュ (32 頁)

「Concierge」は「集合住宅の管理人」という意味のフランス語。そこから解釈を広げ、あらゆる要望・案内に対応する総合世話係のような職務を担う人の職名として使われる。

○3章の用語

ブラウジングコーナー (34 頁)

「ブラウジング」は本などを拾い読みするという意味の英語「ブラウズ (browse)」からできた言葉。図書館において、くつろぎながら気楽に気になる本を読むことができ、煮詰まった思考をほどく意外な糸口が見つかる場所といった位置付けのコーナー。

AV コーナー (34 頁)

Audio Visual (オーディオ・ビジュアル) コーナー。直訳すると視聴覚コーナー。印刷形態の資料だけでなく、映像や音声なども重要な図書館資料となるため設置された。メディアの発達とともに AV 資料の需要が高まっている。

若者向けコーナー (ティーンズコーナー・ヤングアダルトコーナー) (34 頁)

児童書と一般書の間にあたる難易度の書籍を中心に配置し、13～19 歳程度の青少年が徐々に高度な書物に触れられるように設けられる。

対面朗読室 (34 頁)

図書館職員やボランティアが視覚障害を持った利用者、高齢者などが希望する資料を朗読するサービスを行なうためのスペース。

レファレンスコーナー (34 頁)

レファレンス (reference) は「参考・参照」という意味の英語。利用者が学習・研究・調査の際に参照したい資料や情報が置かれていたり、図書館員がそれを助けるコーナー。

ビブリオバトル (39 頁)

ビブリオ (biblio) は「本・聖書」を意味する接頭辞。2007 年に京都大学の谷口忠大氏によって考案された知的書評合戦。公式ルールでは、参加者それぞれが 5 分で本を紹介し、2～3 分の討論を行う。最後にどの本が一番読みたくなったかを投票によって決定する。

マイクロライブラリ (39 頁)

オフィス・カフェ・お寺・病院などの場所を利用して、個人または小規模なグループが私的蔵書を他者に開放し閲覧および貸出を行う活動。図書を通じた人々のつながりができる。

ブックトーク (39 頁)

季節や動物など、あるテーマを設定し、関連する複数の書籍について紹介するイベント。子ども達が読書の可能性を感じ、それぞれの興味を深めることができる。

読書通帳 (39 頁)

銀行の預金通帳のように、本を借りた履歴が記録されていく通帳。読書意欲につながるため、全国の図書館で導入されはじめている。

子ども読書の日 (40 頁)

「子どもの読書活動推進に関する法律」によって 4 月 23 日と定められている。国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めることが目的。

ブックスタート事業 (40 頁)

1992 年にイギリスで始まった活動。0 歳児検診などの機会にブックスタートパックとして、自治体が絵本や絵本リストをプレゼントし、赤ちゃんと保護者が絵本を介してふれあうきっかけを作る。

図書ユニット (40 頁)

巡回サービスのために対象とする世代や学習指導要領に沿って集めるひとまとまりの書籍群。

ストーリーテリング (40 頁)

語り手自身の体験談を取り入れ、物語として理念やコンセプトを伝えること。読み聞かせと違い、本を介さないため語り手の個性がより前面にあられる。

キャレル席 (41 頁)

開架書架の脇などに配置される個人の閲覧・学習用の席。または個人用閲覧関。

サイン計画 (41 頁)

サイン (sign) は標識という意味の英語。人の行動心理に配慮し、認識能力の個人差にも対応できるように施設案内や書架案内などの設置場所・大きさ・色彩・フォントなどの計画をすること。

OPAC (42 頁)

Online Public Access Catalog の略で、オンラインで検索し図書館の蔵書検索できる目録情報のデータベースまたはそのシステムのこと。

7 用語解説

パオ (44頁)

モンゴル高原の遊牧民が用いる伝統的な移動式テント型住居。モンゴル語ではゲル。

日本工業規格「JIS X 8341-3:2016」 (46 頁)

高齢者や障がい者などが、情報通信における機器やソフトウェアやそれらのサービスを支障なく操作または利用できるよう配慮することを促進する目的で制定された規格。

全庁的 (46 頁)

行政が各所管部署の枠を超えた庁内ネットワークによって取り組む体制。

リポジトリ (46 頁)

リポジトリ (repository) とは、情報工学においてデータの一元的な貯蔵庫を意味する英語。学術研究・教育成果を電子的な形式で収集し、恒久的に蓄積および保存し、広く国内外に無償で発信および提供するシステム。正式には機関リポジトリと言う。

アーカイブ (46 頁)

アーカイブ (archive) とは、重要記録を保存・活用し、未来に伝達することをいう。本文では研究成果を含まない所蔵資料の目録を意味している。

国立国会図書館デジタル化資料送信サービス (46 頁)

国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料を全国の公共図書館、大学図書館等の館内で利用できるサービス。

サピエ図書館 (46 頁)

「サピエ」は日本点字図書館がシステムを管理し、全国視覚障害者情報提供施設協会が運営するネットワーク。点字・音声データによって様々な情報を提供する。点字図書や録音図書などの全国最大の書誌データベース。

チョークアート (48 頁)

オーストラリア発祥で、主にカフェやレストランでのメニューボードに活用されている。ハンドメイドの温か味があり親しみやすい雰囲気を生み出せる。

生涯学習人材バンク (49 頁)

自分の知識や技能などを教えたいという方を登録・公開し、講師などを探している方に紹介する制度。

情報リテラシー (49 頁)

リテラシー (literacy) は読解記述力を意味する英語。インターネットが普及した現代における、情報活用力を指す。

サブカルチャー (54 頁)

本来は主流文化に対して一部の集団を担い手とする副次的な文化を指す。日本では、アニメ・アイドルといったマイナーな趣味を指す場合に用いてきたが、最近では日本を代表する文化となっている。

集密書架 (54 頁)

手動または電動で書架列をレール上で前後、左右、上下に移動させることにより通路スペースを縮小し収納力を高めた書架群。

積層書架 (54 頁)

鋼鉄支柱を用いて書架と簡易な鉄板の床を積み重ねた構造の書架。1 層分の高さを 2.2 m 程度に抑えることで収納力を高めつつ本の取り出しやすさにも配慮している。

スタッフプライド (56 頁)

シビックプライドをなぞらえた造語。職員が図書館に愛着と誇りを持つという意味。

市政のサテライト施設 (56 頁)

サテライトは (satellite) は「他のものに付属しているもの」という意味の英語。そこから派生して市が運営するサービスの一部を地域に分散し本体と連携を取りながら運営する施設。

行旅人 (56 頁)

市町村の条例で定義されている移動中や漂泊中の人のことを指し、特定の目的地を持たない人を含むことから旅人とは異なる。

○4 章の用語**ゾーニング (57 頁)**

特徴によって他と区別ができるゾーン (zone) に分ける行為。建築計画において、平面図を作成する前に全体の構成を把握し、できるだけ多くの可能性を検討するための手法。具体的な部屋の面積や通路幅を検討する前に、各機能どうしのつながり方によるメリット・デメリットを検証することができる。

○5 章の用語**奉仕人口 (59 頁)**

1950 年に制定された図書館法によって、すべての国民が必要とする資料を入手し利用する権利を社会的に援助する「図書館奉仕」の理念が掲げられた。図書館奉仕を受ける人口という意味。

これからの図書館の在り方検討協力者会議 (59 頁)

文部科学省によって平成 21 年 7 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで実施された。図書館の現状や課題を把握・分析し、生涯学習社会における図書館の在り方についての調査・検討が行われた。同会議報告書の参考資料に人口規模別の目標基準値が掲載されている。

公立図書館の任務と目標 (59 頁)

日本図書館協会によって 1989 年 1 月に確定公表され、2004 年 3 月に改訂された。図書館システム整備のための数値基準として、人口あたりの算定基準を示している。

7 用語解説

標準偏差 (59 頁)

平均値からだけでは見えてこないデータのばらつき具合を表す。データが確率論的に期待される値からどれだけ散らばっているかを表す「分散」の平方根を取る。

正規分布 (59 頁)

社会現象や自然現象の内、ある独立な事象が起こる確率の分布は平均値を中心として左右対称な釣り鐘型の正規分布（ガウス分布）に従うことが多く、統計学においては正規分布を利用してデータの妥当性を評価する。正規分布においては平均 $\pm 1 \times$ 標準偏差の範囲に全体の約 68%の事象が含まれる。

利用予測のフロー (65 頁)

フロー (flow) は流れという意味の英語。ここでは手順という意味で用いられている。

建築物省エネ法（建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律） (67 頁)

2015 年 7 月 8 日に制定された法律。設備機器などのエネルギー消費量削減基準と、断熱性能などの外皮性能基準を設けた。2015 年に行われた「COP21（国連気候変動枠組条約第 21 回締約国会議）」において採択された「パリ協定」を受けて、2030 年までに温室効果ガスの削減目標を 26%に設定した。照明・冷暖房などの建築物における消費エネルギーは日本全体の消費エネルギーの 3 分の 1 を占めるため、2017 年度より 300㎡以上の全ての建築物に届出義務、2000㎡以上の非住宅建築物には適合義務の規制措置が始まった。

ライフサイクル (67 頁)

ライフサイクル (Life Cycle) は「誕生から死までの生涯過程」を意味する英語。建築においては、建築物が建設されてから一定期間運用され廃棄されるまでの期間を言う。構造体の耐久性だけでなく、長期に渡る快適な使用のための、維持保全や改修のしやすさ、省エネルギー性能などを熟慮したライフサイクルの視点が大切。

乾式間仕切 (67 頁)

水を用いなくて施工する壁。公共建築物の場合、一般的には軽量鉄骨で骨を組み、石膏ボードなどを下地として設置する。ビスで固定するため、将来的に取り外しが容易で間取りの変更が可能になる。

フレキシビリティ (67 頁)

フレキシビリティ (flexibility) は「柔軟性」を意味する英語。建築においては、多目的室などのように多様な目的に対応したり、将来の建物利用の方向性の変化に合わせて平面計画を変えられるよう配慮して設計することを意味する。

タスク・アンビエント照明 (67 頁)

タスク (task) は「取組む対象」という意味の英語で、アンビエント (ambient) は「周辺」を意味する英語。机上・書架などを照らす部分照明と、天井・壁などの周辺環境を担う照明を分けて設置する。全体的に一律に明るくする全体照明に対して消費エネルギーを削減し、各照明の寿命を伸ばすことができる。

明るさセンサー (67 頁)

床面や机上面からの反射光を一定周期で測定し、光量が一定になるように照明器具の光出力を自動的に制御するセンサー。

人感センサー (67 頁)

人が近づくと自動的に照明を点灯させたり換気設備を稼働させるためのセンサー。人体から放射される赤外線を検知する熱線センサーや人の動きを感知する電波式センサーなどがある。

透水性舗装 (67 頁)

適切な構造強度を保ちつつ、空隙率をあえて高くしたアスファルトやインターロッキングブロックなどを用いることで、水はけを改善するとともに走行音の軽減や日射熱による温度上昇を抑制した舗装。

エコマテリアル (67 頁)

有害物質の拡散や温暖化物質の排出を抑制したり、循環利用が可能な材料。

アクセシビリティ (68 頁)

アクセシビリティ (accessibility) は「近づきやすさ」という意味の英語。社会理念としては、高齢者や障害者を含む多様な利用者が、製品や建物、サービスなどを支障なく利用できる状態を指す。

みんなのトイレ (68 頁)

車いす利用者や障がい者などに配慮した「多機能トイレ」の設備を拡張し、年齢・性別・健康状況に関わらずあらゆる人の利用に対応したトイレ。男女関係なく利用しやすいように配置やサイン計画への配慮が重要である。

均斉度 (68 頁)

ある部屋における最低照度と最大照度（もしくは平均照度）の比率を示したものの。1に近いほど照度のムラがなくなり、目が疲れにくい環境となる。

耐震安全性 構造体 II 類 (69 頁)

大地震動後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保が図られるものとする。

耐震安全性 建築非構造部材 B 類 (69 頁)

大地震動によって天井や外装材などの建築非構造部材に、損傷・移動が発生したとしても、人命の安全確保と二次災害の防止が図られている。

耐震安全性 建築設備 乙類 (69 頁)

大地震動後の人命の安全確保及び二次災害の防止が図られている。

沖積層 (69 頁)

約 2 万年前の最終氷期に堆積した地層で、地質学的には最も新しい。氷河や河川のはたらきによって堆積した砂・シルト・泥などから成るため、大地震動時には液状化現象が起こりやすい。

亀山市立図書館整備基本計画

平成30年5月21日

亀山市教育委員会

編集：亀山市教育委員会事務局生涯学習課

編集支援：(株)東畑建築事務所名古屋事務所

〒519-0195 三重県亀山市本丸町577番地

TEL 0595-84-5057

Mail syougaku@city.kameyama.mie.jp